

第2章 住民ニーズ調査

2-1 調査概要

(1) 調査の目的

今後、高齢者をはじめ、市民の方々が住み慣れた地域で、健康で安心して快適に住み続けられるようなまちづくりを推進するための基礎資料として、モデルエリアでの高齢者等のニーズを把握し分析することを目的とする。

(2) 調査の設計

- ①調査対象 モデルエリア内の団地等集合住宅の住民約 3,300 世帯を対象
- ②調査方法 調査票の配布は、郵送又はポスティングによる。回収については、郵送による。
- ③調査期間 平成 27 年 9 月 30 日～10 月 31 日

(3) 回収結果

- 1) 配布予定数： 3,331 票
- 2) 実配布数： 3,028 票（空家等があったため）
- 3) 有効回収数： 829 票
- 4) 有効回収率： 27.4%

(4) 調査の内容

調査の内容は、大きくは A～F までの 6 区分について全 38 問（F-1、2 を含む）で実施した。

— A. 回答者の属性について —

F-1 世帯構成

F-2 居住年数

— B. 65 歳以上家族がいる世帯について —

- 問 1 世帯の健康状態
- 問 2 健康づくりや介護予防に気をつけていること
- 問 3 今後、取り組みたいこと
- 問 4 将来への不安の有無
- 問 5 不安に感じていること
- 問 6 健康に対する不安の内容
- 問 7 経済面での不安の内容
- 問 8 孤独への不安の内容
- 問 9 将来への不安を和らげることにつながるもの
- 問 10 ちょっとした困りごとの内容
- 問 11 地域での見守りとして有効な取り組み
- 問 12 個人負担を伴っても受けてほしい日常生活支援
- 問 13 地域包括支援センターの認知
- 問 14 ちょっとした困りごとの相談の場の有無
- 問 15 ちょっとした困りごとの相談先
- 問 16 同じ団地内の親しい方（世帯）の有無
- 問 17 親しくしている人がいない理由
- 問 18 かかりつけ医の有無

- 問 19 日常生活で不便に感じていること
- 問 20 日常生活で不満に感じていること
- 問 21 心地よいと感じる場所
- 問 22 居住継続の意向
- 問 23 住み続けたい理由
- 問 24 住み続けたいと思わない理由
- C. 就学前の家族がいる世帯について —
- 問 25 子育てでの不便の有無
- 問 26 子育てでの不便の内容
- 問 27 子育てサービスや支援の希望内容
- 問 28 子育て世帯が住みやすい地域づくりやまちづくりを進めるための自由意見
- D. 地域の活動について —
- 問 29 地域活動協議会の認知
- 問 30 過去 5 年間の地域活動への参加の有無
- 問 31 参加した地域活動の内容
- 問 32 地域活動不参加の理由
- 問 33 町会への加入の有無
- 問 34 地域で貢献できると思う活動内容
- E. その他について —
- 問 35 森之宮地域をより住みやすくするサービス
- F. 自由意見 —
- 問 36 自由意見

(5) 住民ニーズ調査結果の見方

- (1) 集計結果は、小数点 2 位を四捨五入しており、回答比率の合計が 100.0%とならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100.0%を超える場合がある。
- (3) 比率(%)はその回答数を母数として算出している。回答数は(n)としてその数を記載した。
- (4) 複数回答の結果の全体グラフについて、最も回答率が高い選択肢に ☐ を付している。
- (5) その他を選択した場合の具体的記述内容は、主要なものを記載した。
- (6) モデルエリア(森之宮地域)内の団地のまとまり毎に 3 区分して分析しているが、A 団地は昭和 42 年～43 年の開発団地、B 団地は昭和 51 年～53 年の開発団地、C 団地はその他の集合団地を示す。
- (7) クロス集計については、団地別、世帯構成別、居住年数別に 3 種類(問 1～24 は単身高齢者男女別を加えた 4 種類)を基本としたが、問 25～27 については全回答者数が 33 と少なく、集計に耐えられないため団地別のみとした。

(5) 要約

以下では、各設問について全体の結果を要約としてまとめる。

問番号	項 目	概 要
F-1	世帯構成	世帯構成についてみると、「ひとり暮らし（65 歳以上）」が 31.6%で最も高く、次いで、「夫婦のみ（65 歳以上あり）」が 18.5%、「ひとり暮らし（64 歳以下）」が 16.0%の順となっている。
F-2	居住年数	居住年数についてみると、「20 年以上」が 27.3%で最も高く、次いで、「1～5 年未満」が 24.5%、「10～20 年未満」が 21.5%の順となっている。
問 1	世帯の健康状態	世帯の健康状態についてみると、「世帯全員が健康である」が 50.6%で最も高く、次いで、「世帯全員が健康とはいえない」が 19.3%、「世帯の中で健康でない家族がいる」が 16.1%の順となっており、約半数の世帯が健康と答えている。
問 2	健康づくりや介護予防に気をつけていること	健康づくりや介護予防に気をつけていることについてみると、「口の中の健康の維持」が 65.2%と最も高く、次いで、「栄養のバランスのとれた食生活」が 60.0%、「体力を維持するための運動」が 57.5%の順となっている。
問 3	今後、取り組みたいこと	今後、取り組みたいことについてみると、「栄養のバランスのとれた食生活」が 58.7%と最も高く、次いで、「体力を維持するための運動」が 56.1%、「毎年、特定健診やがん検診などを受診」が 52.8%の順となっている。
問 4	将来への不安の有無	将来への不安の有無についてみると、「ある」が 83.7%、「ない」が 13.4%となっている。
問 5	不安に感じていること	不安に感じていることについてみると、「健康への不安」が 85.2%で最も高く、次いで、「経済的な不安」が 69.6%、「孤独への不安」が 31.3%の順となっている。
問 6	健康に対する不安の内容	健康に対する不安の内容について全体をみると、「寝たきりになること」が 75.1%で最も高く、次いで、「急に体調が悪くなったときのこと」が 69.6%、「病気になって入院すること」が 56.6%の順となっている。
問 7	経済面での不安の内容	経済面での不安の内容についてみると、「病気になったときの入院費や治療費のこと」が 70.6%で最も高く、次いで、「食費・光熱水費・住宅費などの生活費のこと」が 63.5%、「預貯金がないこと」が 57.4%の順となっている。
問 8	孤独への不安の内容	孤独への不安の内容についてみると、「頼れる家族や友人がいないこと」が 21.6%で最も高く、次いで、「相談するところがないこと」が 19.9%、「話し相手がいないこと」が 17.6%の順となっている。
問 9	将来への不安を和らげることにつながるもの	将来への不安を和らげることにつながるものについてみると、「生活面や健康面でのちょっとした困りごとの相談の場」が 36.4%で最も高く、次いで、「地域での見守り」が 14.6%、「趣味や娯楽などの交流の場」が 9.8%の順となっている。
問 10	ちょっとした困りごとの内容	ちょっとした困りごとの内容についてみると、「ちょっとした健康や病気についての相談」が 40.5%で最も高く、次いで、「災害時の手助け」が 27.6%、「電球交換」が 24.9%の順となっている。
問 11	地域での見守りとして有効な取り組み	地域での見守りとして有効な取り組みについてみると、「近所の人との声の掛け合い」が 62.2%で最も高く、次いで、「自治会や町会など地域住民の組織による訪問や声かけなど」が 56.8%、「医療や介護の相談ができる身近な相談場所の設置」が 35.1%の順となっている。
問 12	個人負担を伴っても受けたい日常生活支援	個人負担を伴っても受けたい日常生活支援についてみると、「健康食など配食サービス」が 34.8%で最も高く、次いで、「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」が 32.6%、「電球交換」が 28.3%の順となっている。
問 13	地域包括支援センターの認知	地域包括支援センターの認知度についてみると、「知っている」（「よく知っている」、「知っている」、「少し知っている」）が 40.9%、「知らない」が 51.2%となっている。

問番号	項 目	概 要
問 14	ちょっとした困りごとの相談の場の有無	ちょっとした困りごとの相談の場の有無についてみると、「ある」が 61.8%、「思いあたらない」が 34.3%となっている。
問 15	ちょっとした困りごとの相談先	ちょっとした困りごとの相談先についてみると、「別居している家族」が 55.1%で最も高く、次いで、「友人・知人・近所の人」が 47.1%、「病院やかかりつけの医師」が 34.7%の順となっている。
問 16	同じ団地内の親しい方（世帯）の有無	同じ団地内の親しい方（世帯）の有無についてみると、「いる」が 38.6%、「いない」が 55.3%となっている。
問 17	親しくしている人がいない理由	親しくしている人がいない理由についてみると、「引っ越ししてきたため、もともと知り合いがいないから」が 40.9%で最も高く、次いで、「もともと関わりたくないから」が 32.4%、「関わりたいが、きっかけがないから」が 24.9%の順となっている。
問 18	かかりつけ医の有無	かかりつけ医の有無についてみると、「ある」が 76.8%、「ない」が 18.1%となっている。
問 19	日常生活で不便に感じていること	日常生活で不便に感じていることについてみると、「買い物場所や買いたいものが揃った場所が近くにない」が 25.8%で最も高く、次いで、「生活に役立つ情報が少ない」が 18.1%、「どこかに出かけるための交通が不便である」が 11.4%の順となっている。
問 20	日常生活で不満に感じていること	日常生活で不満に感じていることについてみると、「住まいに関すること」が 31.5%で最も高く、次いで、「電化製品に関すること」が 12.2%、「日常の福祉や健康などサービス面に関すること」が 10.0%の順となっている。
問 20-1 ～ 問 20-5	日常生活で不満に感じていることの内容	食事や弁当などの不満内容についてみると、「バランス」が 52.8%で最も高く、次いで、「その他」（以下、主な回答内容を参照）が 38.9%、「量」が 16.7%の順となっている。 衣服などの不満内容についてみると、「サイズ」が 67.6%で最も高く、次いで、「その他」（以下、主な回答内容を参照）が 17.6%、「機能」が 14.7%の順となっている。 住まいの不満内容についてみると、「機能」が 48.1%で最も高く、次いで、「広さ」が 31.0%、「その他」（以下、主な回答内容を参照）が 27.2%の順となっている。 電化製品の不満内容についてみると、「操作性」が 75.8%で最も高く、次いで、「機能」が 27.4%の順となっている。 サービス面の不満内容についてみると、「サービスの水準」が 56.0%で最も高く、次いで、「サービスの内容」が 54.0%の順となっている。
問 21	心地よいと感じる場所	心地よいと感じる場所についてみると、「手頃な価格で食事や喫茶が楽しめる場所」が 44.3%で最も高く、次いで、「健康に役立つ場所」が 35.6%、「生活に役立つ情報が多く得られる場所」が 27.8%の順となっている。
問 22	居住継続の意向	居住継続の意向についてみると、「思う」が 75.0%、「思わない」が 20.0%となっている。
問 23	住み続けたい理由	住み続けたい理由についてみると、「交通の便が良いから」が 59.6%で最も高く、次いで、「団地等の周囲の環境が良いから」が 30.3%、「医療や介護などサービス面で安心できるから」が 14.7%の順となっている。
問 24	住み続けたいと思わない理由	住み続けたいと思わない理由についてみると、「高齢者向けの施設に入居したいから」と「交通の便が悪いから」が同率で 14.5%と最も高く、次いで、「周囲の住民との人間関係が良くない（または繋がりが無い）から」と「医療は介護などサービス面で不安があるから」が同率で 13.3%、「家賃等が高いから」が 10.8%の順となっている。

問番号	項 目	概 要
問 25	子育てでの不便の有無	子育てでの不便の有無についてみると、「ある」が 93.9%、「ない」が 6.1%となっている。
問 26	子育てでの不便の内容	子育てでの不便の内容についてみると、「住環境面（広さなど）」が 58.1%で最も高く、次いで、「育児と仕事の両立」が 54.8%、「急病時などの対応」が 51.6%の順となっている。
問 27	子育てサービスや支援の希望内容	子育てサービスや支援の希望内容についてみると、「急病時の医療提供体制」と「公的な給付」が同率で 66.7%と最も高く、次いで、「多様な保育サービスの実施」が 48.5%、「住環境の整備」が 39.4%の順となっている。
問 29	地域活動協議会の認知	地域活動協議会の認知についてみると、“知っている”（「よく知っている」、「知っている」、「少し知っている」）が 28.3%、「知らない」が 63.1%となっている。
問 30	過去 5 年間の地域活動への参加の有無	過去 5 年間の地域活動への参加の有無についてみると、「ない」が 64.4%、「ある」が 28.1%となっている。
問 31	参加した地域活動の内容	参加した地域活動の内容についてみると、「町会、自治会、女性会、子ども会などの地域団体の活動」が 85.4%と最も高く、次いで、「区など行政の主催する地域行事」が 28.3%、「地域内の趣味・サークル活動」が 27.0%の順となっている。
問 32	地域活動不参加の理由	地域活動不参加の理由についてみると、「特に理由はない」が 36.0%と最も高く、次いで、「仕事などで時間が合わないから」が 33.7%、「興味をひくものがないから」が 25.3%の順となっている。
問 33	町会への加入の有無	町会への加入の有無についてみると、「加入している」が 49.6%、「加入していない」が 41.5%となっている。
問 34	地域で貢献できると思う活動内容	地域で貢献できると思う活動内容についてみると、「特にない」が 34.3%と最も高く、次いで、「地域でのボランティア活動」が 28.1%、「行政などや学校などが主催する地域行事への参加」が 20.4%の順となっている。
問 35	森之宮地域をより住みやすくするサービス	森之宮地域をより住みやすくするサービスについてみると、「銀行」が 53.3%と最も高く、次いで、「スーパー」が 39.1%、「郵便局」が 28.1%の順となっている。

2-2. 調査結果

F-1 あなたの同居している世帯の方々について、下表に記入してください。

- ・続柄は、解答欄右の例示を参考にお書きください（無記名式のため、名前は記入しないでください）。記入の際にルビは不要です。
- ・年齢は、数字を記入してください。
- ・性別は、男と女のいずれかを○で囲んでください。

番号	続柄	年齢	性別
(例)	母	55 歳	男・ <u>女</u>
1	世帯主	歳	男・女
2		歳	男・女
3		歳	男・女
4		歳	男・女
5		歳	男・女
6		歳	男・女
7		歳	男・女
8		歳	男・女
9		歳	男・女
10		歳	男・女

続柄（例示）
妻
夫
子
子の子（孫）
父
母
祖父
祖母

- ・世帯構成についてみると、全体では、「ひとり暮らし（65 歳以上）」が 31.6%で最も高く、次いで、「夫婦のみ（65 歳以上あり）」が 18.5%、「ひとり暮らし（64 歳以下）」が 16.0%の順となっている。
- ・『A 団地』についてみると、「ひとり暮らし（65 歳以上）」が 39.6%で最も高く、次いで、「夫婦のみ（65 歳以上あり）」が 16.1%、「ひとり暮らし（64 歳以下）」が 14.3%の順となっている。
- ・『B 団地』についてみると、「ひとり暮らし（65 歳以上）」が 31.7%で最も高く、次いで、「ひとり暮らし（64 歳以下）」が 22.1%、「夫婦のみ（65 歳以上あり）」が 14.6%の順となっている。
- ・『C 団地』についてみると、「夫婦のみ（65 歳以上あり）」が 28.9%で最も高く、次いで「ひとり暮らし（65 歳以上）」が 22.4%、「夫婦と子（子どもはすべて 6 歳以上）」が 15.9%の順となっている。

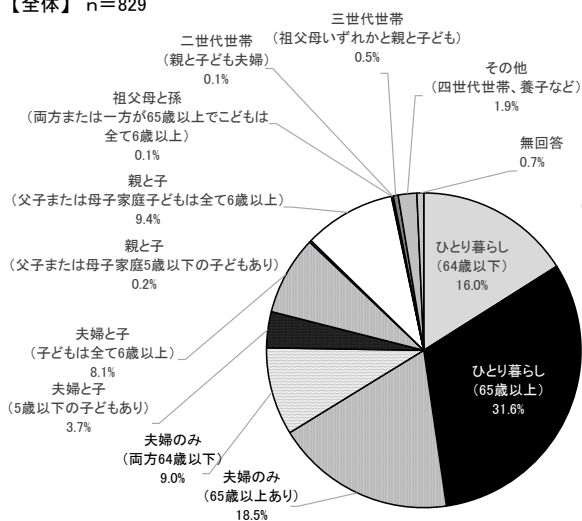
〈世帯構成の区分について〉

アンケート票では、世帯構成区分は下記の 15 区分（無回答を除く）に分けた。

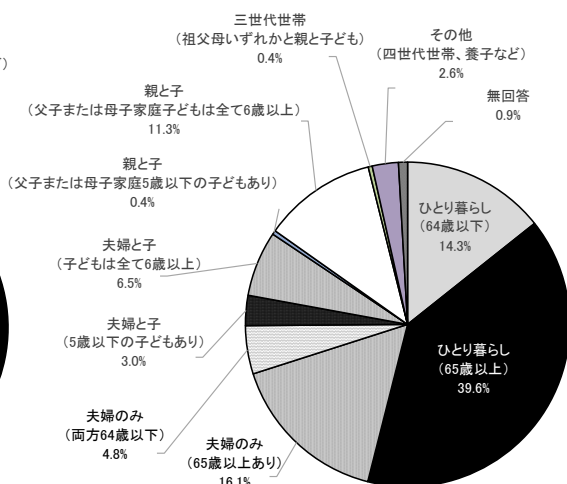
ひとり暮らし（64 歳以下）	ひとり暮らし（65 歳以上）	夫婦のみ（65 歳以上あり）	夫婦のみ（両方 64 歳以下）	夫婦と子（5 歳以下の子ともあり）	夫婦と子（子どもは全て 6 歳以上）	親と子（父子または母子家庭 5 歳以下の子どもあり）	親と子（父子または母子家庭 5 歳以下の子どもは全て 6 歳以上）	祖父母と孫（両方または一方が 65 歳以上で 5 歳以下子どもあり）	祖父母と孫（両方または一方が 65 歳以上で 5 歳以下子どもあり）	祖父母と孫（両方 64 歳以下で 5 歳以下子どもあり）	祖父母と孫（両方 64 歳以下で 5 歳以下子どもは全て 6 歳以上）	二世帯世帯（親と子ども夫婦）	三世帯世帯（祖父母いずれかと親と子ども）	その他（四世代世帯、養子など）	無回答
----------------	----------------	----------------	-----------------	-------------------	--------------------	----------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------	-------------------------------------	----------------	----------------------	-----------------	-----

■世帯構成

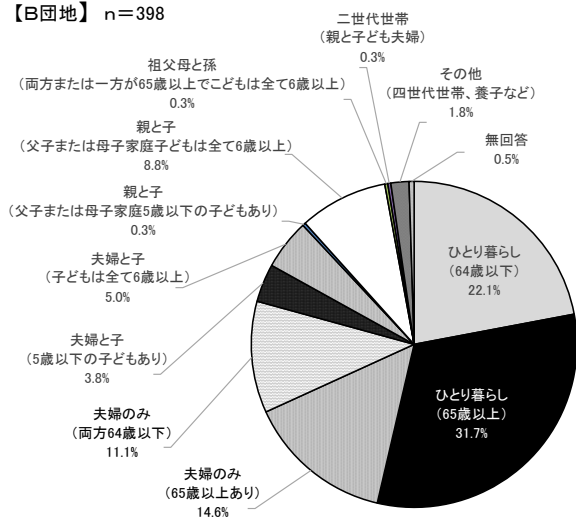
【全体】 n=829



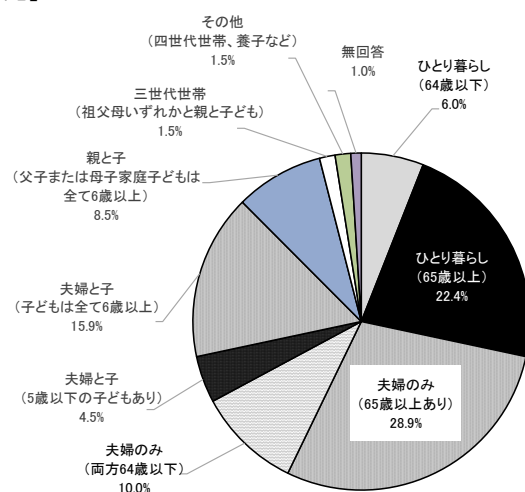
【A団地】 n=230



【B団地】 n=398



【C団地】 n=201



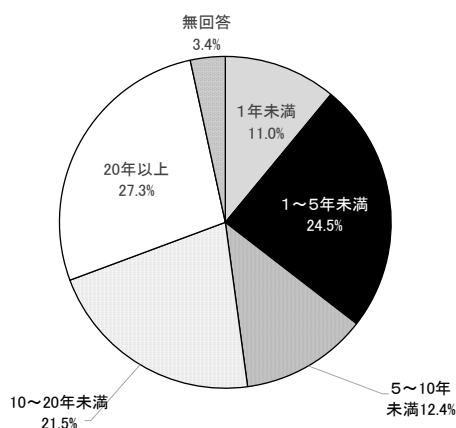
F-2 現在のお住まいで暮らされてどれくらい経ちますか。(〇はひとつ)

1. ～ 1年未満	4. 10～20年未満
2. 1～ 5年未満	5. 20年以上～
3. 5～ 10年未満	

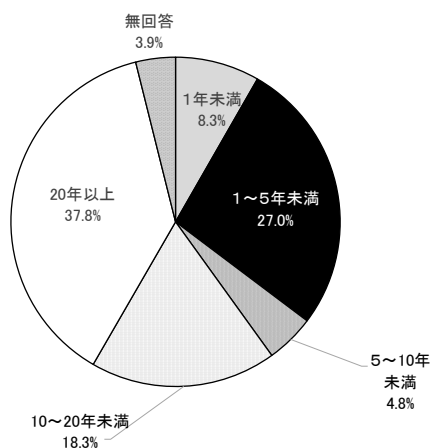
- ・居住年数についてみると、全体では、「20 年以上」が 27.3%で最も高く、次いで、「1～5 年未満」が 24.5%、「10～20 年未満」が 21.5%の順となっている。
- ・『A 団地』についてみると、「20 年以上」が 37.8%で最も高く、次いで、「1～5 年未満」が 27.0%、「10～20 年未満」が 18.3%の順となっている。
- ・『B 団地』についてみると、「1～5 年未満」が 28.4%で最も高く、次いで、「10～20 年未満」が 19.8%、「5～10 年未満」が 17.3%の順となっている。
- ・『C 団地』についてみると、「20 年以上」が 39.3%で最も高く、次いで、「10～20 年未満」が 28.4%、「1～5 年未満」が 13.9%の順となっている。
- ・それぞれの団地の特徴を比較すると、A 団地、C 団地では、「20 年以上」の居住年数の長い世帯が高く、B 団地では、「1～5 年未満」の居住年数の短い世帯が高くなっている。

■ 居住年数

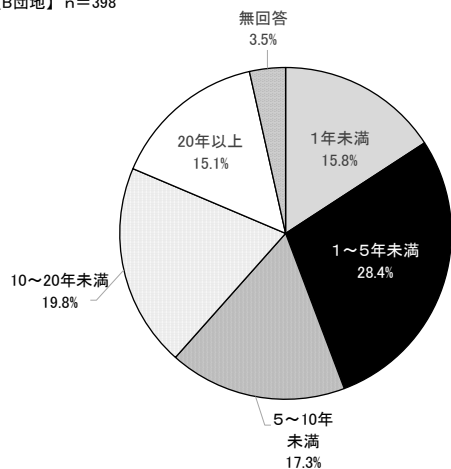
【全 体】 n=829



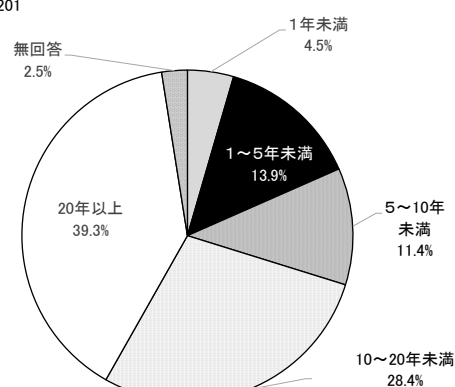
【A団地】 n=230



【B団地】 n=398



【C団地】 n=201



(65歳以上のご家族がおられる) 全ての方にお尋ねします。

問1 あなたの世帯の健康状態についてお答えください。(○はひとつ)

1. 世帯全員が健康である
2. 世帯の中で健康でない家族がいる→(具体的に:)
3. 世帯全員が健康とはいえない
4. その他()

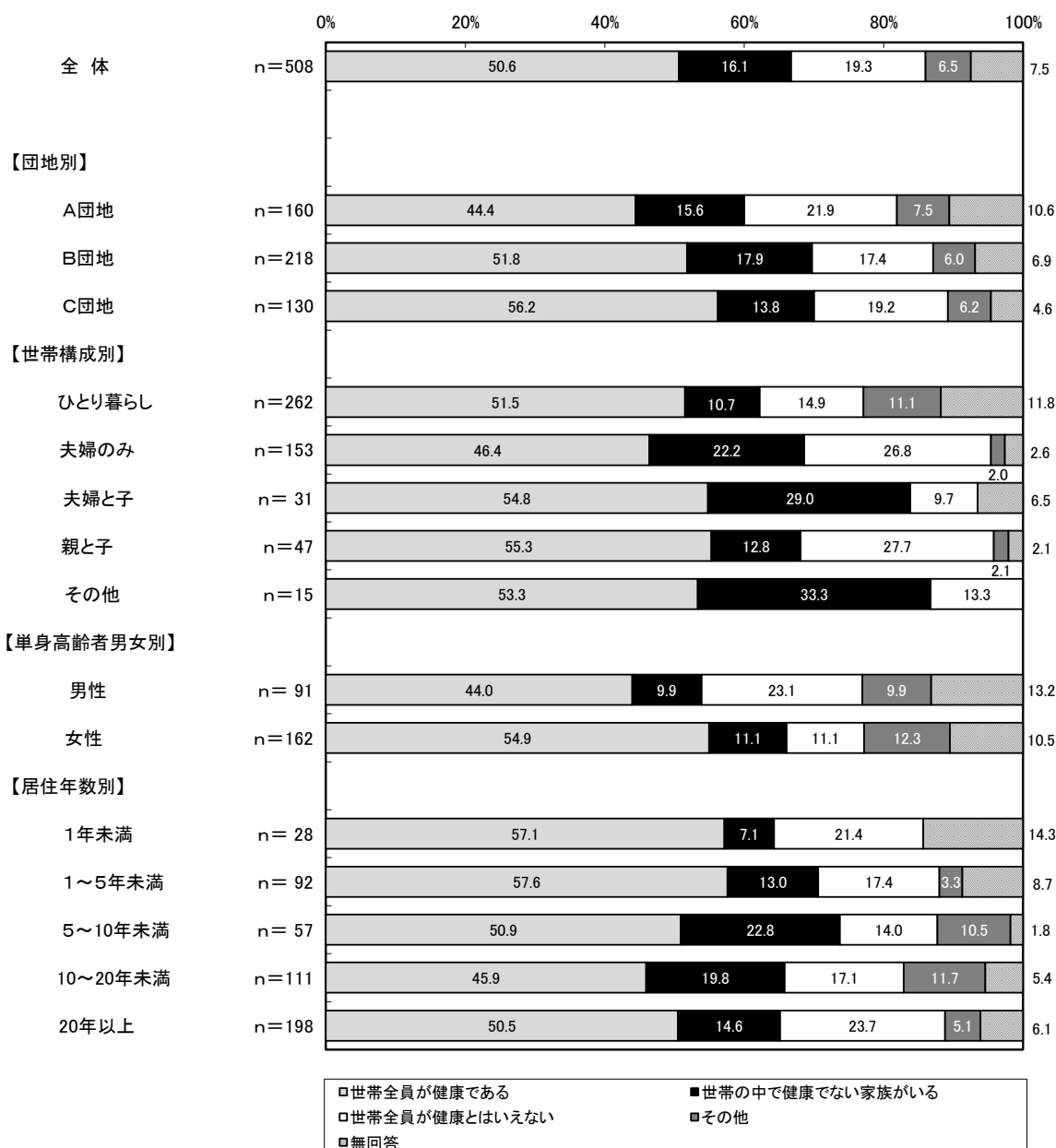
- ・世帯の健康状態について、全体をみると、「世帯全員が健康である」が50.6%で最も高く、次いで、「世帯全員が健康とはいえない」が19.3%、「世帯の中で健康でない家族がいる」が16.1%の順となっており、約半数の世帯が健康と答えている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も、「世帯全員が健康である」が最も高く、半数前後となっている。
- ・世帯構成別にみると、いずれの世帯構成でも、「世帯全員が健康である」が最も高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「世帯全員が健康である」が44.0%であるのに対し、『女性』では、同54.9%となっており、『女性』の方が10.9ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も「世帯全員が健康である」が最も高くなっているが、「10～20年未満」は、その割合が低く、他は50%を超えているのに対し、50%以下となっている。

〈世帯構成5区分について〉

アンケート票では世帯構成区分は、15区分に分けたが、該当する票が0であったり1ケタであったり等、クロス集計上無理が発生することから、問1～問24は5区分(無回答を除く)で集計を行った。(下記参照)

世帯構成5区分	15区分														無回答
	ひとり暮らし (64歳以下)	ひとり暮らし (65歳以上)	夫婦のみ (65歳以上あり)	夫婦のみ (64歳以下)	夫婦と子 (5歳以下の子もあり)	夫婦と子 (子どもは全て6歳以上)	親と子 (父子または母子家庭5歳以下の子もあり)	親と子 (父子または母子家庭子どもは全て6歳以上)	祖父母と孫 (両方または一方が65歳以上で5歳以下子どもあり)	祖父母と孫 (両方または一方が65歳以上で6歳以上)	祖父母と孫 (両方64歳以下で5歳以下子どもあり)	祖父母と孫 (両方64歳以下で子どもは全て6歳以上)	二世帯世帯 (親と子ども夫婦)	三世帯世帯 (祖父母いずれかと親と子ども)	その他 (四世代世帯、養子など)
5区分	ひとり暮らし	夫婦のみ	夫婦と子	親と子	その他										無回答

■世帯の健康状態



■選択肢2の健康でないの具体的内容（主なもの）

内 容	件数
高血圧症・糖尿病・腎臓病	8
夫婦・夫・妻・本人	9
がん・前立腺大腸ポリープ	4
心臓	4

■その他の内容（主なもの）

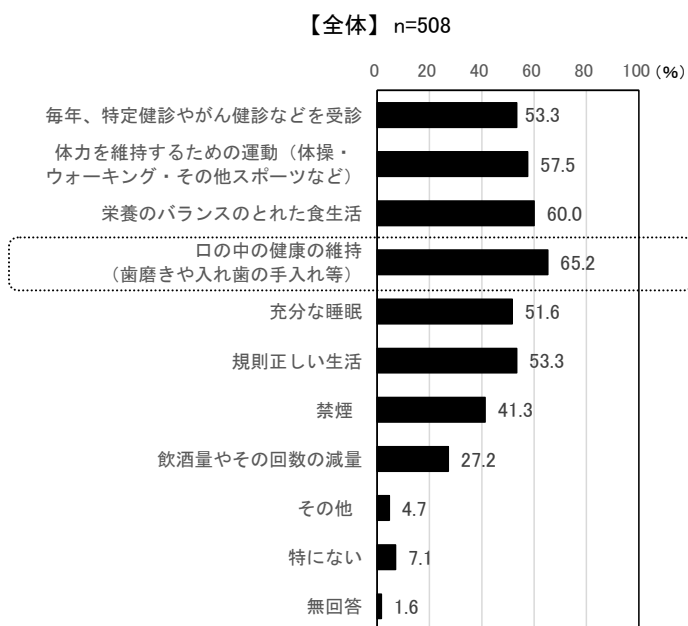
内 容	件数
持病あり	6
健康	4
介護保険認定を受けている	2
入院中	2
高齢なので健康ではない	2
病院通い	2

問2 あなたの世帯として、現在、健康づくりや介護予防のために気をつけていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 毎年、特定健診やがん検診などを受診 |
| 2. 体力を維持するための運動(体操・ウォーキング・その他スポーツなど) |
| 3. 栄養のバランスのとれた食生活 |
| 4. 口の中の健康の維持(歯磨きや入れ歯の手入れ等) |
| 5. 十分な睡眠 |
| 6. 規則正しい生活 |
| 7. 禁煙 |
| 8. 飲酒量やその回数の減量 |
| 9. その他() |
| 10. 特にない |

- ・健康づくりや介護予防に気をつけていることについて全体をみると、「口の中の健康の維持」が 65.2%と最も高く、次いで、「栄養のバランスのとれた食生活」が 60.0%、「体力を維持するための運動」が 57.5%の順となっている。
- ・団地別にみると、『A 団地』では、「体力を維持するための運動」が最も高く、『B 団地』、『C 団地』では、「口の中の健康の維持」が最も高くなっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』では、「口の中の健康の維持」が最も高く、『夫婦のみ』『夫婦と子』では、「栄養のバランスのとれた食生活」が、『親と子』、『その他』では、「栄養のバランスのとれた食生活」と「口の中の健康の維持」が同率で最も高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』とも「口の中の健康の維持」が最も高くなっているが、『男性』では、次いで、「栄養のバランスのとれた食生活」の順となっているが、『女性』では、「体力を維持するための運動」の順となっている。
- ・居住年数別にみると、“5年以上の世帯”(『5～10年未満』、『10～20年未満』、『20年以上』)では、「口の中の健康の維持」が最も高く、次いで、「栄養のバランスのとれた食生活」の順となっているが、『1年未満』では、「体力を維持するための運動」、「栄養のバランスのとれた食生活」、「口の中の健康の維持」が最も高い割合で並んでおり、『1～5年未満』では、「体力を維持するための運動」が最も高く、次いで、「口の中の健康の維持」の順となっている。

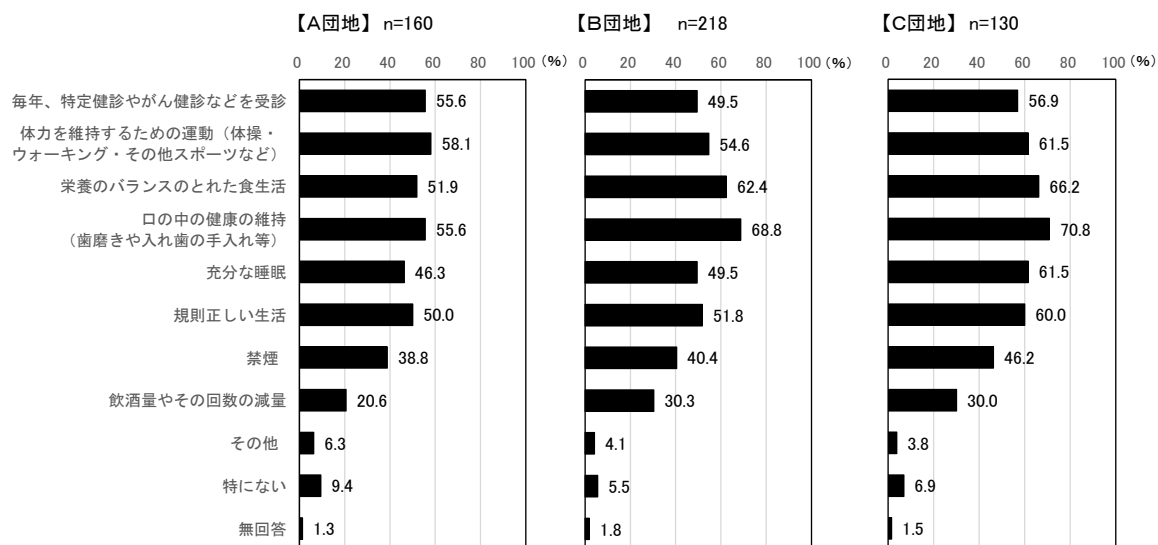
■健康づくりや介護予防に気をつけていること



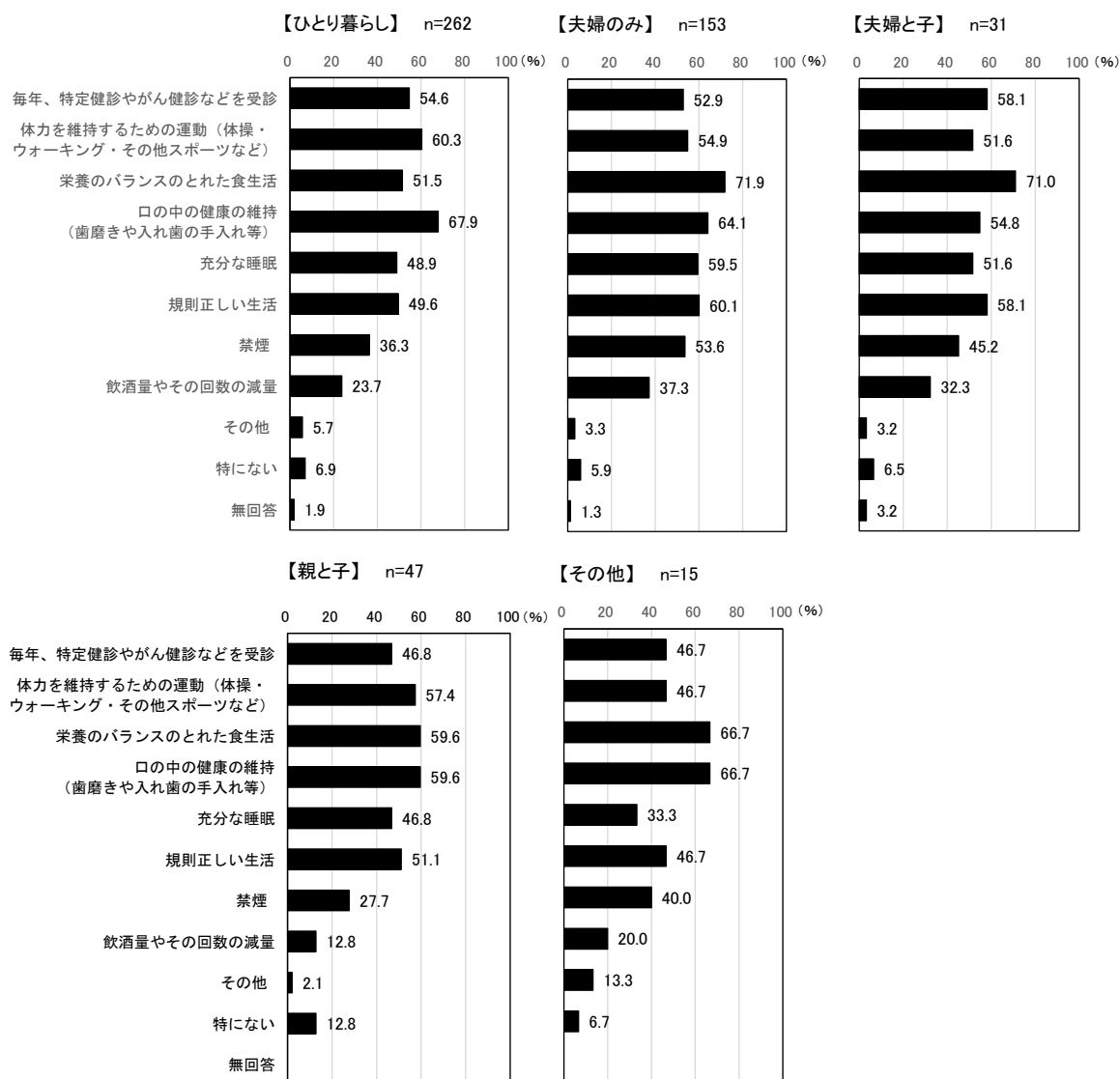
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
趣味	4
定期的に病院受診	4
ストレスをためない	4
煙草・飲酒はしない	3
栄養・睡眠をなるべくとるように心掛けている	3
スポーツジム通い	2
人とお付き合い、前向きな考え、会話、外出する	2

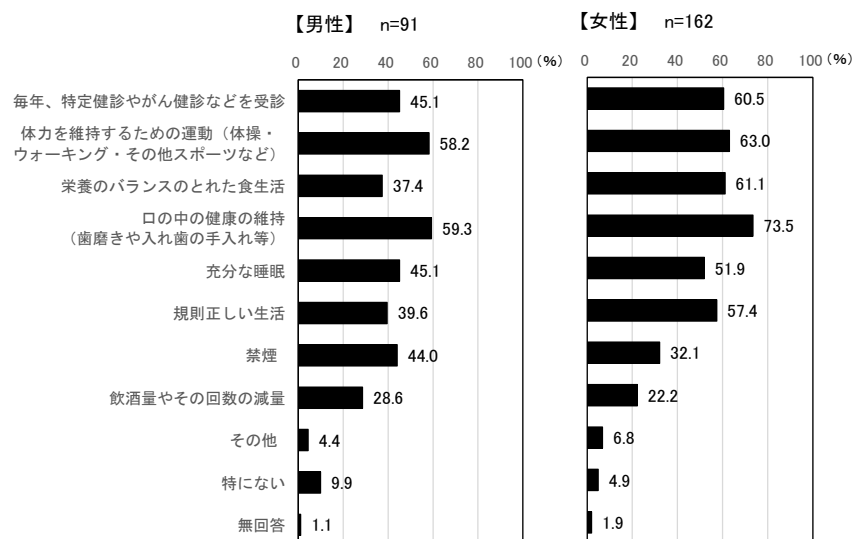
■団地別 健康づくりや介護予防に気をつけていること



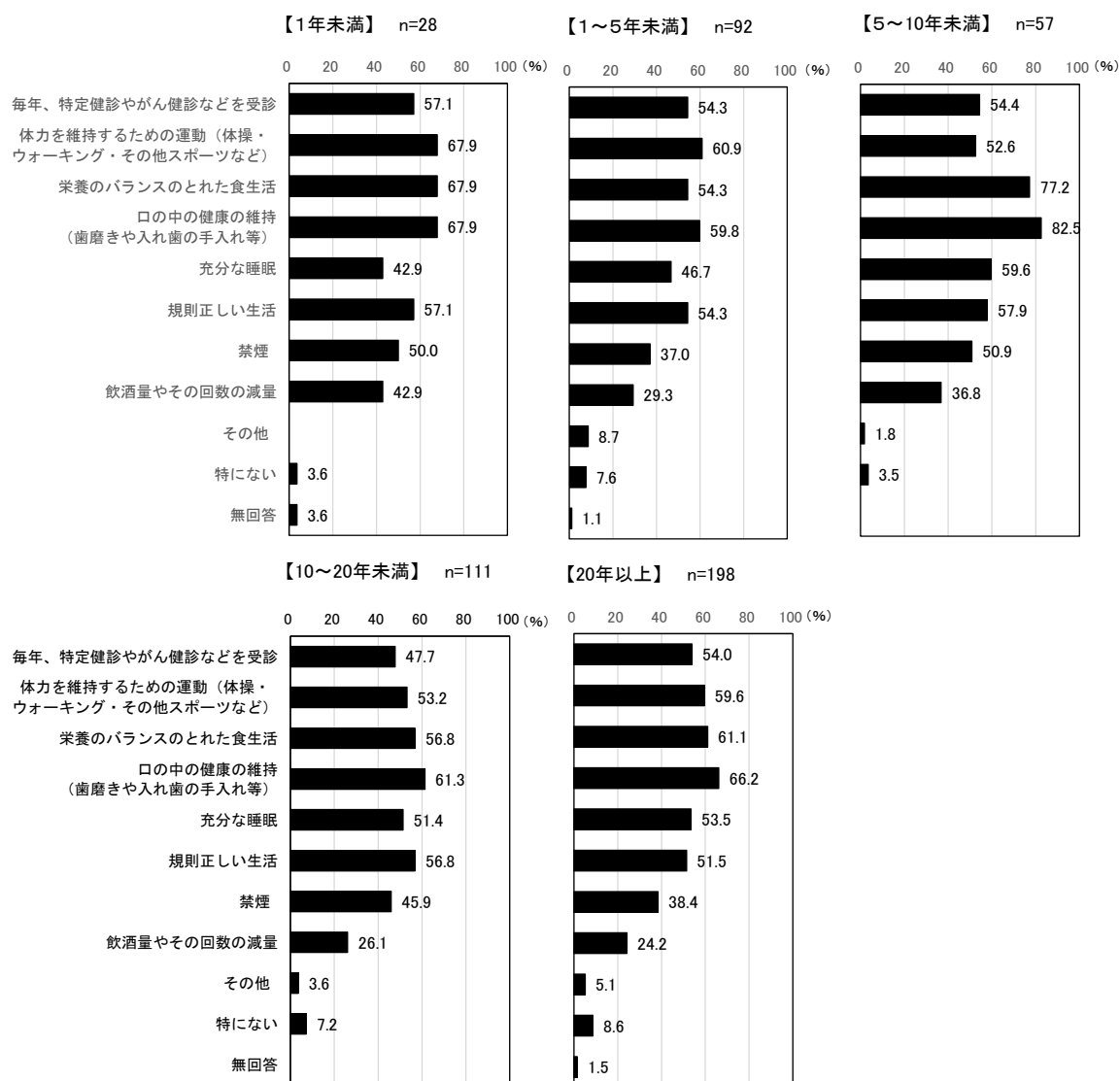
■世帯構成別 健康づくりや介護予防に気をつけていること



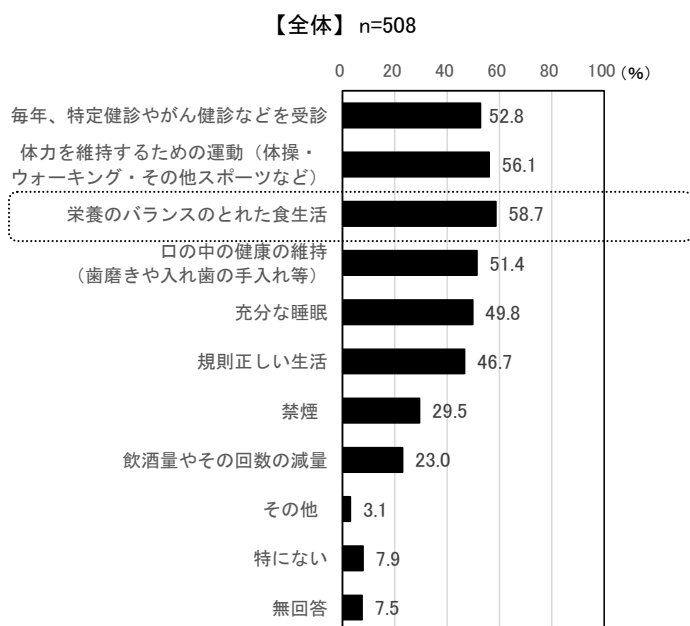
■単身高齢者男女別 健康づくりや介護予防に気をつけていること



■居住年数別 健康づくりや介護予防に気をつけていること



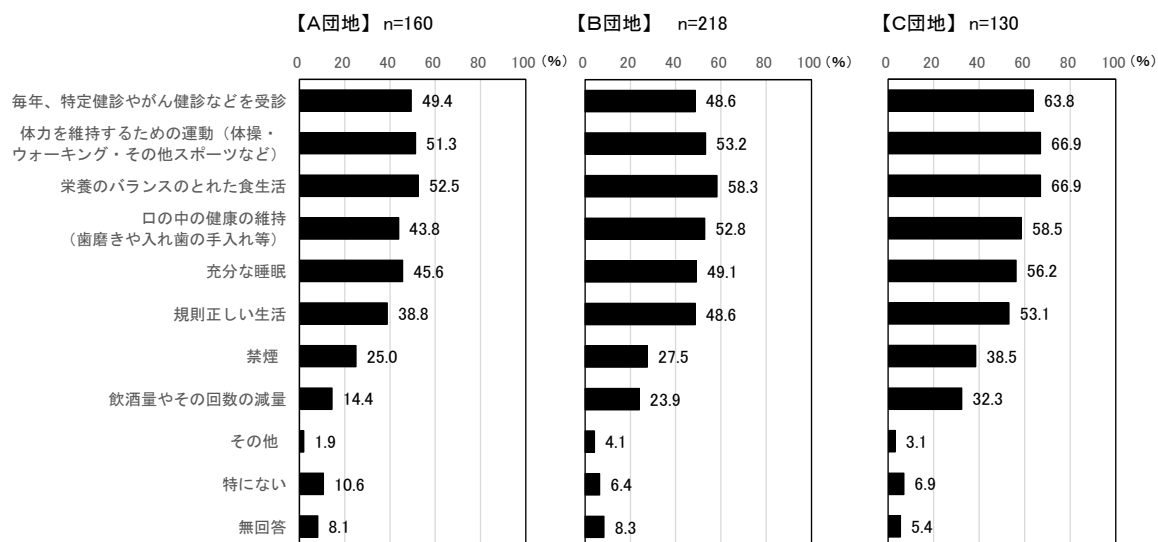
■ 今後、取り組みたいこと



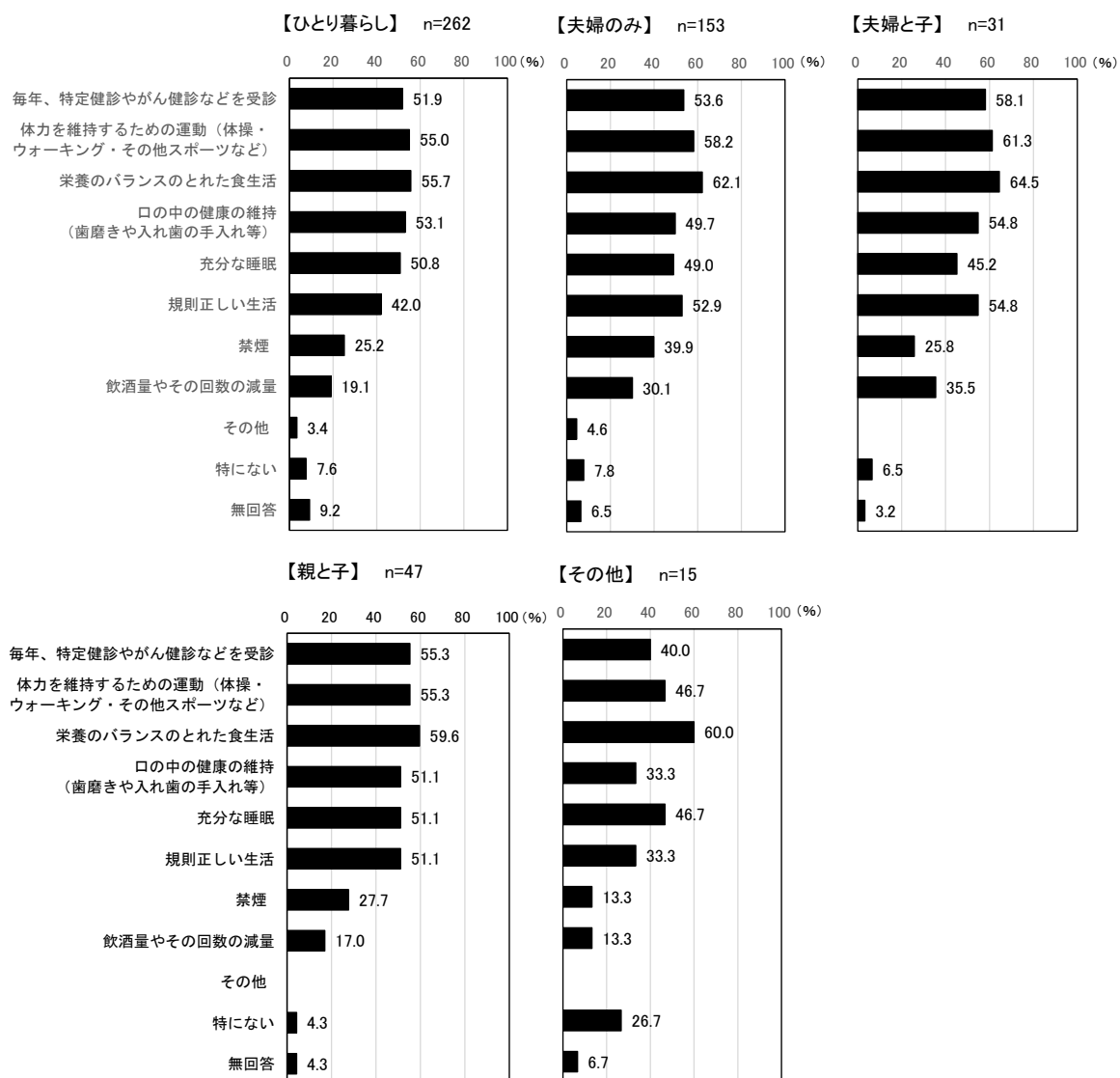
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
人とお付き合い・外出・趣味	4

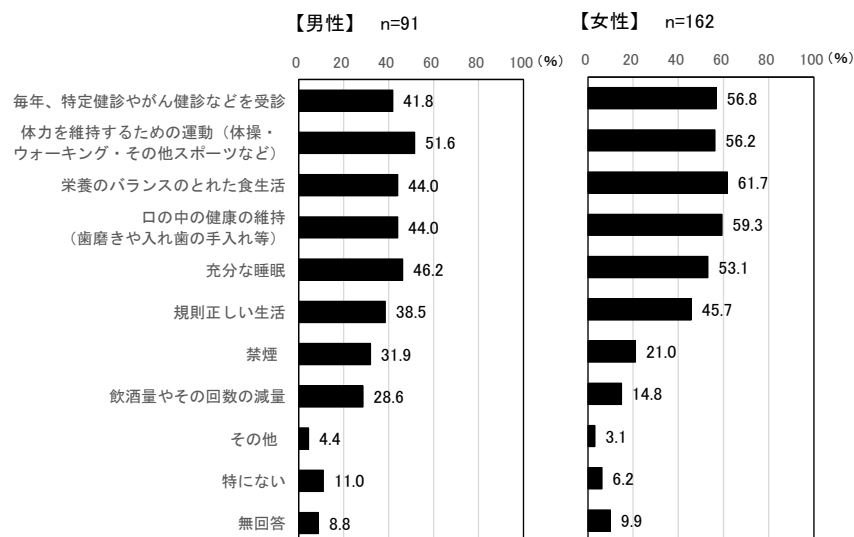
■ 団地別 今後、取り組みたいこと



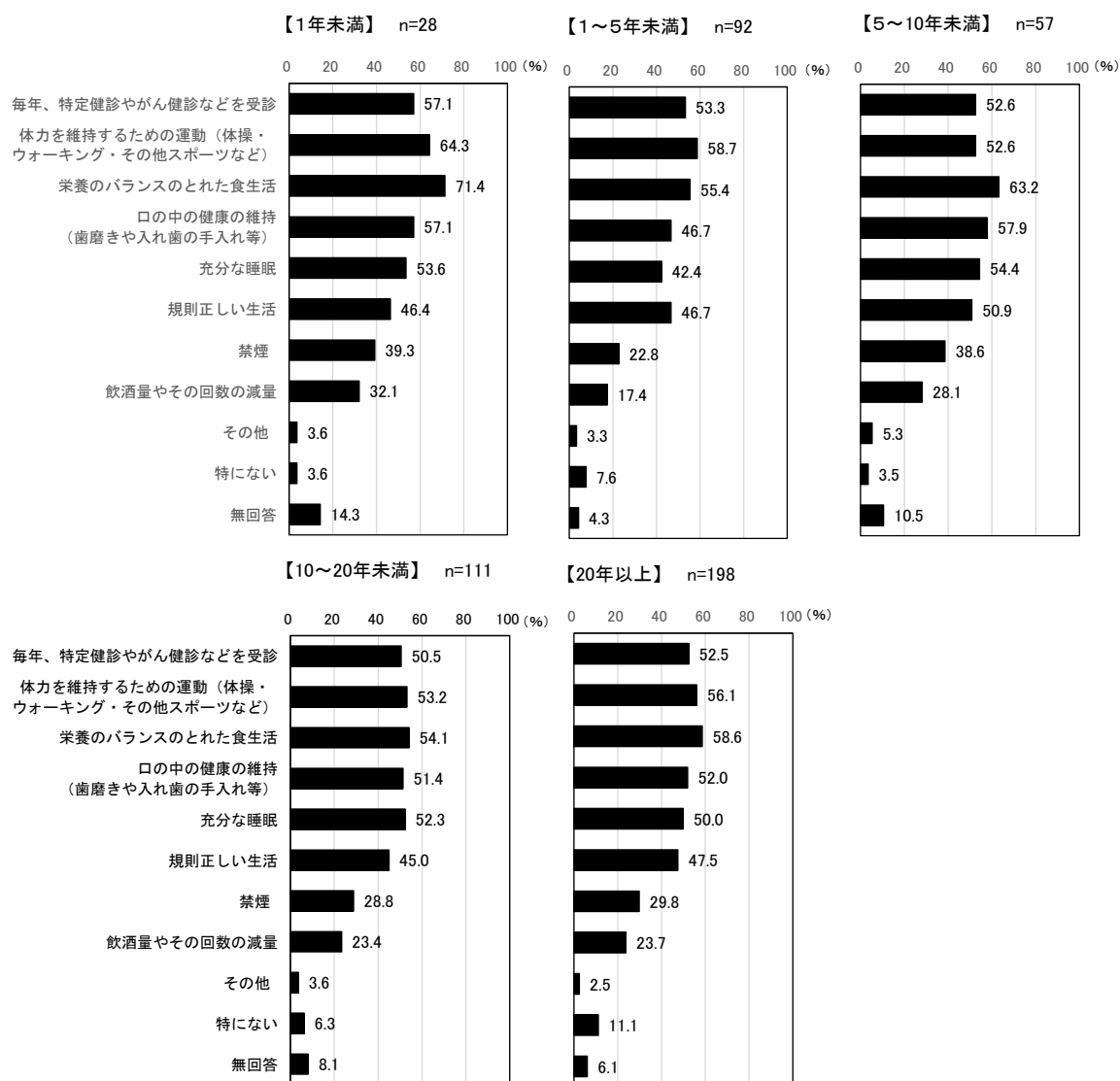
■世帯構成別 今後、取り組みたいこと



■単身高齢者男女別 今後、取り組みたいこと



■居住年数別 今後、取り組みたいこと

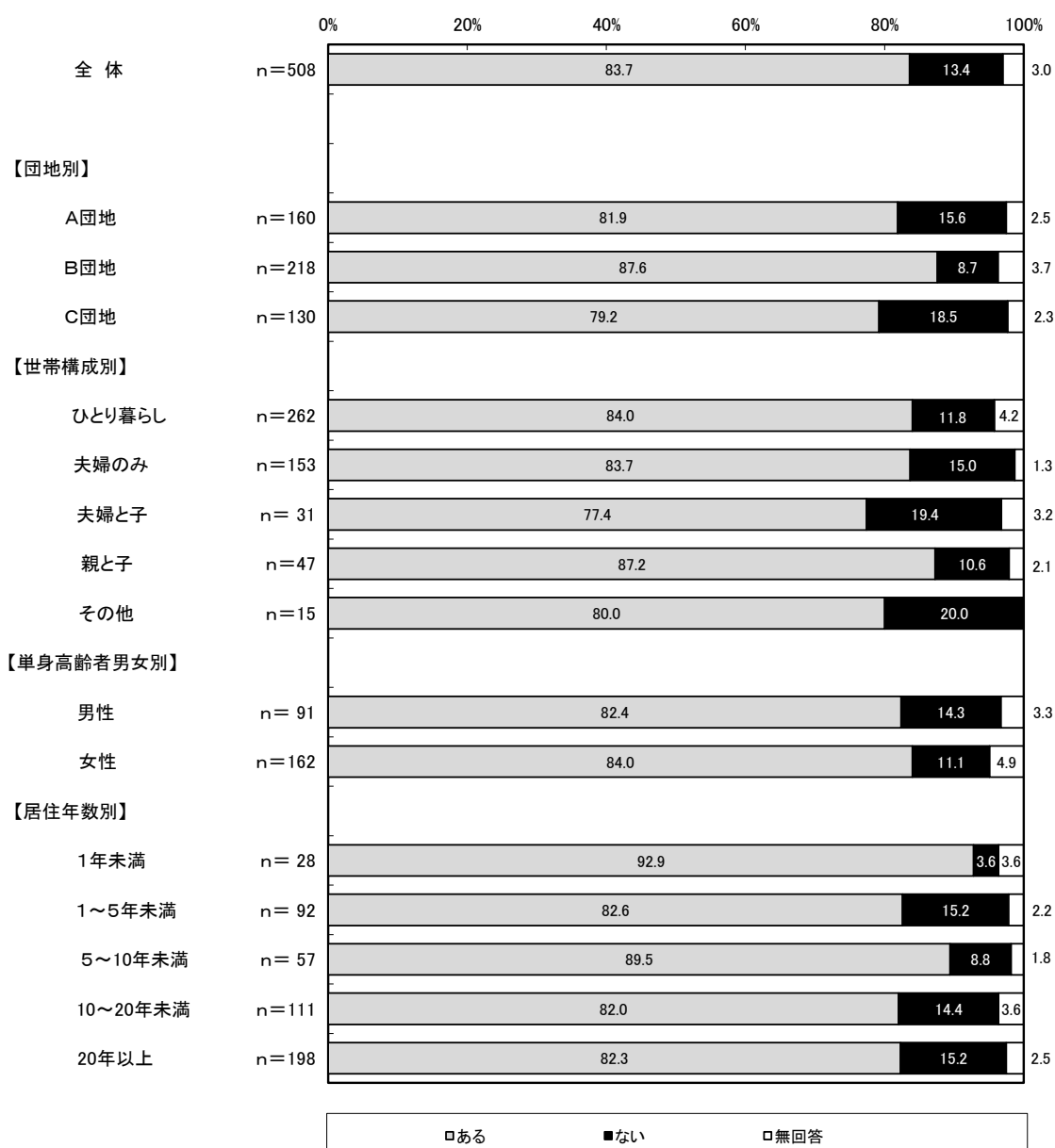


問4 将来への不安について、あなたの世帯として感じていることはありますか。
(〇はひとつ)

1. ある → 問5へお進みください
2. ない → 問9へお進みください

- ・将来への不安の有無について全体をみると、「ある」が83.7%、「ない」が13.4%となっている。
- ・団地別にみると、『B団地』では、「ある」が87.6%と高くなっており、『C団地』では、同79.2%と比較すると、8.4ポイントの差がある。
- ・世帯構成別にみると、『親と子』では、「ある」が87.2%と高くなっており、『夫婦と子』の同77.4%と比較すると、9.8ポイントの差がある。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「ある」が82.4%であるのに対し、『女性』では、同84.0%となっており、『女性』の方がやや高くなっている。
- ・居住年数別にみると、『1年未満』では、「ある」が92.9%と高く、一方、『10～20年未満』では、同82.0%となっている。

■将来への不安の有無



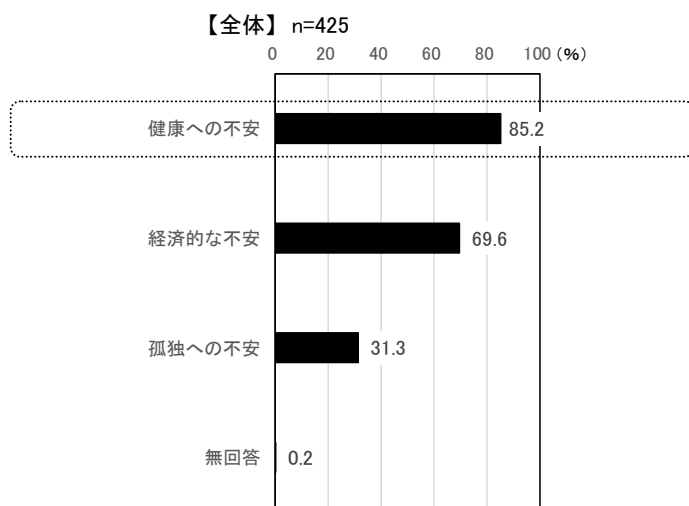
問4で「1. ある」とお答えの方にお尋ねします。

問5 どのようなことで不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

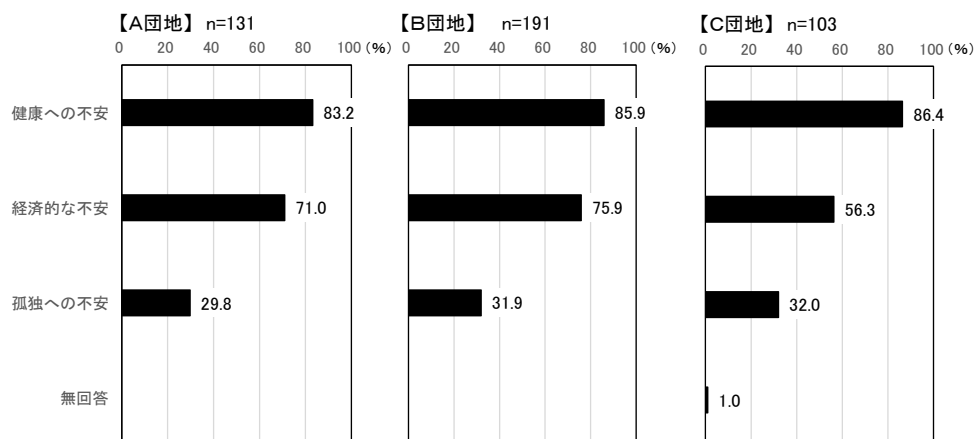
- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 健康への不安 | → 問6へお進みください |
| 2. 経済的な不安 | → 問7へお進みください |
| 3. 孤独への不安 | → 問8へお進みください |

- ・不安を感じていることについて全体をみると、「健康への不安」が85.2%で最も高く、次いで、「経済的な不安」が69.6%、「孤独への不安」が31.3%の順となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も全体とほぼ同様の傾向となっており、いずれの団地も「健康への不安」が最も高くなっている。
- ・世帯構成別にみると、『夫婦のみ』では、「健康への不安」が90.6%と他の世帯構成の「健康への不安」の割合よりも高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「健康への不安」が78.7%であるのに対し、『女性』では、同84.6%となっており、『女性』の方がやや高くなっている。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も、「健康への不安」が最も高いが、『5～10 年未満』では、「経済的な不安」も84.3%と高くなっている。

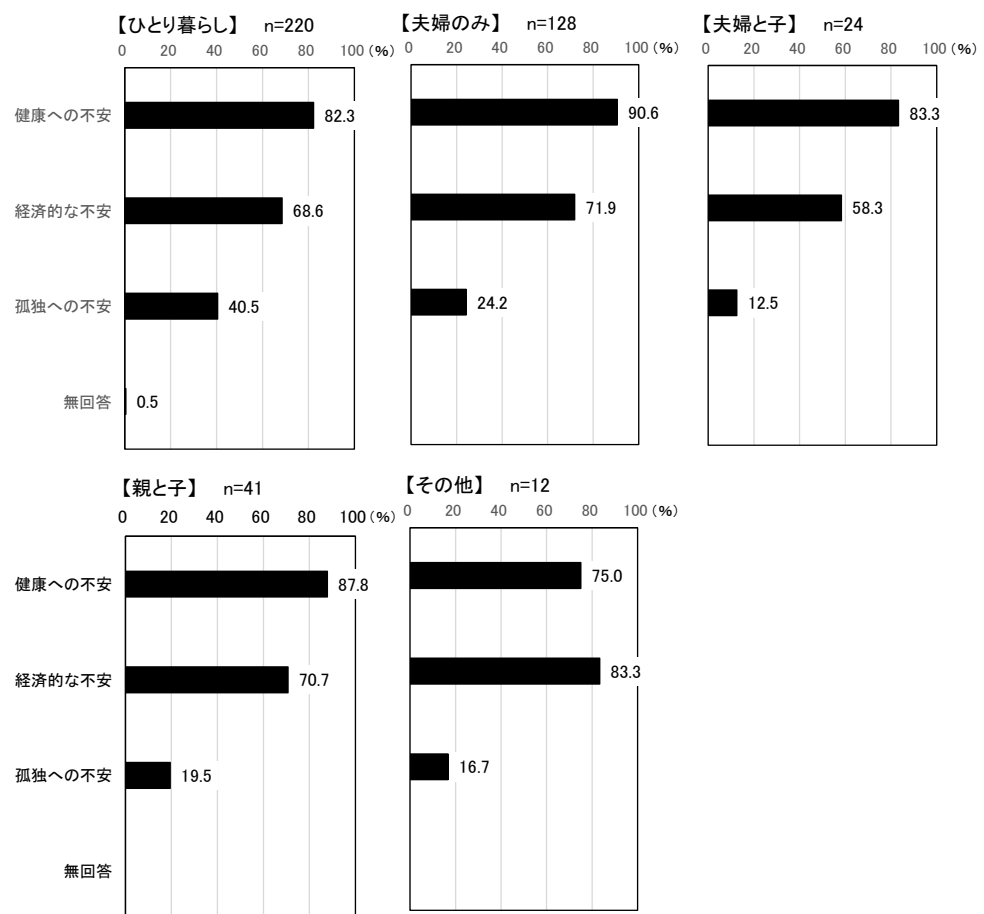
■ 不安を感じていること



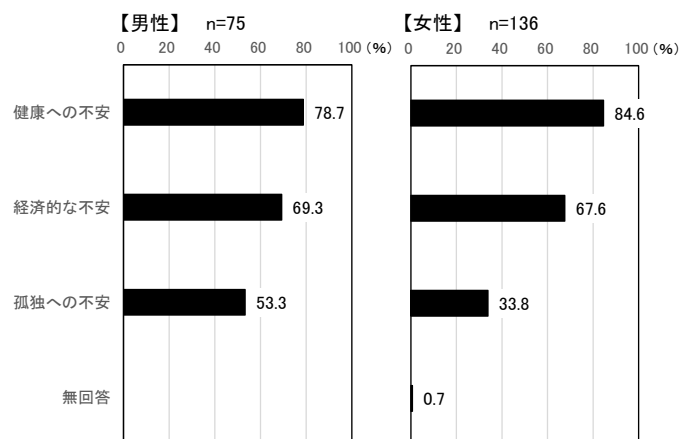
■ 団地別 不安を感じていること



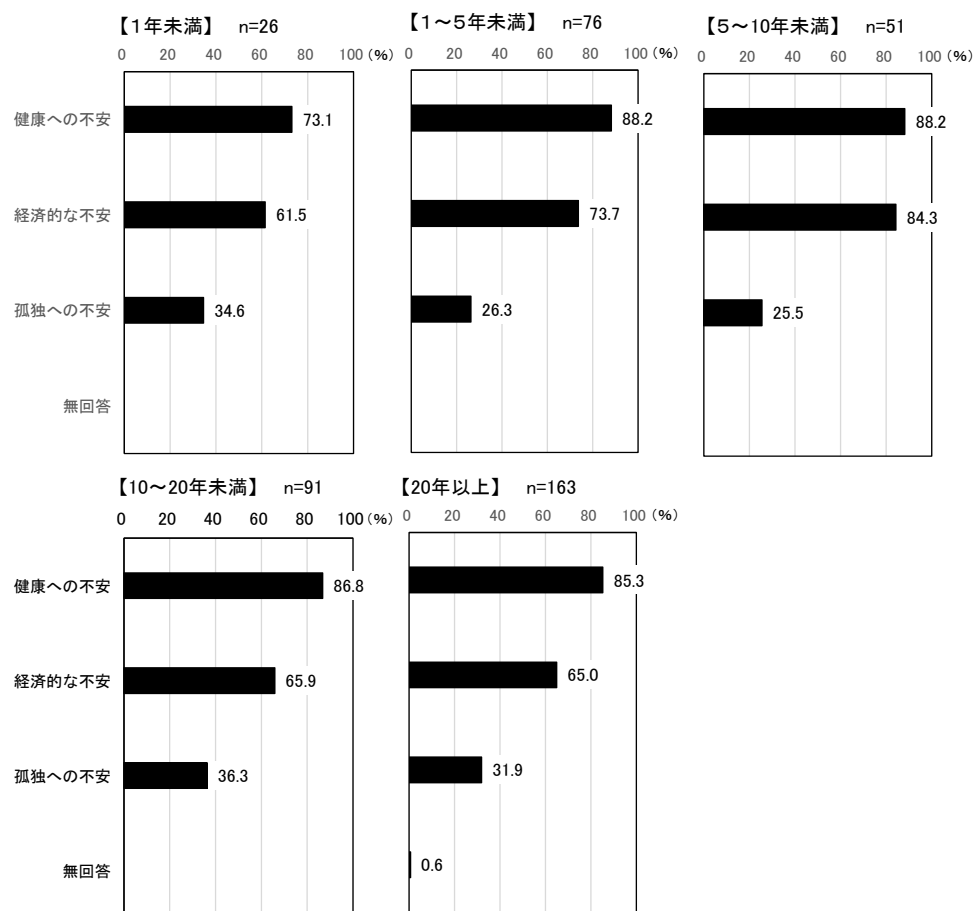
■世帯構成別 不安に感じていること



■単身高齢者男女別 不安に感じていること



■ 居住年数別 不安に感じていること

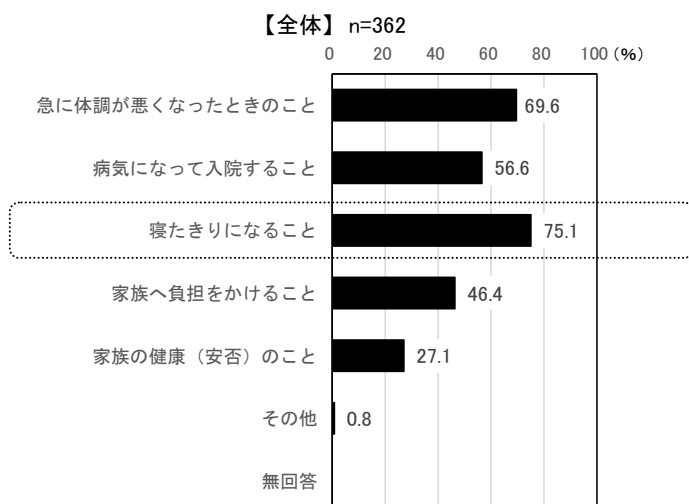


問6 健康に対して、どのようなことで不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

-

- 35

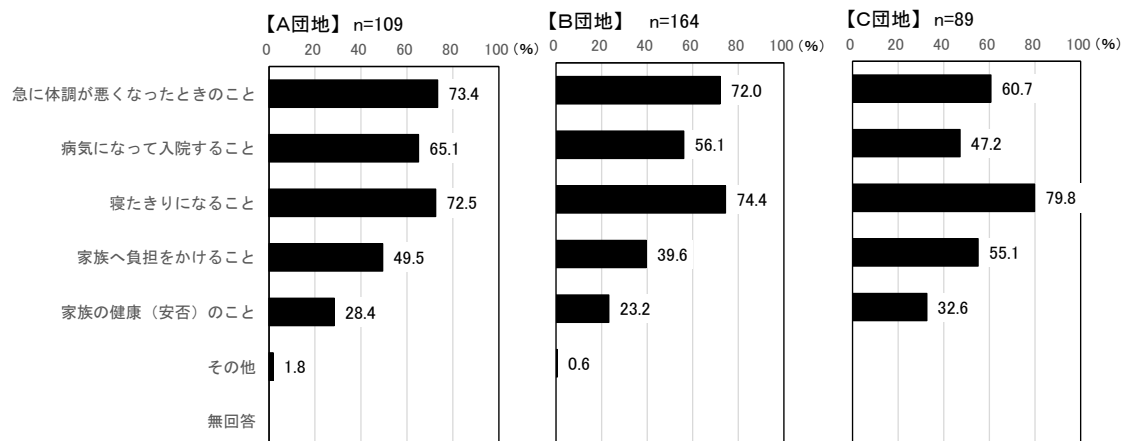
■健康に対する不安の内容



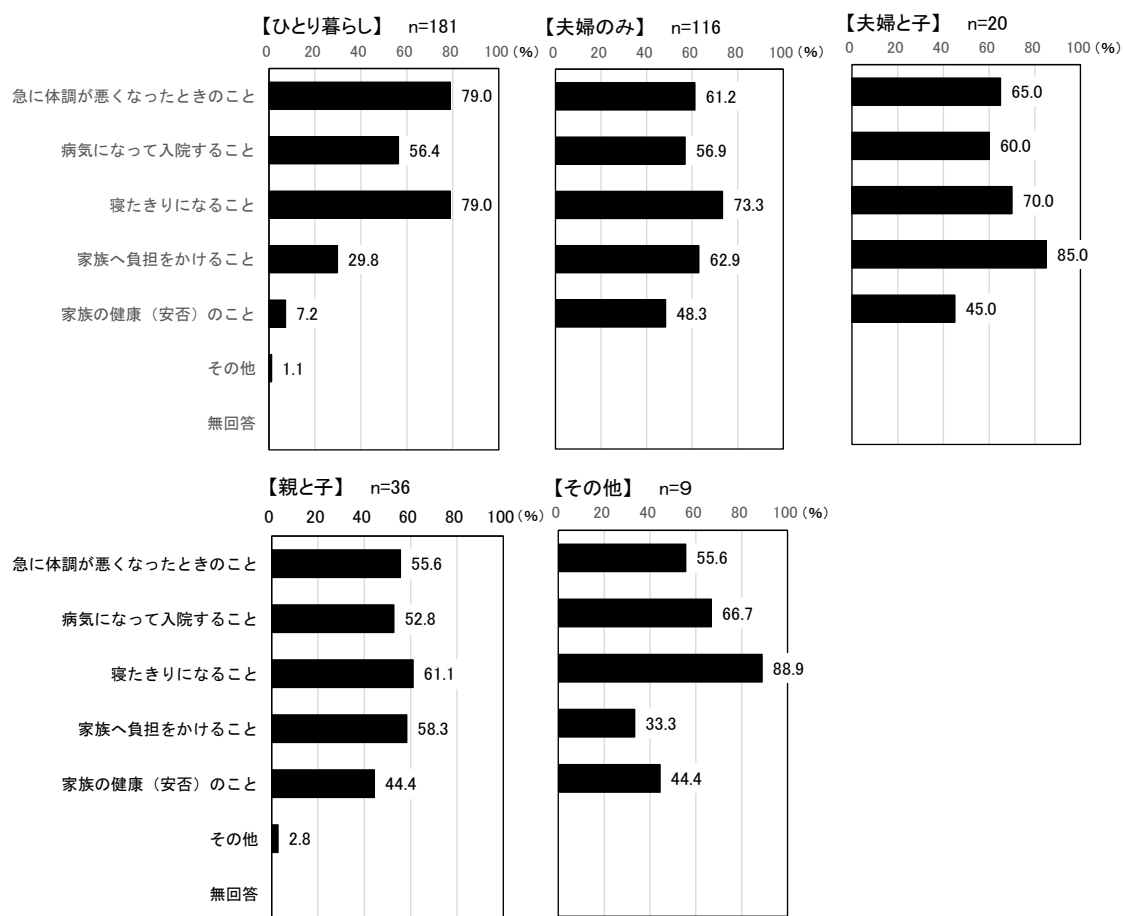
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
妻の健康、もし病気になった場合の対応	1
介護のこと	1
一人暮らしでどうすれば良いか？ 長生きはしたくない 医師も信用出来ない（薬付けにしようとするが、副作用が出るので、飲まない）	1

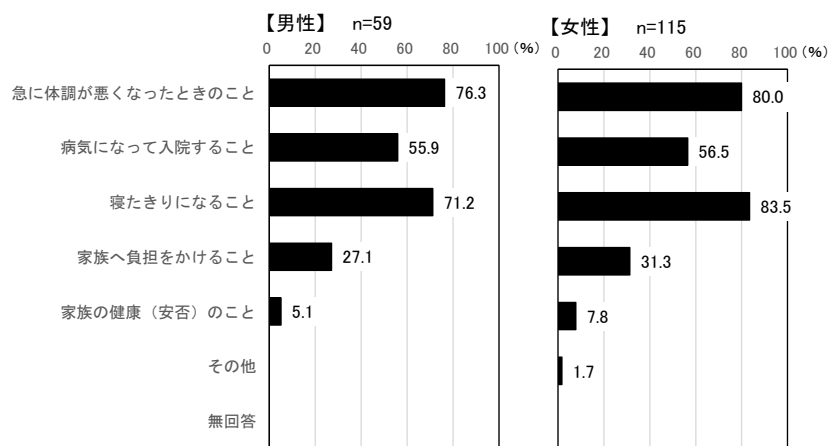
■団地別 健康に対する不安の内容



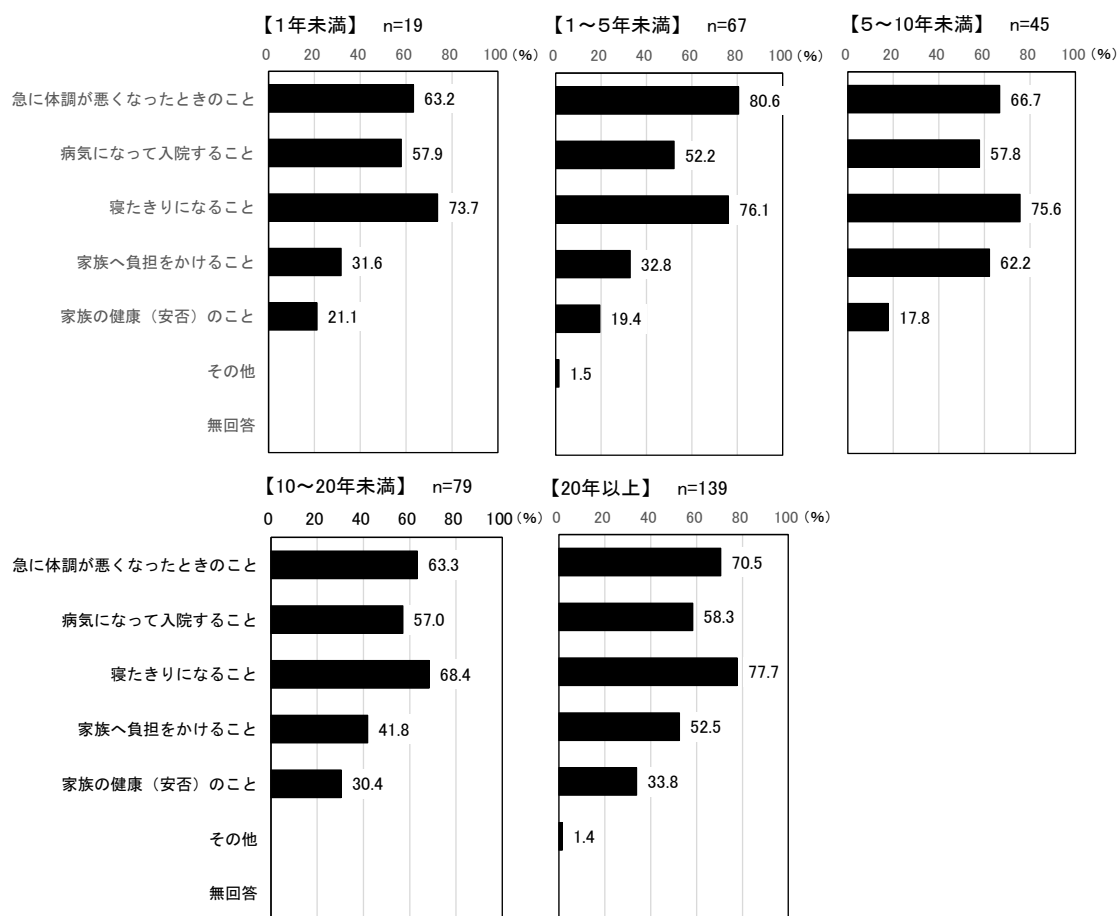
■世帯構成別 健康に対する不安の内容



■単身高齢者男女別 健康に対する不安の内容



■居住年数別 健康に対する不安の内容



問5で「2. 経済的な不安」とお答えの方にお尋ねします。

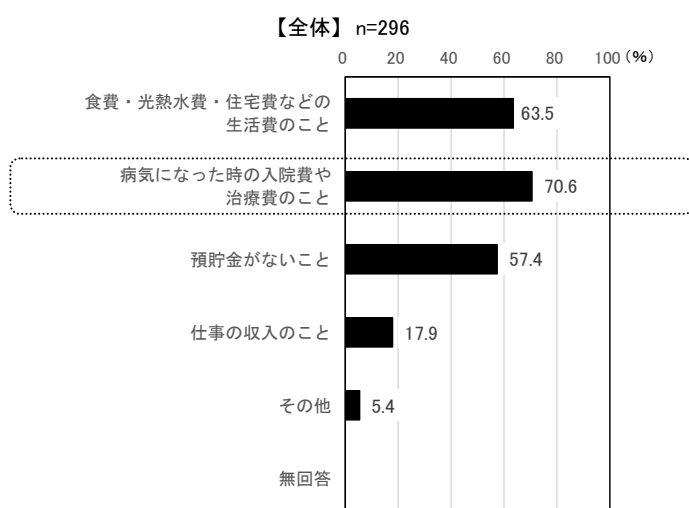
問7 経済的な面に対して、どのようなことで不安を感じていますか。

(〇はいくつでも)

1. 食費・光熱水費・住宅費などの生活費のこと
2. 病気になった時の入院費や治療費のこと
3. 預貯金がないこと
4. 仕事の収入のこと
5. その他 ()

- ・経済面での不安の内容について全体をみると、「病気になったときの入院費や治療費のこと」が 70.6%で最も高く、次いで、「食費・光熱水費・住宅費などの生活費のこと」が 63.5%、「預貯金がないこと」が 57.4%の順となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も全体とほぼ同様の傾向となっており、いずれの団地も「病気になったときの入院費や治療費のこと」が最も高くなっている。
- ・世帯構成別にみると、いずれの世帯構成も、「病気になったときの入院費や治療費のこと」が最も高く、また、『夫婦と子』では、「食費・光熱水費・住宅費などの生活費のこと」、「病気になったときの入院費や治療費のこと」、「預貯金がないこと」が 57.1%、『親と子』では、「食費・光熱水費・住宅費などの生活費のこと」と「病気になったときの入院費や治療費のこと」が 65.5%と同率で最も高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』とも、「頼れる家族や友人がいないこと」が最も高くなっているが、『男性』が 65.4%であるのに対し、『女性』では、70.7%となっており、『女性』の方が 5.3 ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も、「病気になったときの入院費や治療費のこと」が最も高く、また、『5～10 年未満』では、「病気になったときの入院費や治療費のこと」、「預貯金がないこと」が 69.8%と同率で最も高くなっている。

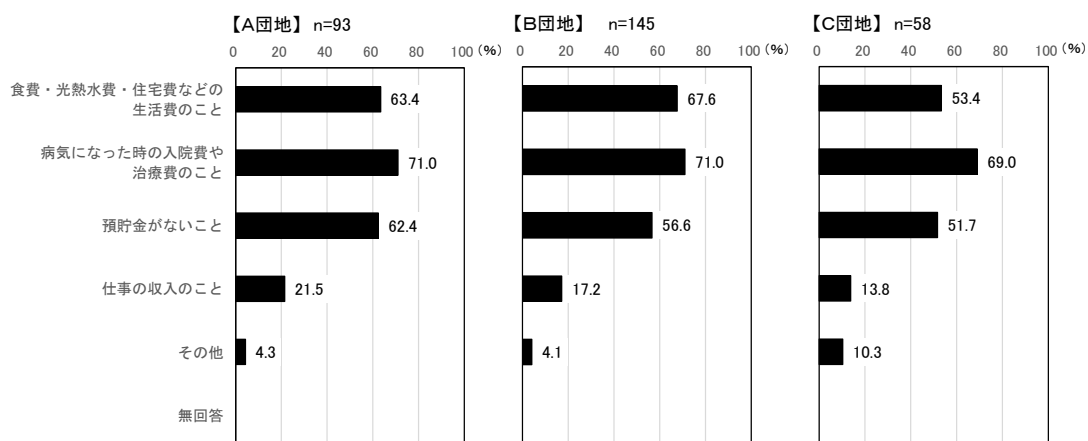
■経済面での不安の内容



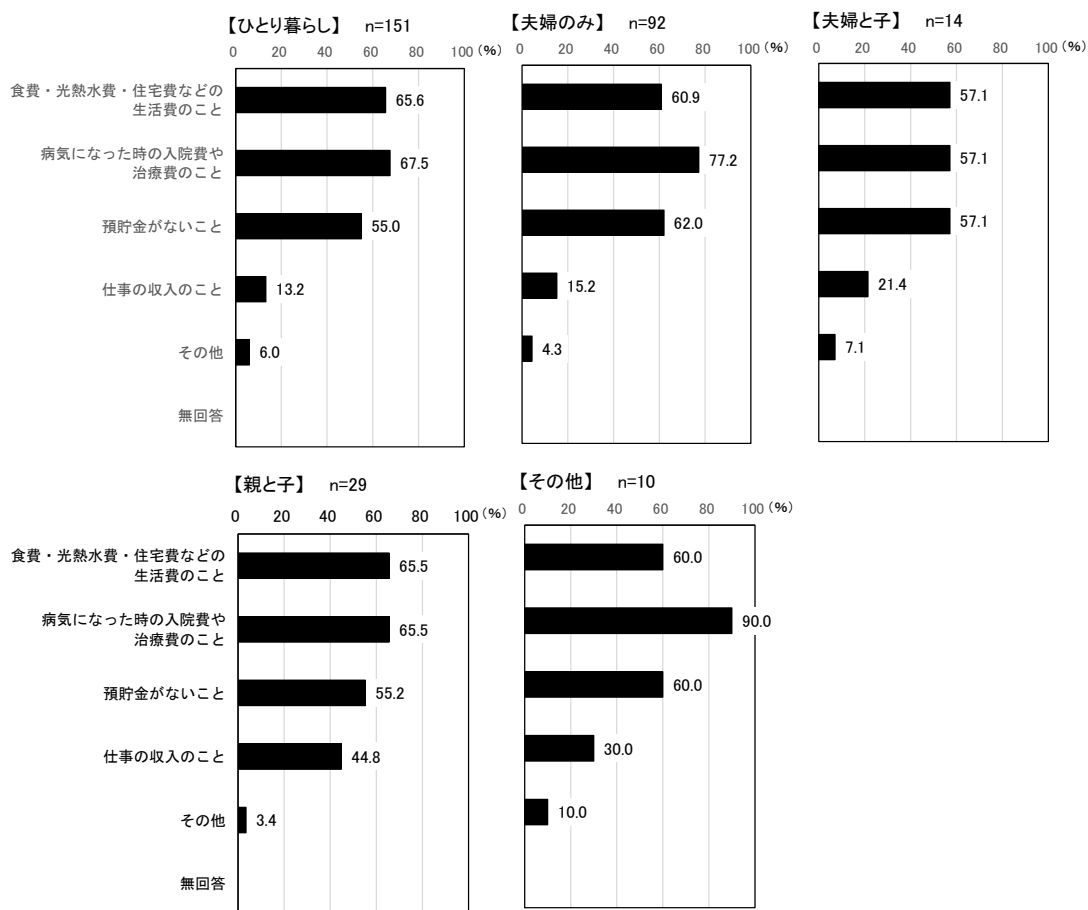
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
年金が少なくなりつつあり、国民年金のみで苦しい	7

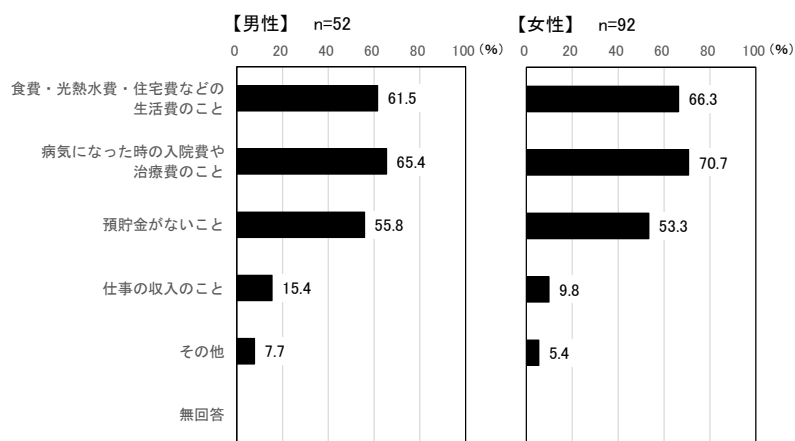
■ 団地別 経済面での不安の内容



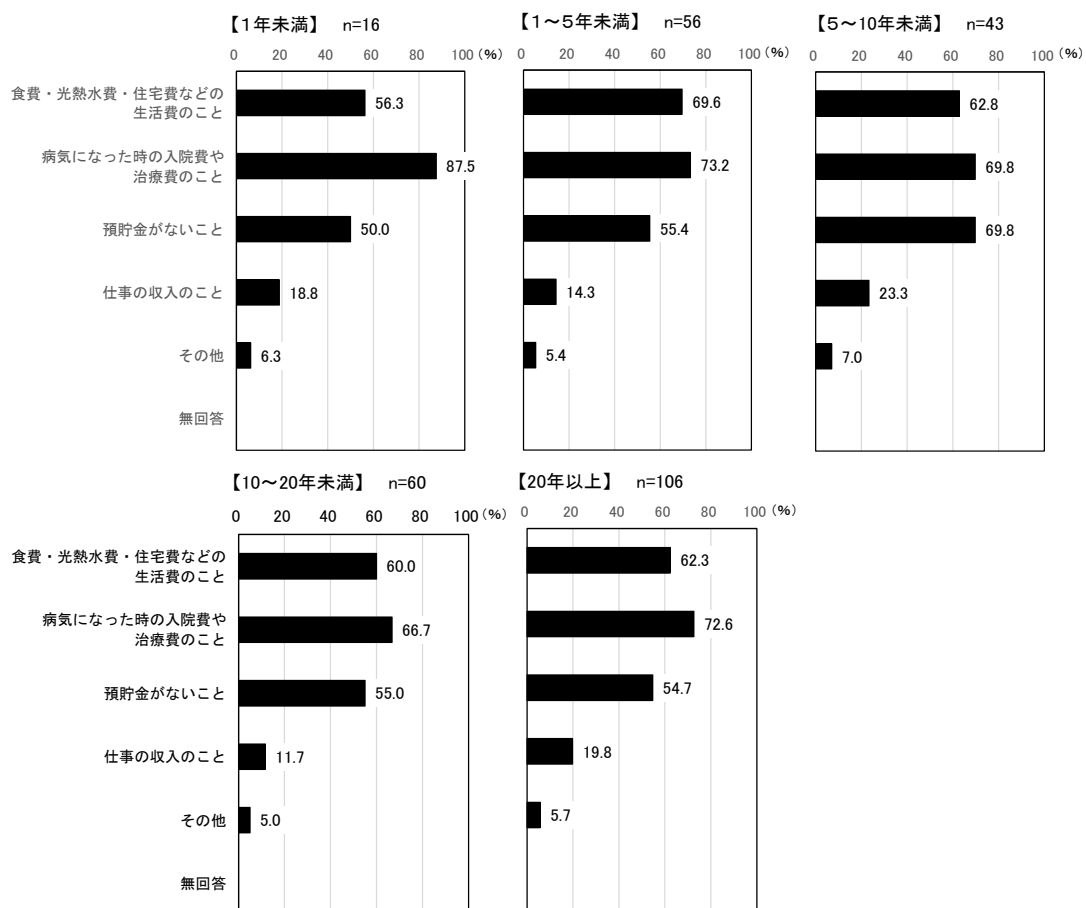
■ 世帯構成別 経済面での不安の内容



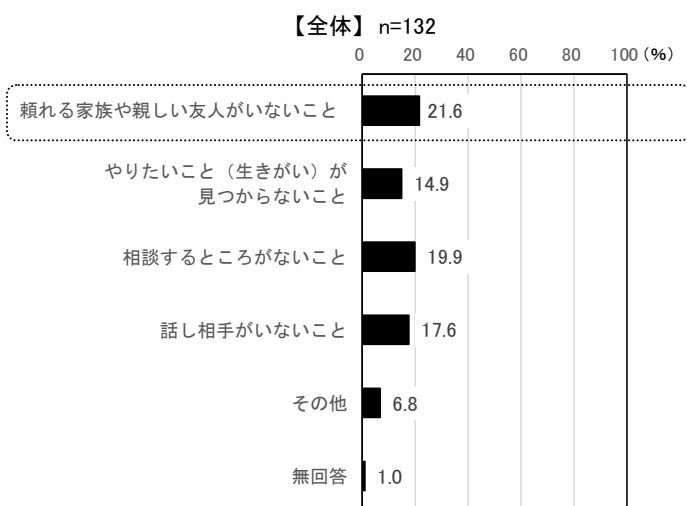
■単身高齢者男女別 経済面での不安の内容



■居住年数別 経済面での不安の内容



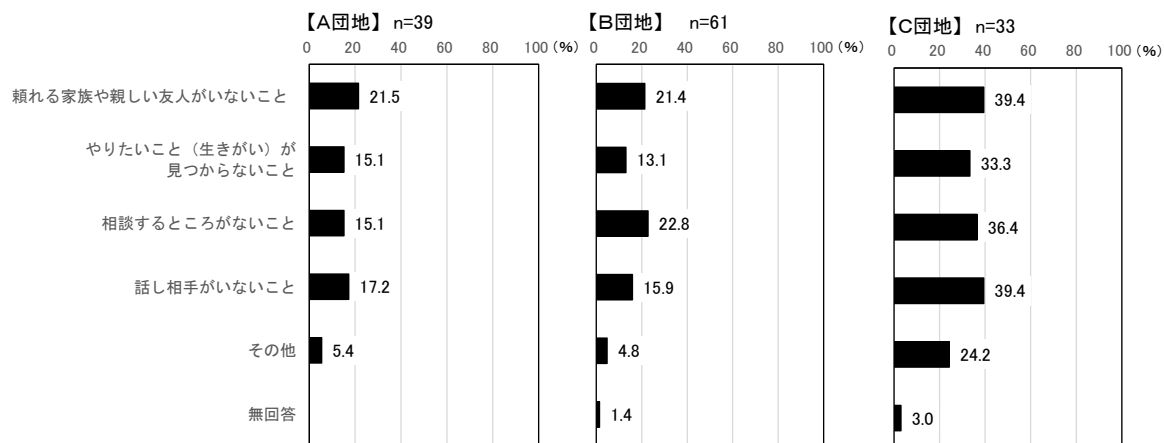
■ 孤独への不安の内容



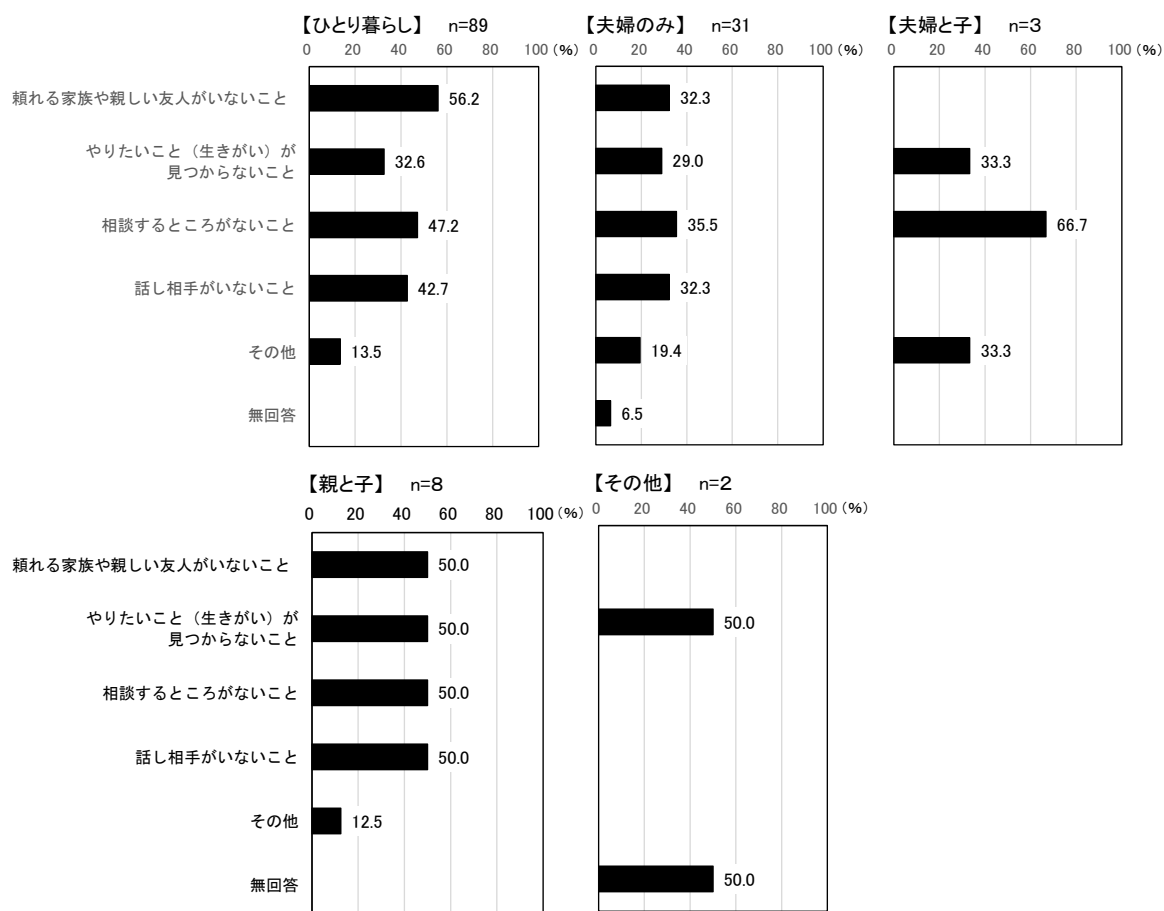
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
一人暮らし	6
困った時頼れる人がいない・相談する人がいない	4
子供が遠方に住んでいる	2
家の中での事故で、電話ができない状態（例、家の中で倒れる）	2

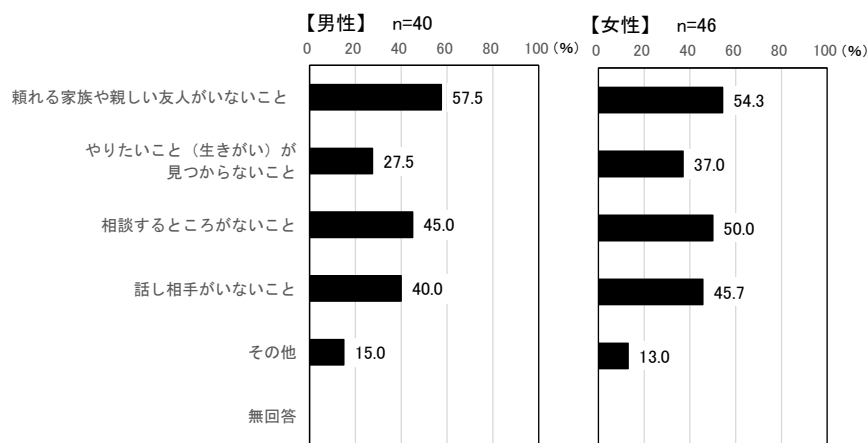
■ 団地別 孤独への不安の内容



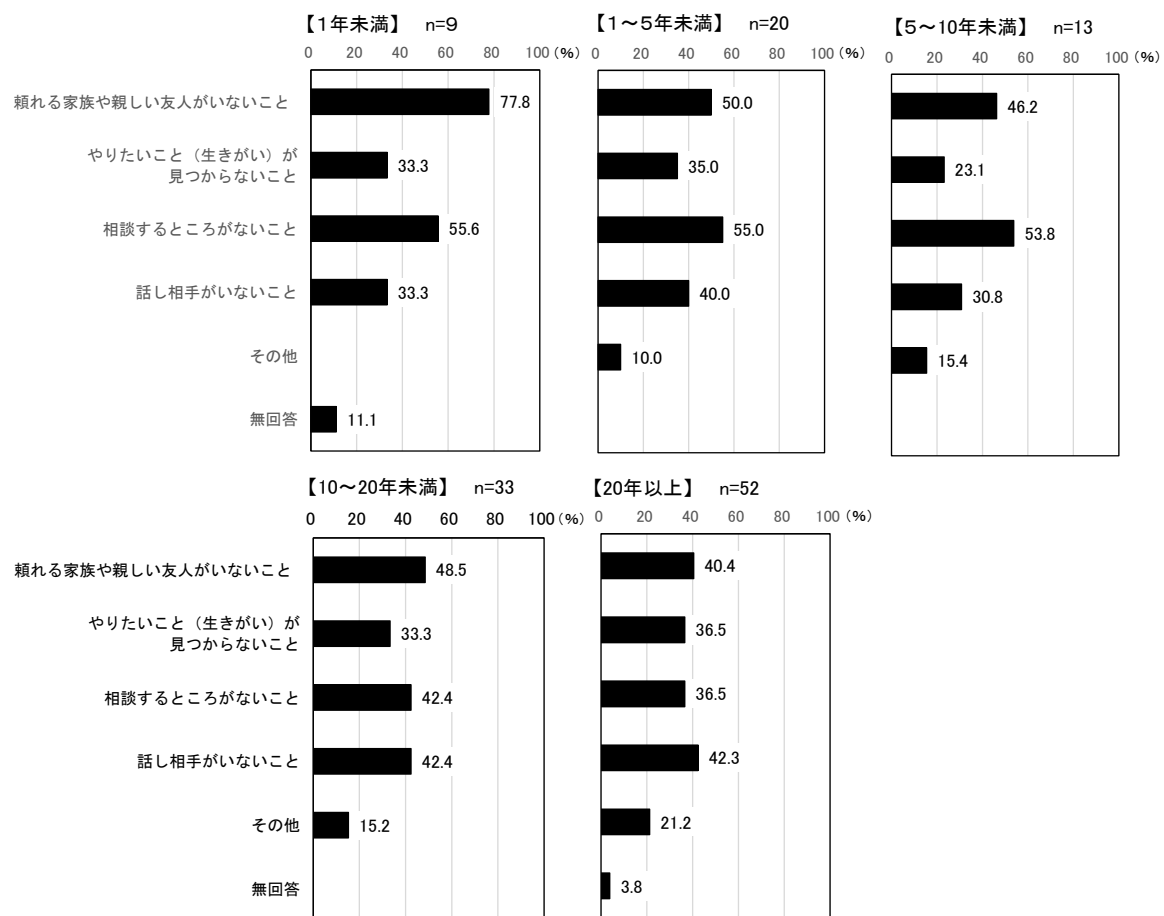
■世帯構成別 孤独への不安の内容



■単身高齢者男女別 孤独への不安の内容



■居住年数別 孤独への不安の内容



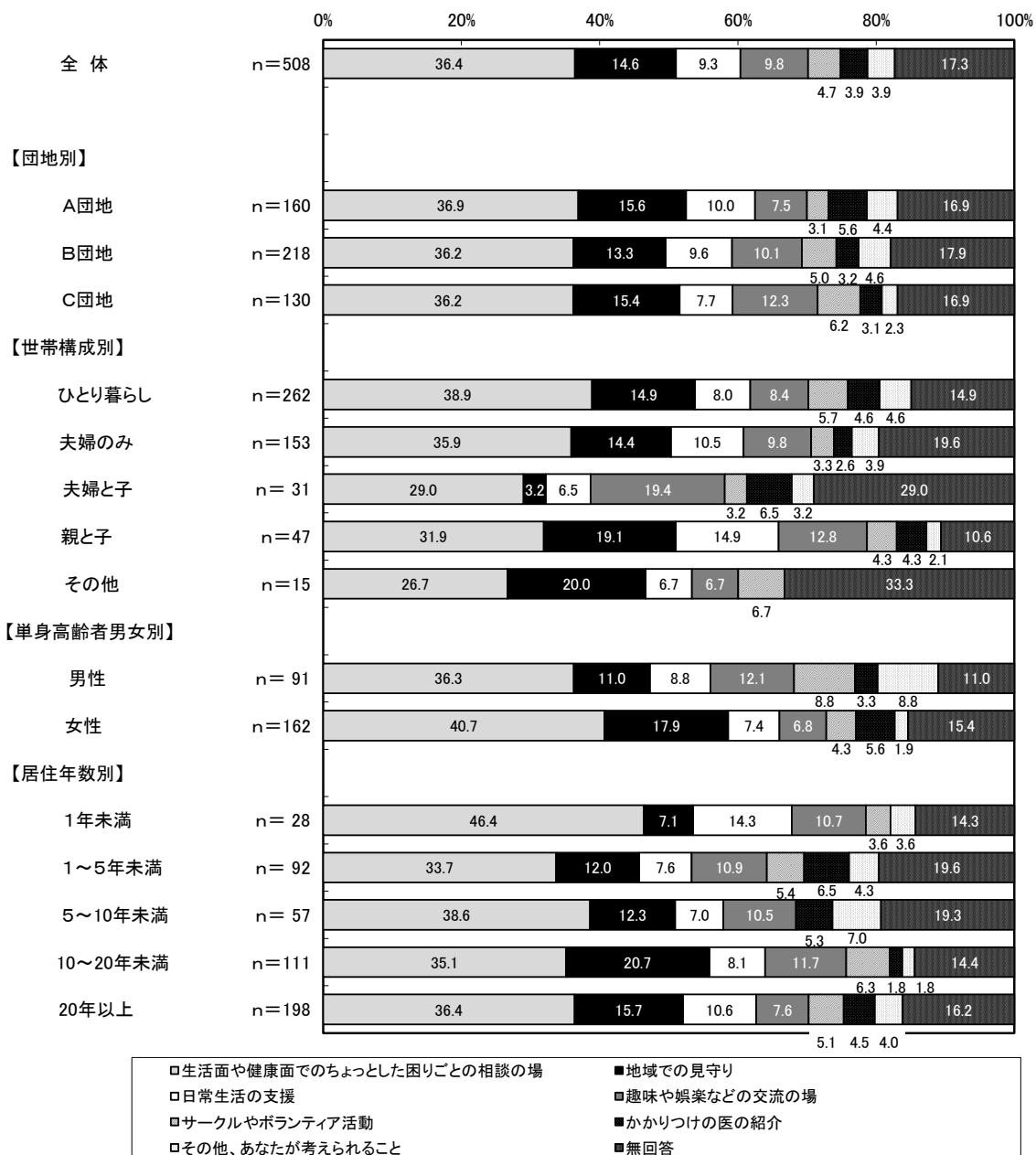
(65歳以上のご家族がおられる) 全ての方にお尋ねします。

問9 将来への不安に対して、少しでもそれらを和らげることにつながると考えられる主なものは何ですか。(〇はひとつ)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 生活面や健康面でのちょっとした困りごとの相談の場 | → 問10へお進みください |
| 2. 地域での見守り | → 問11へお進みください |
| 3. 日常生活の支援 | → 問12へお進みください |
| 4. 趣味や娯楽など交流の場 | } → 問13へお進みください |
| 5. サークルやボランティア活動 | |
| 6. かかりつけ医の紹介 | |
| 7. その他、あなたが考えられること() | |

- ・将来への不安を和らげることにつながるものについて全体をみると、「生活面や健康面でのちょっとした困りごとの相談の場」が36.4%で最も高く、次いで、「地域での見守り」が14.6%、「趣味や娯楽などの交流の場」が9.8%の順となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も、「生活面や健康面でのちょっとした困りごとの相談の場」が最も高くなっており、次いで、「地域での見守り」の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、いずれの世帯構成も、「生活面や健康面でのちょっとした困りごとの相談の場」が最も高くなっている。また、『夫婦と子』では、「地域での見守り」が3.2%と他の世帯構成と比較して低くなっている一方で、「趣味や娯楽などの交流の場」が19.4%と高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』とも、「生活面や健康面でのちょっとした困りごとの相談の場」が最も高くなっているが、『男性』が36.3%であるのに対し、『女性』では、40.7%となっており、『女性』の方が『男性』よりも4.4ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も、「生活面や健康面でのちょっとした困りごとの相談の場」が最も高くなっており、『1年未満』では、「生活面や健康面でのちょっとした困りごとの相談の場」が46.4%と他の居住年数と比べて高くなっている。また、“1年以上の居住年数”（『1～5年未満』、『5～10年未満』、『10～20年未満』、『20年以上』）では、次いで、「地域での見守り」の順となっているが、『1年未満』では、「日常生活の支援」の順となっている。

■ 将来への不安を和らげるにつながるもの



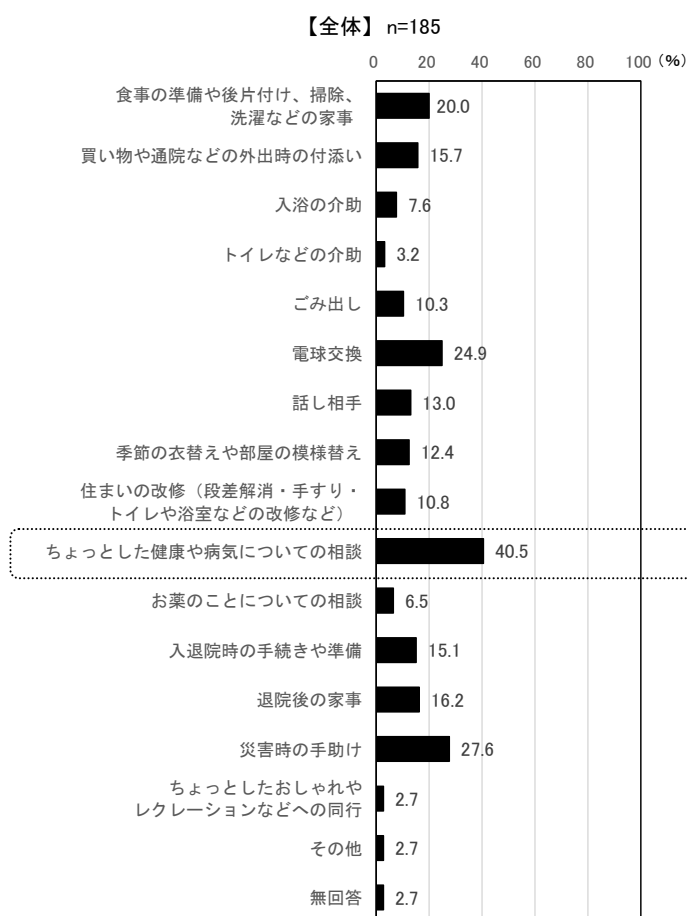
■ その他の内容あなたが考えられることの内容（主なもの）

内 容	件数
コミュニケーション	2

問 10 「ちょっとした困りごと」としてどんなことがありますか。(〇はいくつでも)

- ・ちょっとした困りごとの内容について全体をみると、「ちょっとした健康や病気についての相談」が 40.5%で最も高く、次いで、「災害時の手助け」が 27.6%、「電球交換」が 24.9%の順となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も、「ちょっとした健康や病気についての相談」が最も高くなっているが、『A 団地』、『C 団地』では、次いで、「災害時の手助け」の順となっているが、『B 団地』では、「電球交換」の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』では、「電球交換」が最も高くなっており、次いで、「ちょっとした健康や病気についての相談」の順となっている。一方、『夫婦のみ』、『夫婦と子』、『親と子』、『その他』では、「ちょっとした健康や病気についての相談」が最も高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「食事の準備や後片付け、掃除、洗濯などの家事」が 36.4%で最も高くなっており、次いで、「話し相手」と「災害時の手助け」の順となっているのに対して、『女性』では、「電球交換」と「ちょっとした健康や病気についての相談」が 37.9%と同率で最も高くなっており、次いで、「災害時の手助け」の順となっており、『男性』と『女性』とで異なる傾向があった。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も、「ちょっとした健康や病気についての相談」が最も高くなっており、『10～20 年未満』では、「電球交換」が「ちょっとした健康や病気についての相談」と同率で最も高くなっている。次いで、『1 年未満』では、「買い物や通院などの外出時の付き添い」と「災害時の手助け」が同率で、『1～5 年未満』では、「電球交換」と「退院後の家事」が同率で続いており、『5～10 年未満』と『20 年以上』では、「災害時の手助け」が続いている。

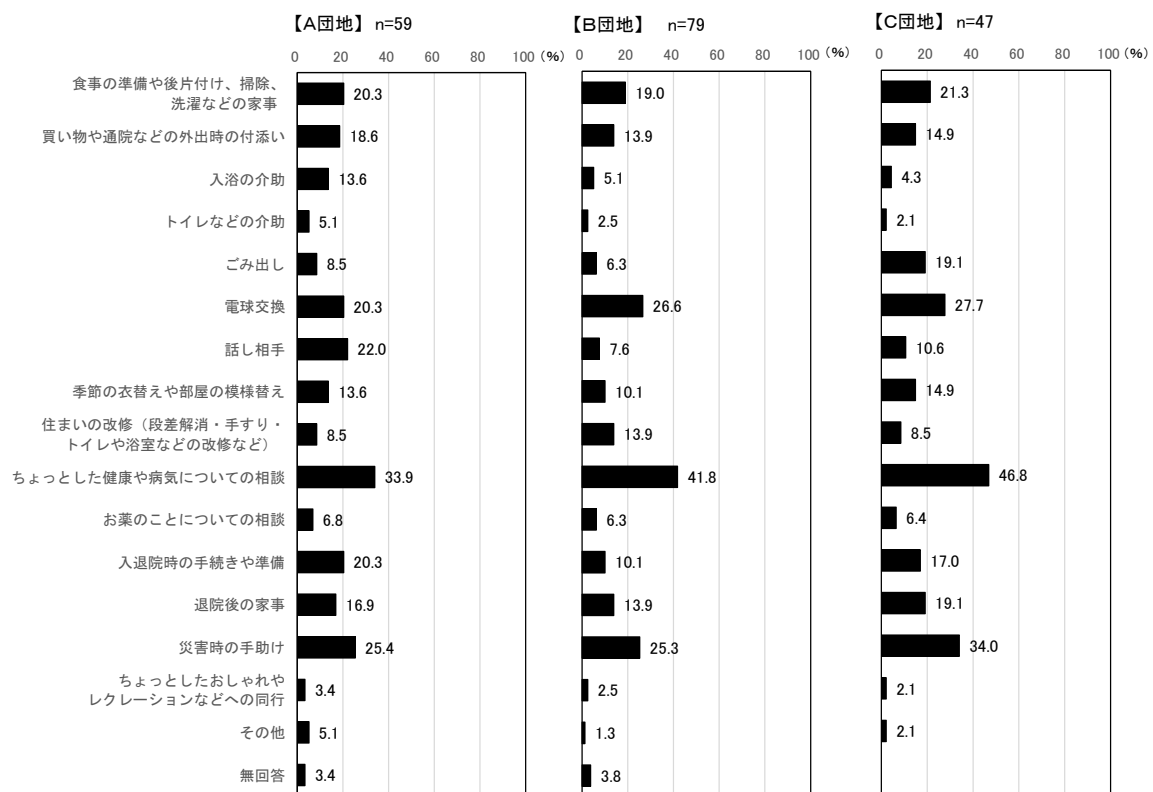
■ ちょっとした困りごとの内容



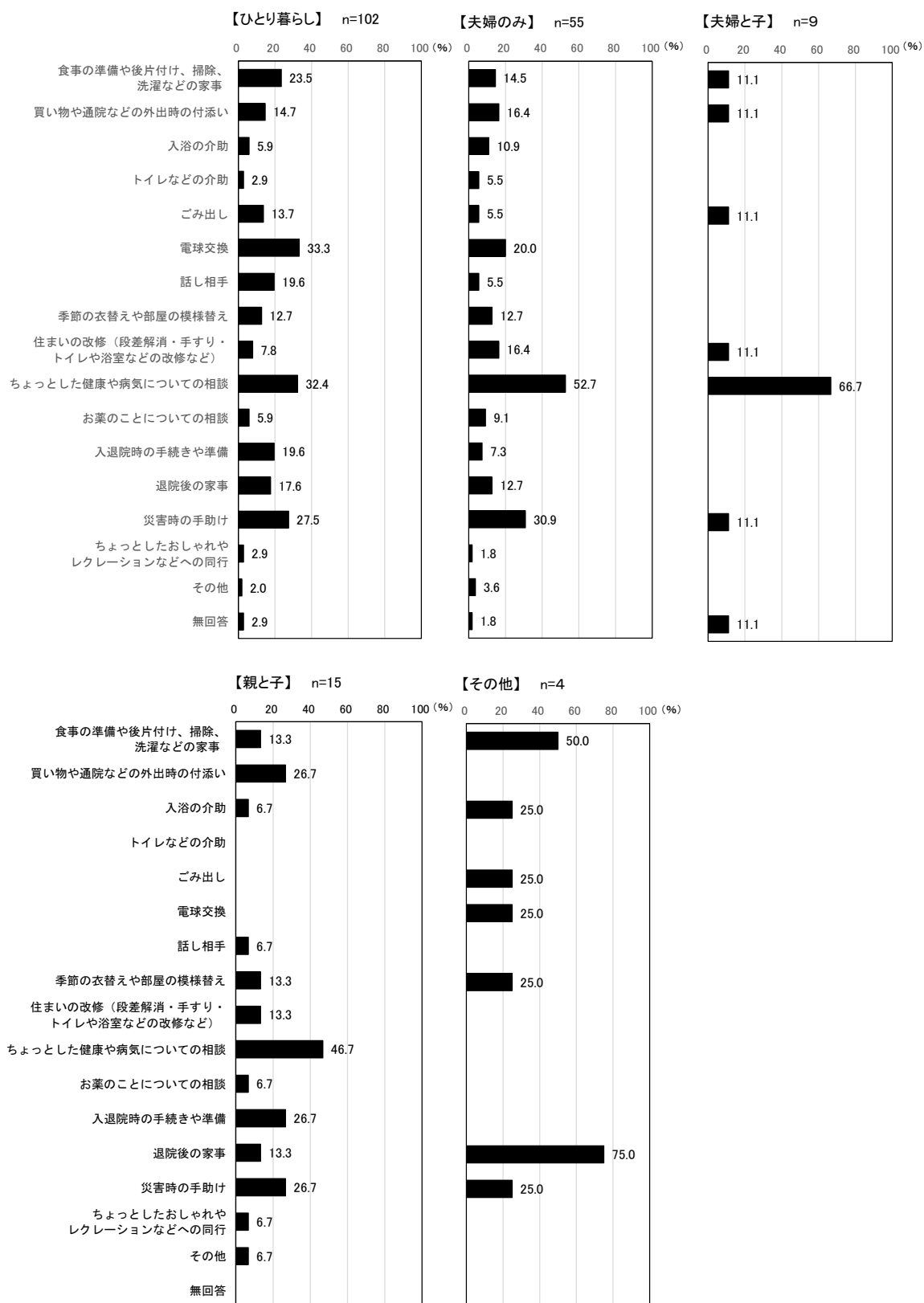
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
現在はOK！だが、独り暮らしになった時の収入、年金	1
子供の塾、習い事の場所や情報（体操・ピアノ・習字・絵画・英語等）	1
今後のこと？	1
今の所、友人や近所の方と買物に行ったりで困ることはないです	1
力仕事、高所の移動	1
言葉や文字の問題	1
1～15までの項目が出来なくなった時	1

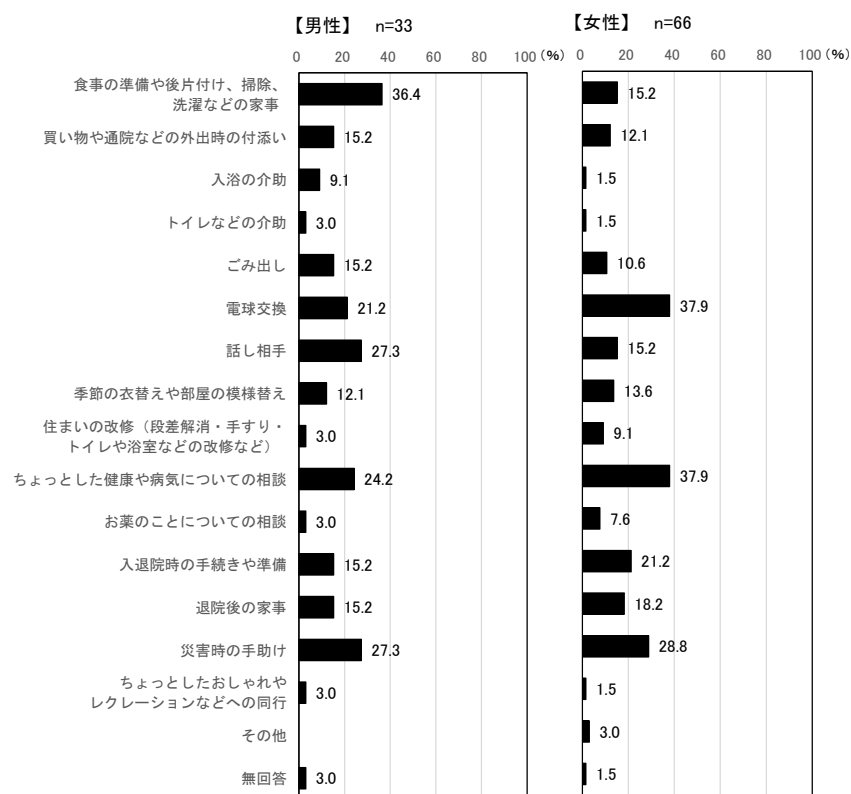
■団地別 ちょっとした困りごとの内容



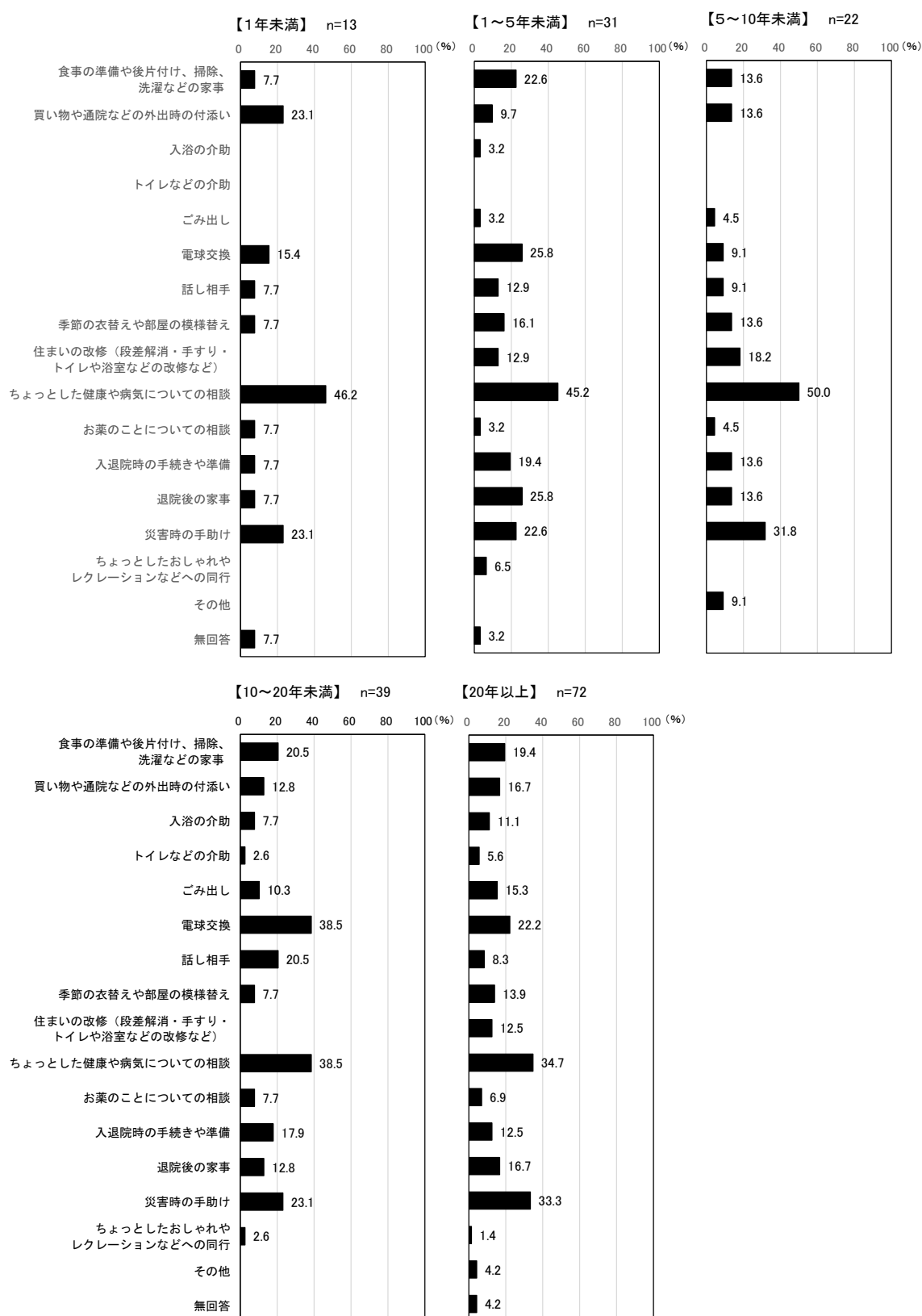
■世帯構成別 ちょっとした困りごとの内容



■単身高齢者男女別 ちょっとした困りごとの内容



■居住年数別 ちょっとした困りごとの内容



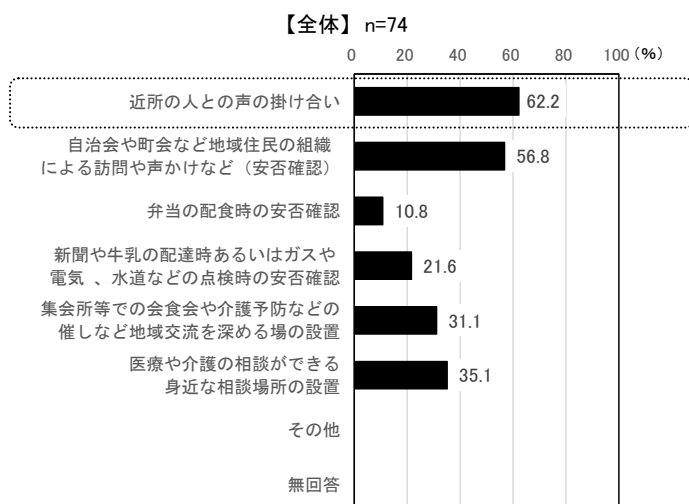
問9で「2. 地域での見守り」とお答えの方にお尋ねします。

問 11 地域での見守りとして、有効だと思う取り組みは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 近所の人との声の掛け合い
2. 自治会や町会など地域住民の組織による訪問や声かけなど
(安否確認)
3. 弁当の配食時の安否確認
4. 新聞や牛乳の配達時あるいはガスや電気、水道などの点検時の安否確認
5. 集会所等での会食会や健康や介護予防などの催しなど地域交流を深める場の設置
6. 医療や介護の相談ができる身近な相談場所の設置
7. その他 ()

- ・地域での見守りとして有効な取り組みについて全体をみると、「近所の人との声の掛け合い」が62.2%で最も高く、次いで、「自治会や町会など地域住民の組織による訪問や声かけなど」が 56.8%、「医療や介護の相談ができる身近な相談場所の設置」が 35.1%の順となっている。
- ・団地別にみると、『A 団地』では、「近所の人との声の掛け合い」が80.0%で最も高く、『B 団地』、『C 団地』では、「自治会や町会など地域住民の組織による訪問や声かけなど」がそれぞれ 48.3%、70.0%と最も高くなっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』、『夫婦のみ』では、「近所の人との声の掛け合い」がそれぞれ 66.7%、63.6%で最も高くなっている。『親と子』では、「医療や介護の相談ができる身近な相談場所の設置」が 55.6%と最も高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「近所の人との声の掛け合い」がそれぞれ 66.7%、70.0%で最も高くなっているのに対し、『女性』では、「近所の人との声の掛け合い」が 69.0%で最も高くなっている。
- ・居住年数別にみると、“10 年未満”（『1 年未満』、『1～5 年未満』、『5～10 年未満』）と『20 年以上』では、いずれも「近所の人との声の掛け合い」が最も高くなっており、『5～10 年未満』では、「集会所等での会食会や介護予防などの催しなど地域交流を深める場の設置」が57.1%と同率で最も高くなっている。また、『10～20 年未満』では、「自治会・町内会など地域住民組織による訪問・声かけなど」が 78.3%で最も高くなっている。

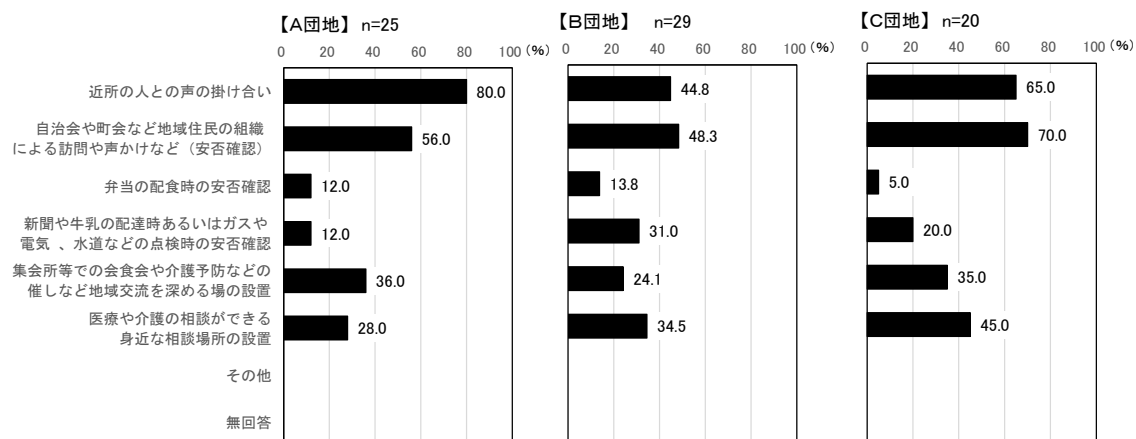
■ 地域での見守りとして有効な取り組み



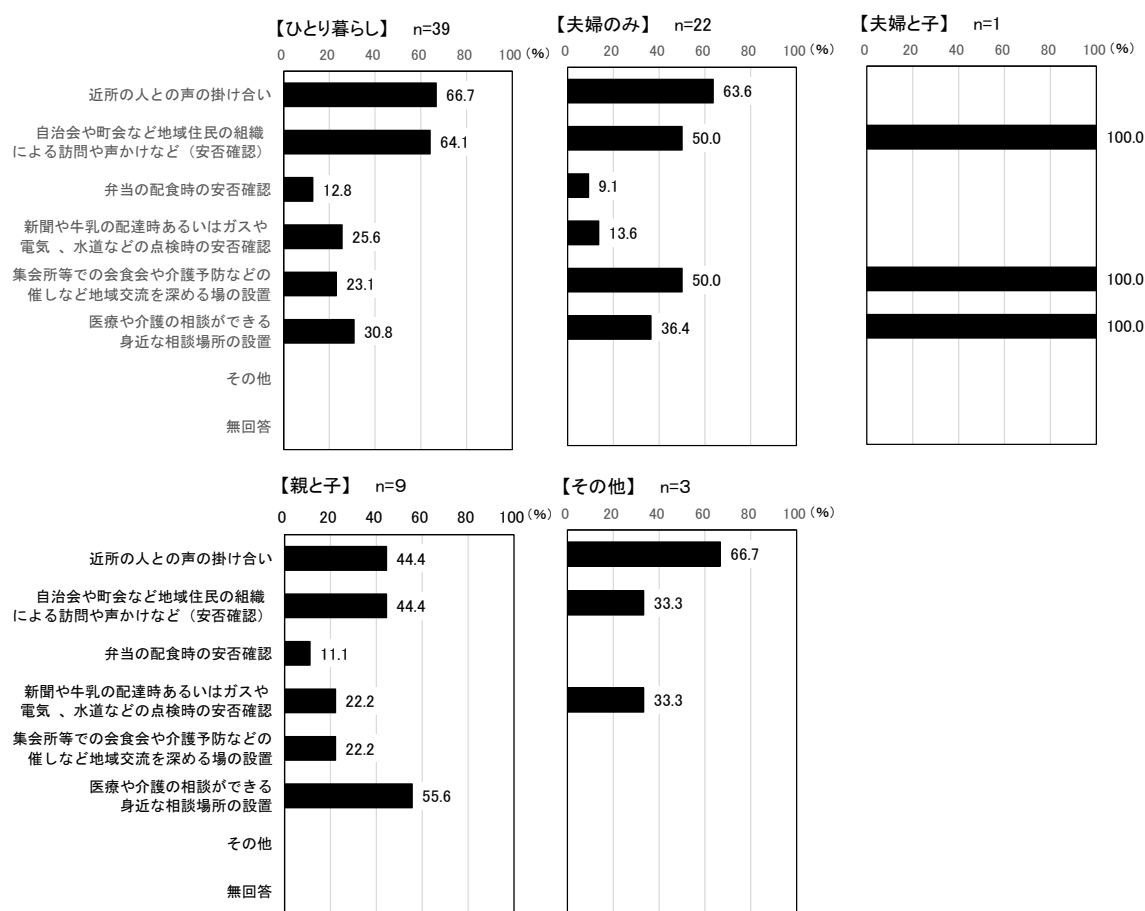
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
町会のカラオケ会に最近入った	1
他人にかかわるな	1

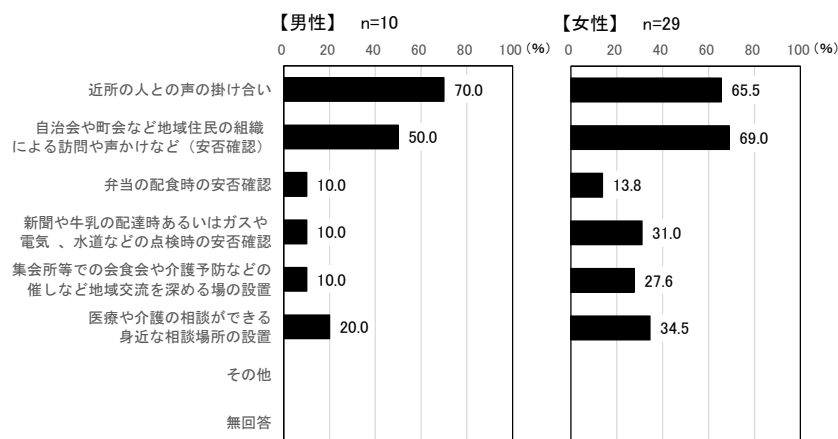
■ 団地別 地域での見守りとして有効な取り組み



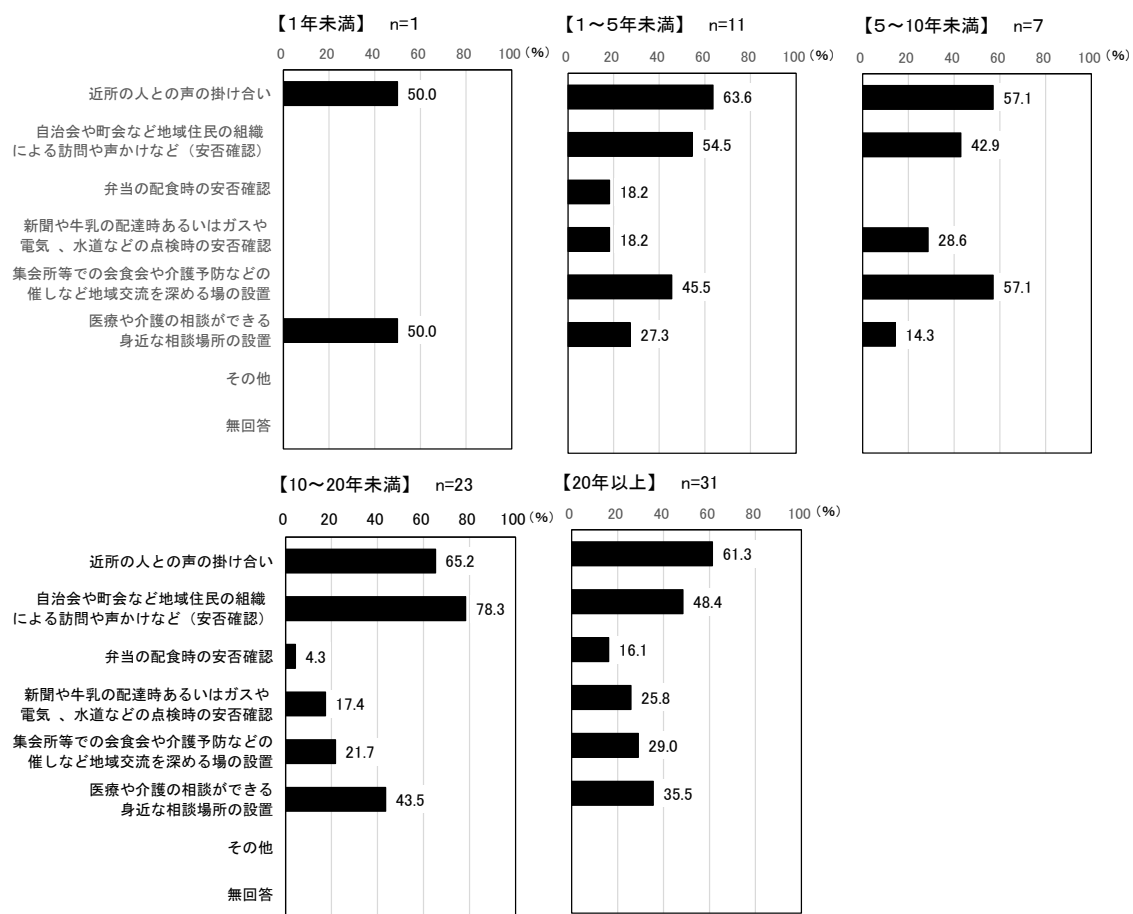
■世帯構成別 地域での見守りとして有効な取り組み



■単身高齢者男女別 地域での見守りとして有効な取り組み



■居住年数別 地域での見守りとして有効な取り組み



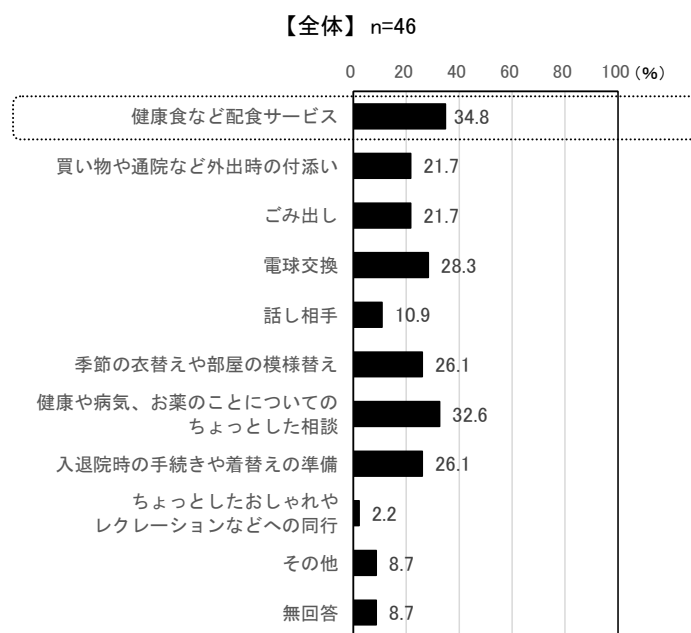
問9で「3. 日常生活の支援」とお答えの方にお尋ねします。

問 12 次のサービスなどのうち、適当な個人負担が伴っても受けたいサービスはありますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 健康食など配食サービス
2. 買い物や通院などの外出時の付添い
3. ごみ出し
4. 電球交換
5. 話し相手
6. 季節の衣替えや部屋の模様替え
7. 健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談
8. 入退院時の手続きや着替えの準備
9. ちょっとしたおしゃれやレクリエーションなどへの同行
10. その他 () |
|---|

- ・個人負担を伴っても受けたい日常生活支援について全体をみると、「健康食など配食サービス」が 34.8%で最も高く、次いで、「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」が 32.6%、「電球交換」が 28.3%の順となっている。
- ・団地別にみると、『A 団地』では、「季節の衣替えや部屋の模様替え」が 31.3%で最も高く、次いで、「電球交換」、「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」、「入退院時の手続きや着替えの準備」が 25.0%の同率で続いており、『B 団地』では、「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」が 40.0%で最も高く、次いで、「健康食など配食サービス」が 30.0%の順となっている。『C 団地』では、「健康食など配食サービス」が 70.0%と最も高くなっており、次いで、「ごみ出し」が 60.0%の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』では、「電球交換」と「入退院時の手続きや着替えの準備」が 45.0%の同率で最も高くなっており、次いで、「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」が 40.0%の順となっている。『夫婦のみ』と『親と子』では、「健康食など配食サービス」がそれぞれ 37.5%、42.9%で最も高くなっており、次いで、「ごみ出し」がそれぞれ 25.0%、28.6%の順となっている。なお、『夫婦のみ』では、「ごみ出し」と同率で「買い物や通院など外出時の付き添い」と「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」が並んでいる。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」が 50.0%で最も高くなっており、次いで、「健康食など配食サービス」と「入退院時の手続きや着替えの準備」が 37.5%の同率で続いている。『女性』では、「電球交換」が 58.3%で最も高くなっており、次いで、「入退院時の手続きや着替えの準備」が 50.0%の順となっている。
- ・居住年数別にみると、『1 年未満』では、「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」が 75.0%で最も高くなっており、次いで、「健康食など配食サービス」が 50.0%の順となっている。『1～5 年未満』では、「買い物や通院など外出時の付き添い」が 57.1%で最も高くなっており、次いで、「健康食など配食サービス」と「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」が 42.9%の同率で続いている。『5～10 年未満』では、「季節の衣替えや部屋の模様替え」が 50.0%で、『10～20 年未満』では、「健康食など配食サービス」が 55.6%で、『20 年以上』では、「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」が 38.1%で最も高くなっている。

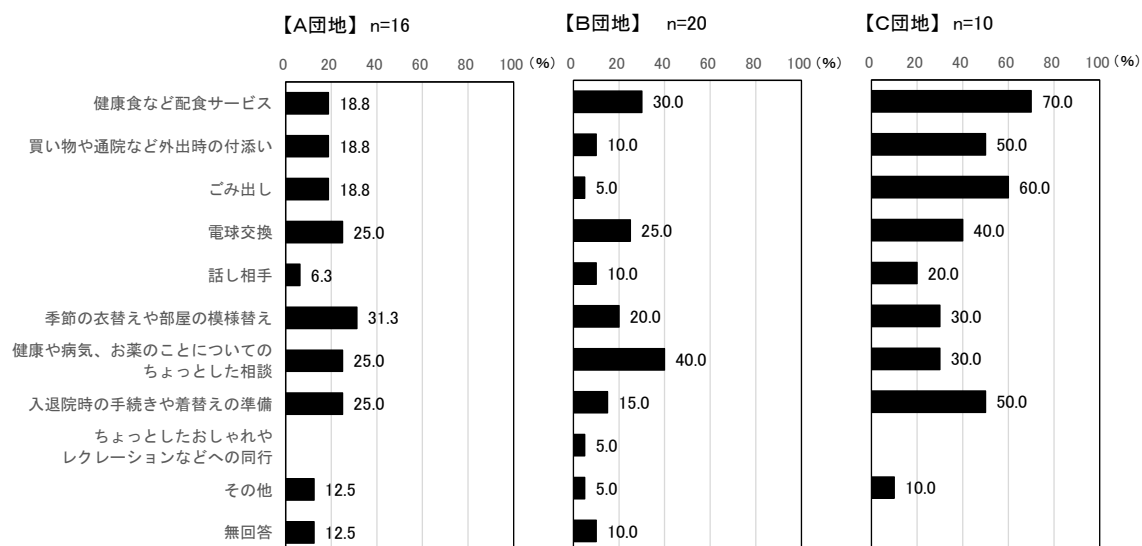
■ 個人負担を伴っても受けてみたい日常生活支援



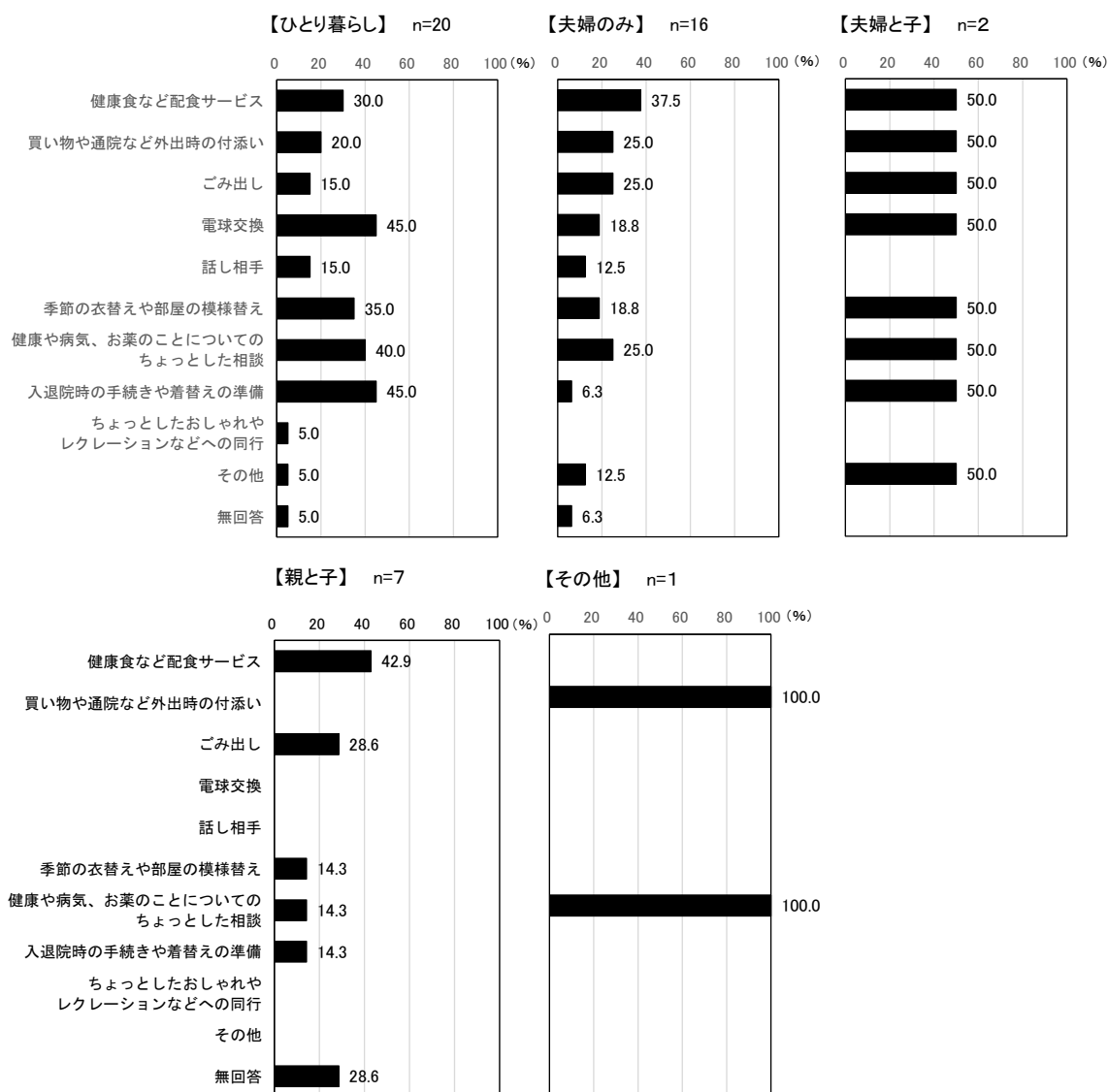
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
電球交換だけでなく、あらゆる事が不自由になる	1
団地にタクシー乗り場か呼べる場所があるといいですね	1
今は元気なので思いつかない	1
子供達は時々おいしい物を食べに連れて行ってくれる	1
希望であって、今すぐでない	1
体力的、事をする時に困る	1
歩けなくなったらの話	1
生活に支障を来たした場合	
年寄りはいしゃり出るな	1
年寄りの意見等若人の役にはたたない	
掃除、換気扇、風呂	1

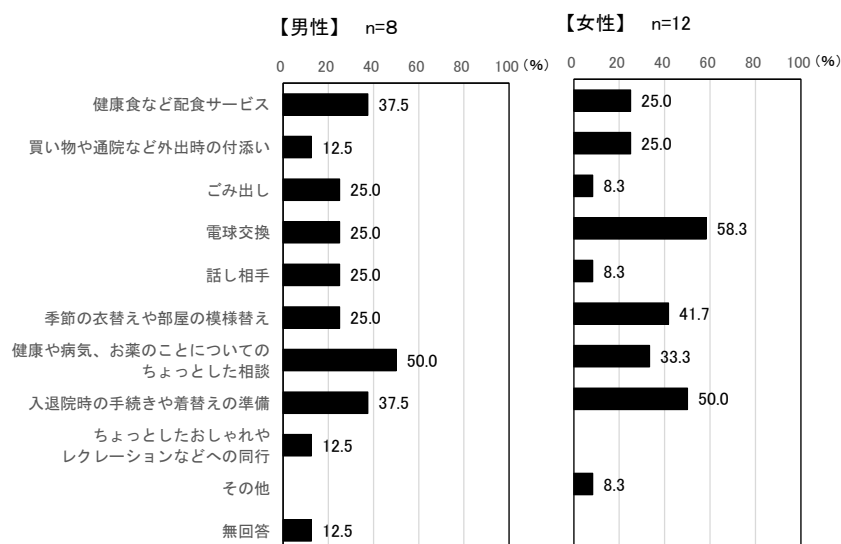
■ 団地別 個人負担を伴っても受けてみたい日常生活支援



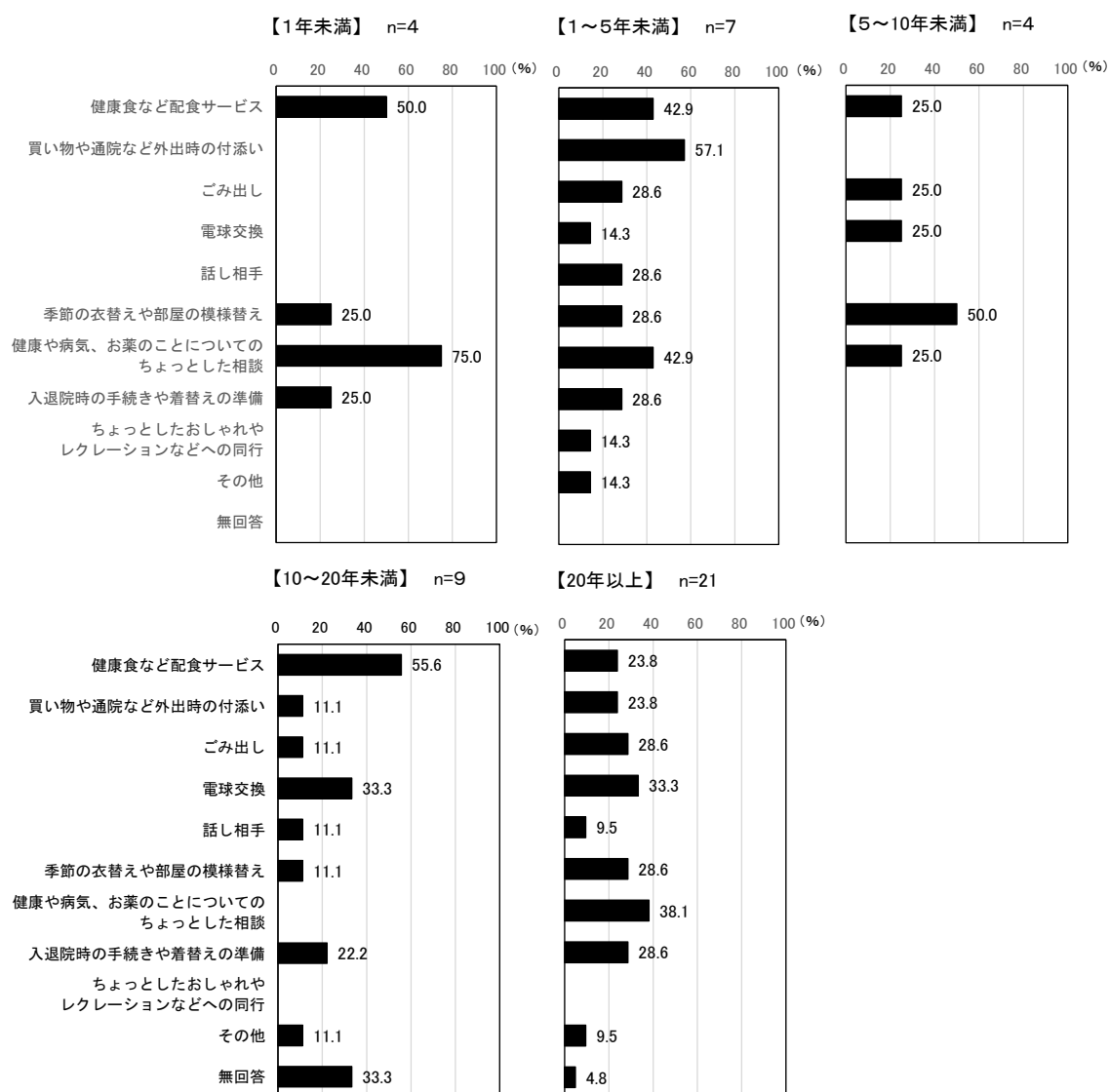
■世帯構成別 個人負担を伴っても受けたい日常生活支援



■単身高齢者男女別 個人負担を伴っても受けたい日常生活支援



■居住年数別 個人負担を伴っても受けたい日常生活支援



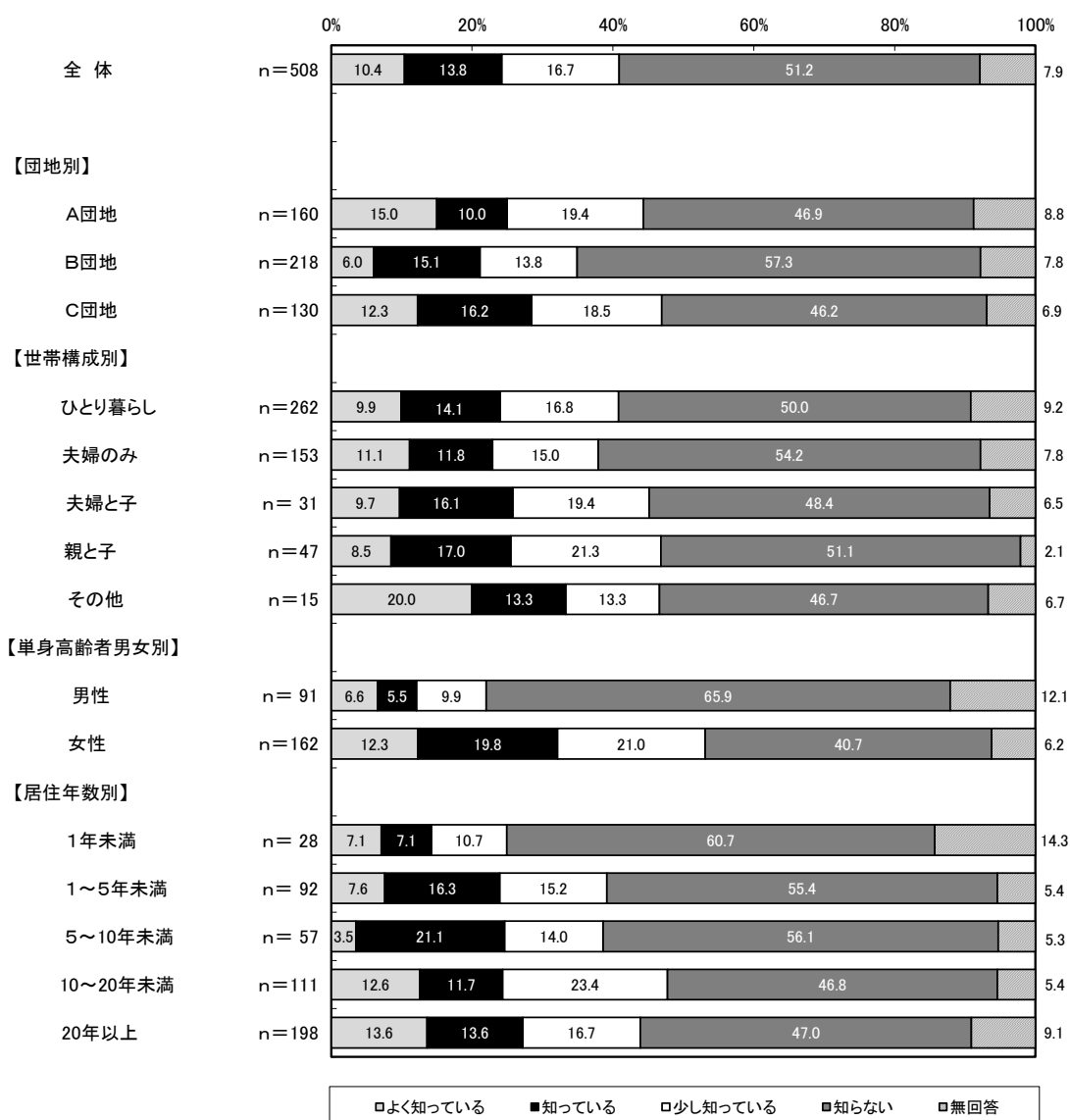
(65歳以上のご家族がおられる) 全ての方にお尋ねします。

問 13 地域包括支援センターを知っていますか。(〇はひとつ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. よく知っている | 3. 少し知っている |
| 2. 知っている | 4. 知らない |

- ・地域包括支援センターの認知度について全体をみると、“知っている”（「よく知っている」、「知っている」、「少し知っている」）が 40.9%、「知らない」が 51.2%となっている。
- ・団地別にみると、『C 団地』では、“知っている”が 47.0%と高く、一方、『B 団地』では、34.9%と低くなっており、その差は、12.1 ポイントとなっている。
- ・世帯構成別にみると、『親子』では、“知っている”が 46.8%と高く、『夫婦のみ』では、同 37.9%と低くなっており、その差は、8.9 ポイントとなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、“知っている”が 22.0%であるのに対し、『女性』では、同 53.1%となっており、『女性』の半数以上が“知っている”と回答している。
- ・居住年数別にみると、『1 年未満』では、“知っている”が 24.9%と他の居住年数に比べてかなり低くなっている。

■ 地域包括支援センターの認知

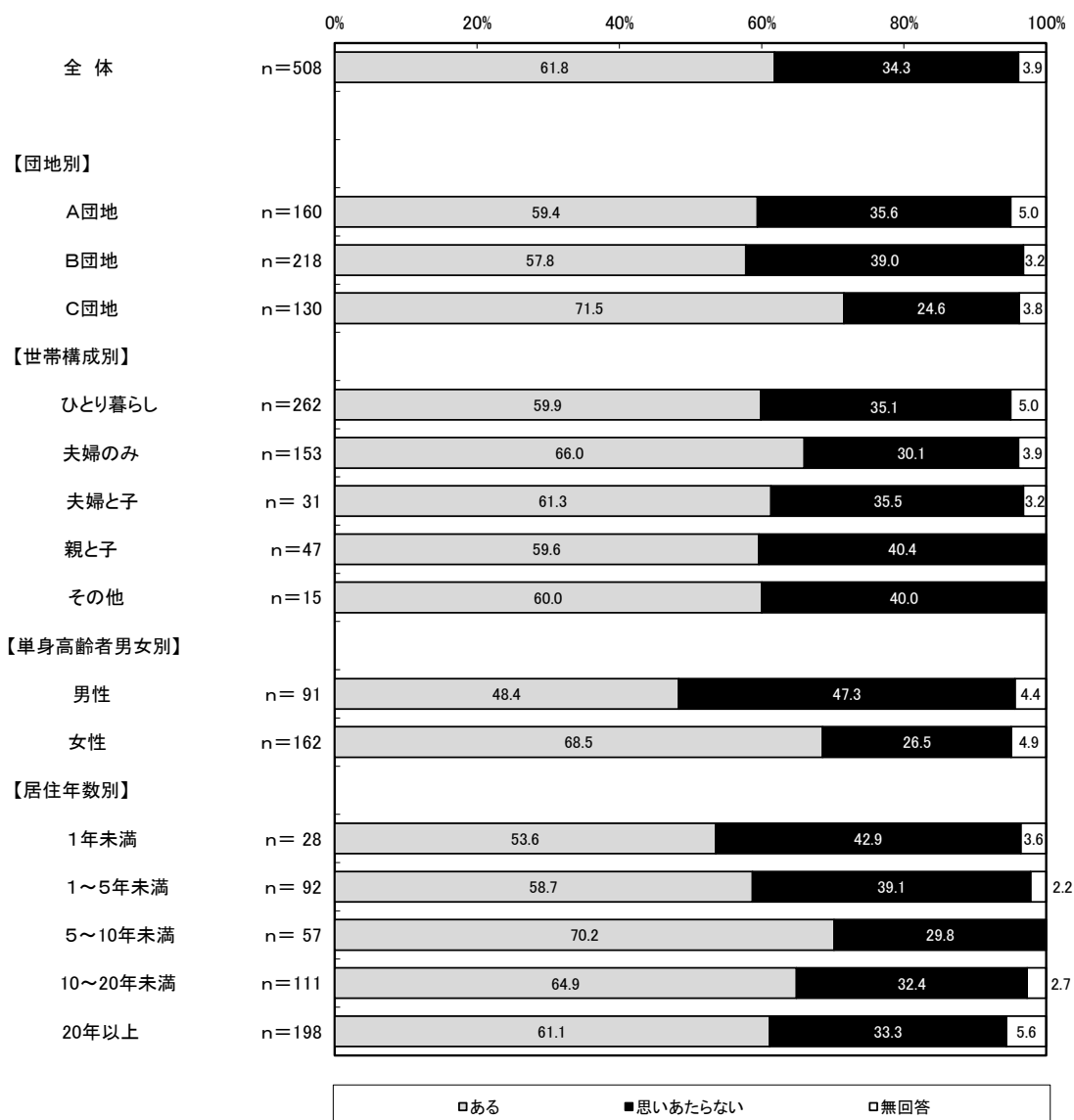


問 14 あなたの世帯の日常生活で、ちょっとした困りごとがあった場合、相談できるところはありますか。(〇はひとつ)

1. ある → 問 15 へお進みください
2. 思いあたらない → 問 16 へお進みください

- ・ちょっとした困りごとの相談の場の有無について全体をみると、「ある」が 61.8%、「思いあたらない」が 34.3%となっている。
- ・団地別にみると、『A 団地』、『B 団地』ではそれぞれ 59.4%、57.8%と約 6 割程度が、『C 団地』では 71.5%と 7 割以上が「ある」と回答している。
- ・世帯構成別にみると、「ある」は、いずれも 6 割前後であるが、『夫婦のみ』では、66.0%と少し高く、『親子』では 59.6%とやや低くなっており、その差は、6.4 ポイントとなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「ある」が 48.4%と半数未満であるのに対し、『女性』では、同 68.5%と 7 割近くになっており、『女性』の方が『男性』よりも 2 割程度高くなっている。
- ・居住年数別にみると、『5～10 年未満』では、「ある」が 70.2%であるのに対して、『1 年未満』では、同 53.6%で、その差は 16.6 ポイントとなっている。

■ ちょっとした困りごとの相談の場の有無

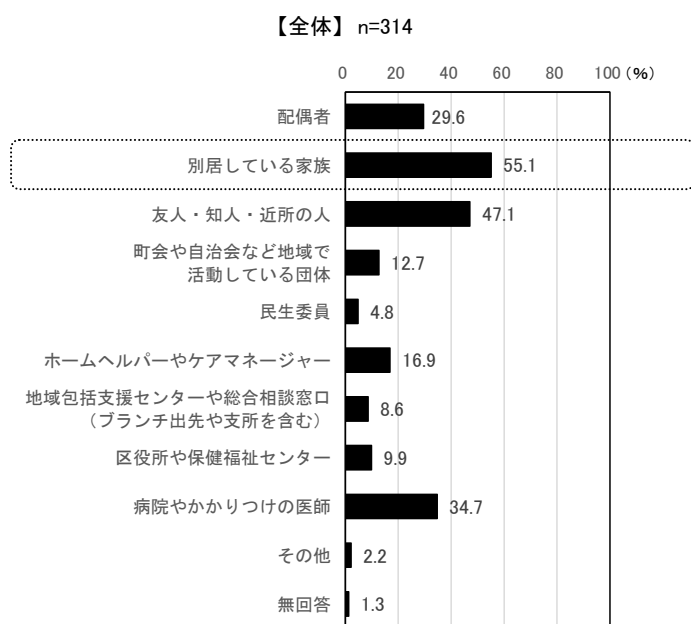


問 15 相談できる場所はどこですか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者
2. 別居している家族
3. 友人・知人・近所の人
4. 町会や自治会など地域で活動している団体
5. 民生委員
6. ホームヘルパーやケアマネジャー
7. 地域包括支援センターや総合相談窓口（ランチ出先や支所を含む）
8. 区役所や保健福祉センター
9. 病院やかかりつけの医師
10. その他（ ）

- ・ちょっとした困りごとの相談先について全体をみると、「別居している家族」が 55.1%で最も高く、次いで、「友人・知人・近所の人」が 47.1%、「病院やかかりつけの医師」が 34.7%の順となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も、「別居している家族」が最も高く、次いで、「友人・知人・近所の人」の順となっているが、その次には、『A 団地』、『B 団地』では、「病院やかかりつけの医師」の順となっており、『C 団地』では、「配偶者」の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』では、「別居している家族」が 52.9%で、『夫婦のみ』、『夫婦と子』では、「配偶者」がそれぞれ 69.3%、73.7%で、『親と子』では、「別居している家族」、「友人・知人・近所の人」が 60.7%の同率で最も高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「別居している家族」、「友人・知人・近所の人」が 43.2%と同率で最も高くなっている。『女性』では、「別居している家族」が 57.7%で最も高くなっており、次いで、「友人・知人・近所の人」が 54.1%の順となっている。
- ・居住年数別にみると、『1 年未満』、『20 年以上』では、「友人・知人・近所の人」がそれぞれ 53.3%、57.0%と最も高く、“1～20 年未満”（『1～5 年未満』、『5～10 年未満』、『10～20 年未満』）では、「別居している家族」がそれぞれ 61.1%、60.0%、54.2%で最も高くなっている。

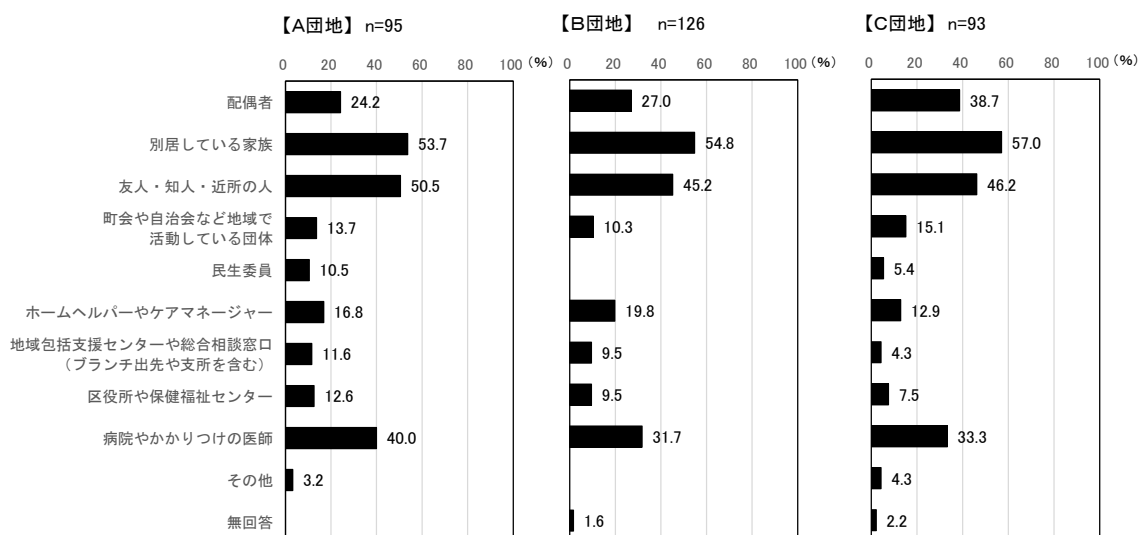
■ ちょっとした困りごとの相談先



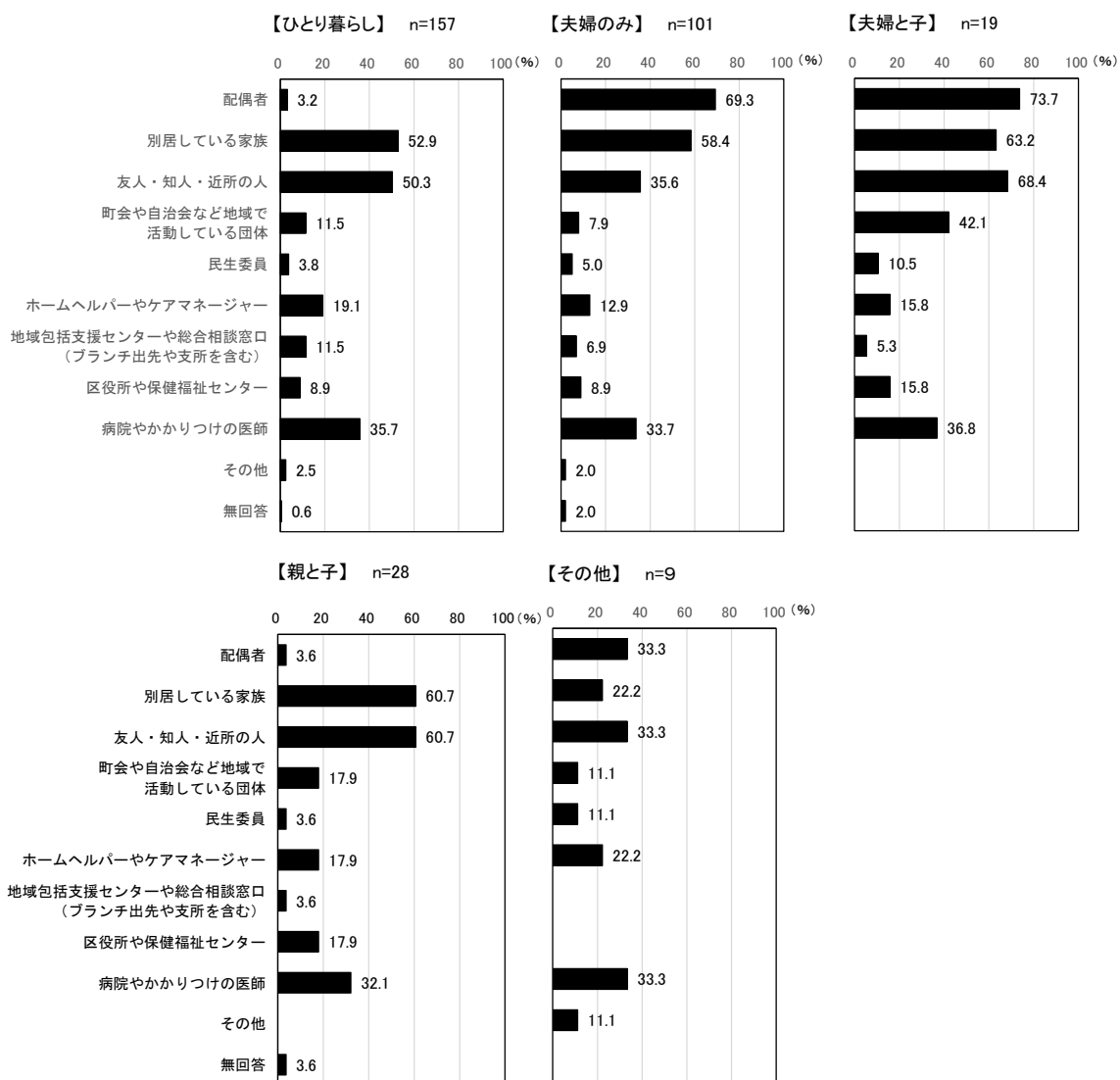
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
兄弟姉妹	4
相談センター・地域医療生協の役員	3
親戚	2
子供	2

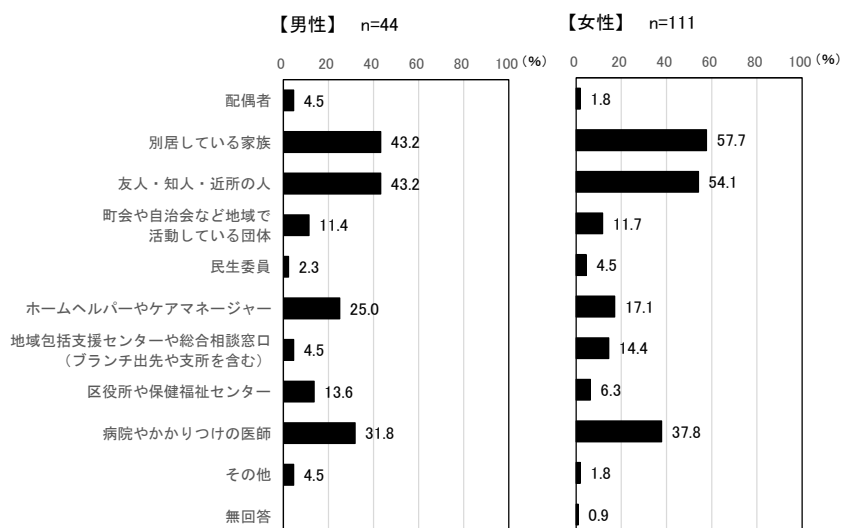
■ 団地別 ちょっとした困りごとの相談先



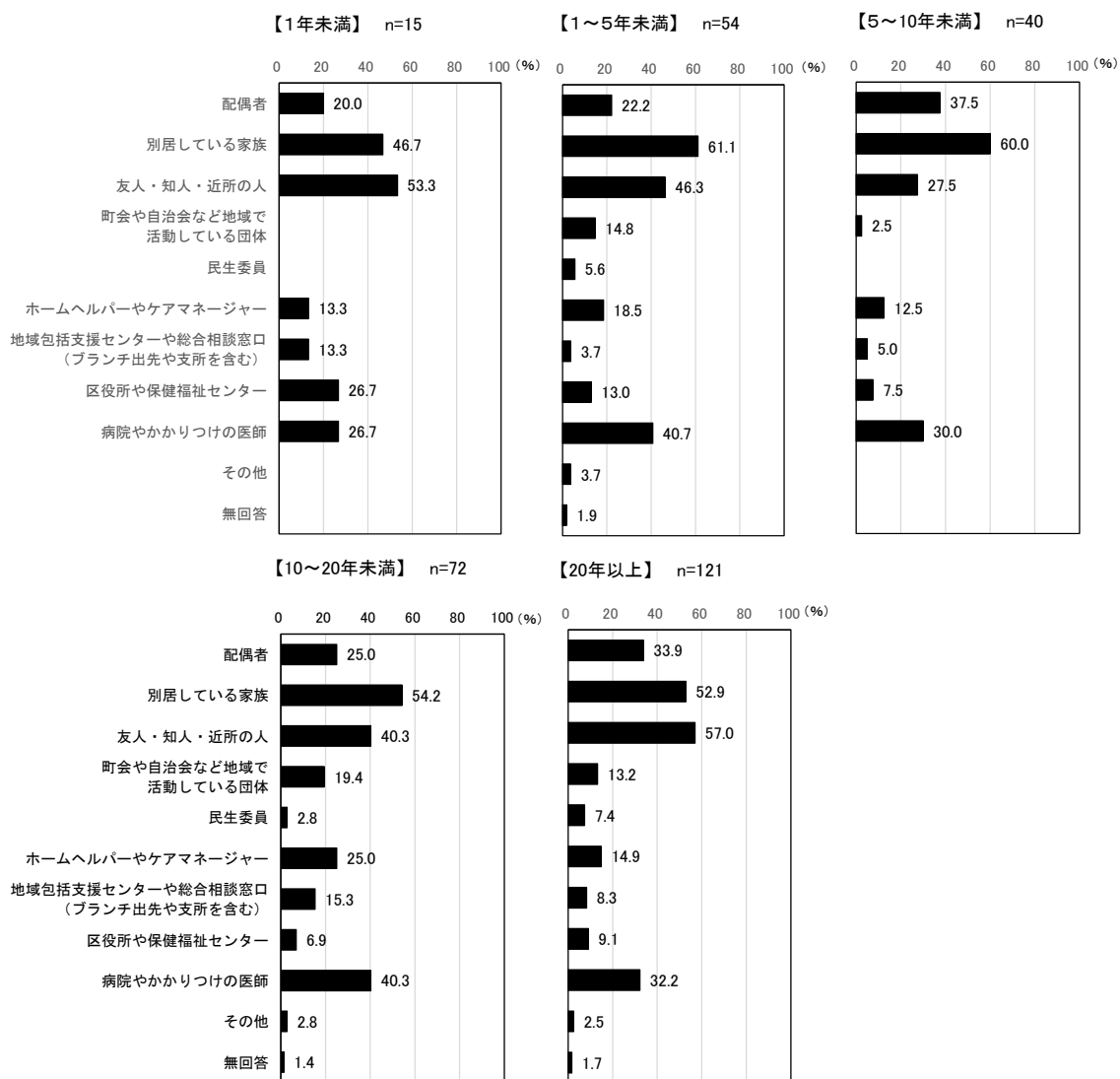
■世帯構成別 ちょっとした困りごとの相談先



■単身高齢者男女別 ちょっとした困りごとの相談先



■居住年数別 ちょっとした困りごとの相談先



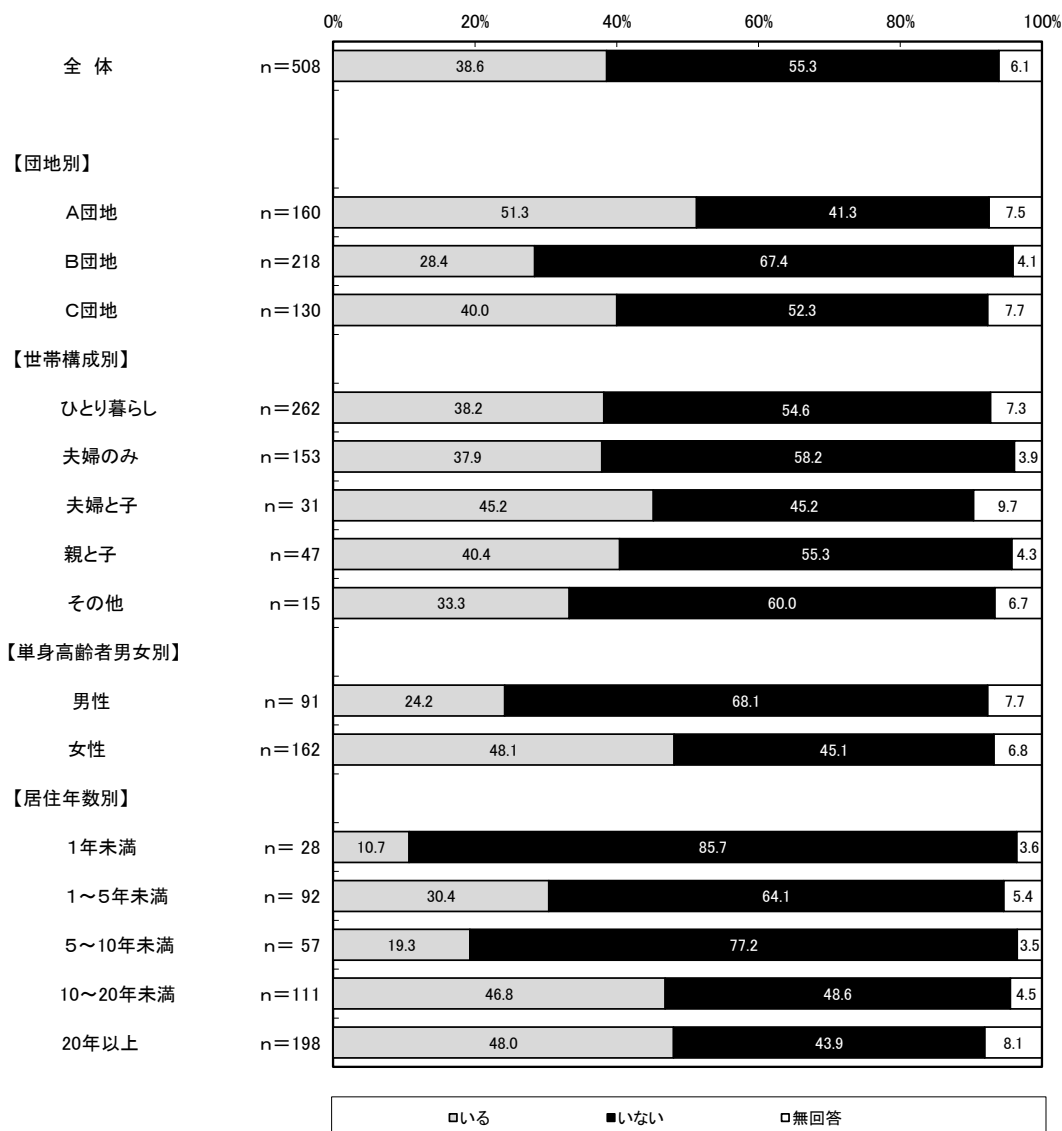
(65歳以上のご家族がおられる) 全ての方にお尋ねします。

問 16 同じ団地（マンション）内に親しくお付き合いをされている方（世帯）はいますか。（〇はひとつ）

1. いる → 問 18 へお進みください
2. いない → 問 17 へお進みください

- ・同じ団地内の親しい方（世帯）の有無について全体をみると、「いる」が38.6%、「いない」が55.3%となっている。
- ・団地別にみると、『A 団地』では、「いる」が51.3%と半数以上となっており、一方、『B 団地』では、「いる」が28.4%と低く、『C 団地』では、「いる」が40.0%となっている。
- ・世帯構成別にみると、『夫婦と子』では、「いる」が45.2%となっているが、『ひとり暮らし』、『夫婦のみ』では、それぞれ38.2%、37.9%とやや低くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「いる」が24.2%となっているのに対し、『女性』では、同48.1%となっており、『女性』の方が『男性』よりも23.9ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、“10年以上”（『10～20年未満』、『20年以上』）では、5割近くが「ある」と回答しているのに対し、『1年未満』では、同10.7%とかなり低くなっている。

■ 同じ団地内の親しい方(世帯)の有無



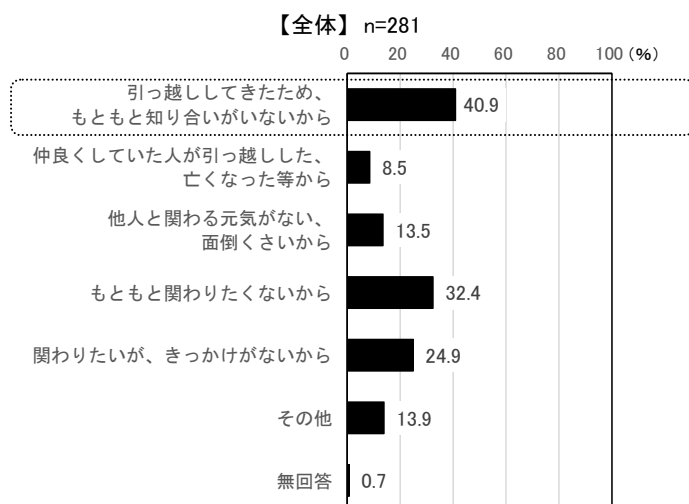
問 16 で「2. いない」とお答えの方にお尋ねします。

問 17 いない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 引っ越ししてきたため、もともと知り合いがいないから
2. 仲良くしていた人が引っ越した、亡くなった等から
3. 他人と関わる元気がない、面倒くさいから
4. もともと関わりたくないから
5. 関わりたいが、きっかけがないから
6. その他（ ）

- ・親しくしている人がいない理由について全体をみると、「引っ越ししてきたため、もともと知り合いがいないから」が 40.9%で最も高く、次いで、「もともと関わりたくないから」が 32.4%、「関わりたいが、きっかけがないから」が 24.9%の順となっている。
- ・団地別にみると、『A 団地』、『B 団地』では、「引っ越ししてきたため、もともと知り合いがいないから」が最も高く、次いで、「もともと関わりたくないから」の順となっている。一方、『C 団地』では、「関わりたいが、きっかけがないから」が最も高くなっており、次いで、「引っ越ししてきたため、もともと知り合いがいないから」の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』、『夫婦のみ』、『親と子』、『その他』では、「引っ越ししてきたため、もともと知り合いがいないから」が最も高くなっているが、『夫婦と子』では、「もともと関わりたくないから」と「関わりたいが、きっかけがないから」が 28.6%の同率で最も高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』とも、「引っ越ししてきたため、もともと知り合いがいないから」が最も高く、次いで、「もともと関わりたくないから」の順となっている。
- ・居住年数別にみると、“20 年未満”（『1 年未満』、『1～5 年未満』、『5～10 年未満』、『10～20 年未満』）では、「引っ越ししてきたため、もともと知り合いがいないから」が最も高くなっているが、『20 年以上』では、「もともと関わりたくないから」が最も高くなっている。

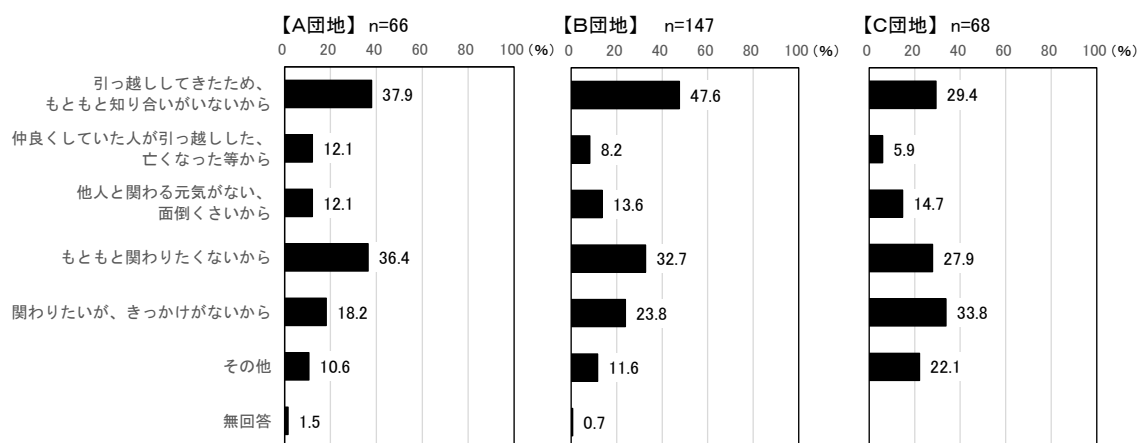
■親しくしている人がいない理由



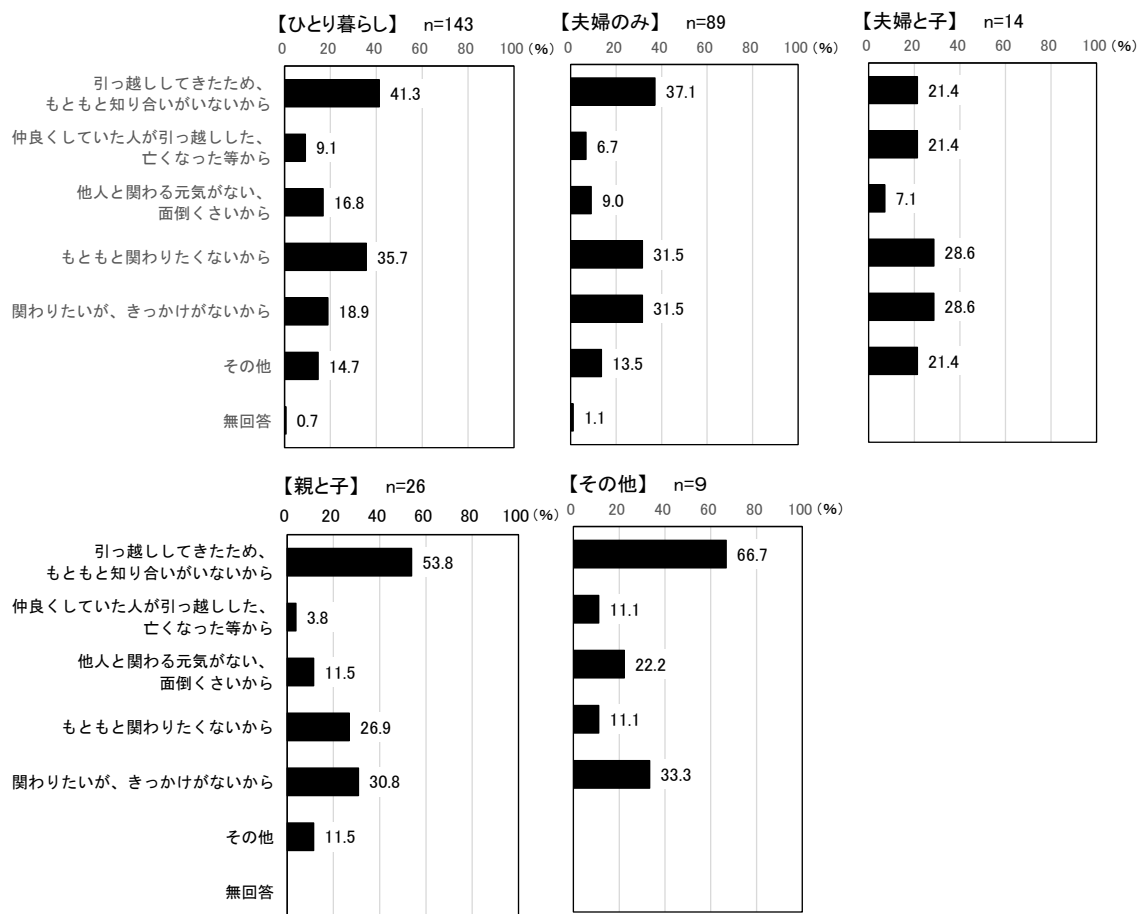
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
深くかかわるのが嫌だから、社交的ではない、人と関わるとお金がかかるから	4
仕事をしていて、時間がない	4
挨拶程度、挨拶しても返事がない人が多い	3

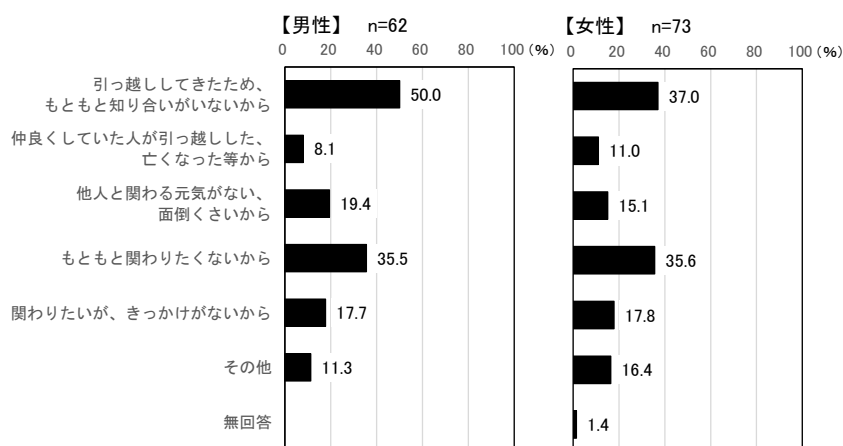
■ 団地別 親しくしている人がいない理由



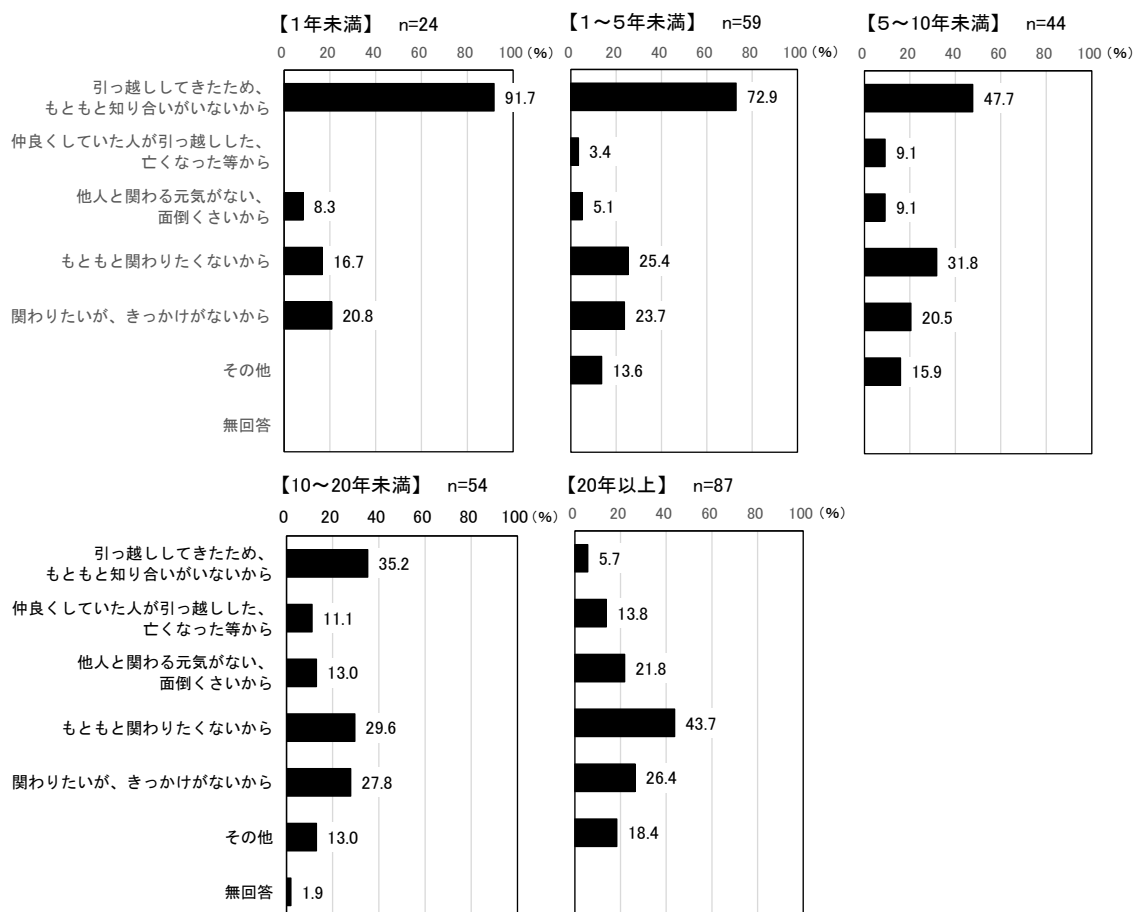
■ 世帯構成別 親しくしている人がいない理由



■単身高齢者男女別 親しくしている人がいない理由



■居住年数別 親しくしている人がいない理由



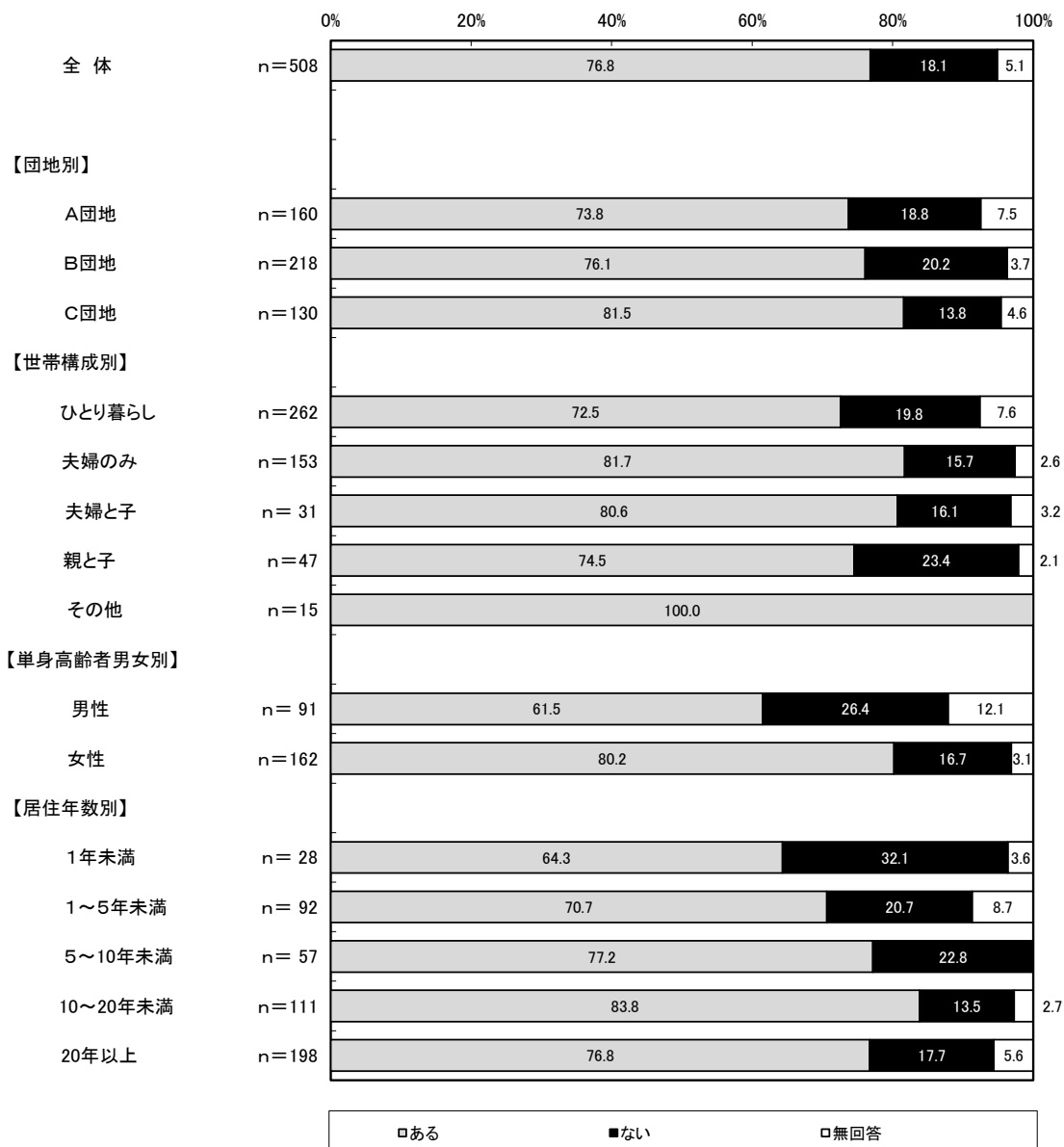
(65歳以上のご家族がおられる) 全ての方にお尋ねします。

問 18 かかりつけ医はありますか。(〇はひとつ)

1. ある
2. ない

- ・かかりつけ医の有無について全体をみると、「ある」が76.8%、「ない」が18.1%となっている。
- ・団地別にみると、『C 団地』では、「ある」が81.7%となっており、その他の団地と比較すると高くなっており、一方、『A 団地』では、同73.8%と低くなっており、その差は7.7ポイントとなっている。
- ・世帯構成別にみると、『夫婦のみ』では、「ある」が81.7%となっており、その他の世帯構成と比較すると高くなっており、一方、『ひとり暮らし』では、同72.5%と低くなっており、その差は9.2ポイントとなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「ある」が61.5%となっているのに対し、『女性』では、同80.2%となっており、『女性』の方が『男性』よりも18.7ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、『10～20年未満』では、「ある」が83.8%とその他の居住年数と比較すると高くなっており、一方、『1年未満』では、同64.3%と低くなっており、その差は19.5ポイントとなっている。

■ かかりつけ医の有無

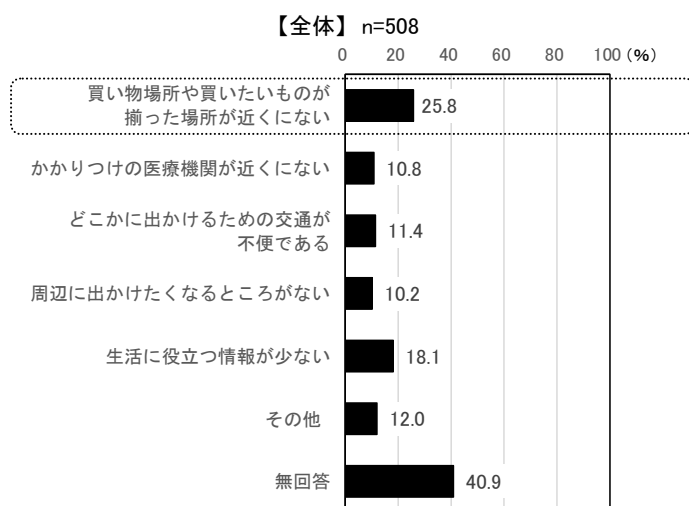


問 19 あなたの世帯の日常生活で、不便に感じていることはありますか。
(〇はいくつでも)

1. 買い物場所や買いたいものが揃った場所が近くにない
2. かかりつけの医療機関が近くにない
3. どこかに出かけるための交通が不便である
4. 周辺に出かけたくなくところがない
5. 生活に役立つ情報が少ない
6. その他（ ）

- ・日常生活で不便に感じていることについて全体をみると、「買い物場所や買いたいものが揃った場所が近くにない」が 25.8%で最も高く、次いで、「生活に役立つ情報が少ない」が 18.1%、「どこかに出かけるための交通が不便である」が 11.4%の順となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も、「買い物場所や買いたいものが揃った場所が近くにない」が最も高く、次いで、「生活に役立つ情報が少ない」の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、いずれの世帯構成も、「買い物場所や買いたいものが揃った場所が近くにない」が最も高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』ともに、「買い物場所や買いたいものが揃った場所が近くにない」が最も高くなっているが、『男性』では、同 23.1%であるのに対し、『女性』では、同 31.5%となっており、『女性』の方が『男性』よりも 8.4 ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も、「買い物場所や買いたいものが揃った場所が近くにない」が最も高くなっている。

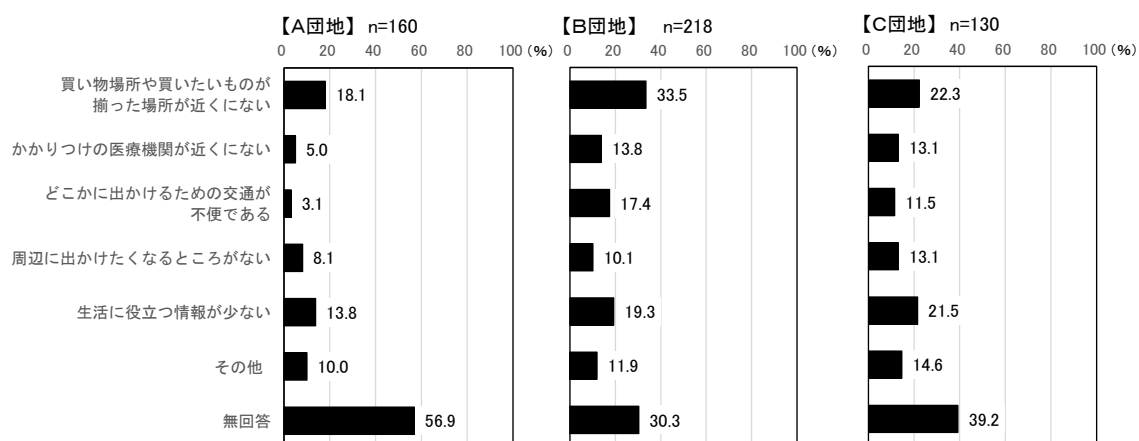
■日常生活で不便に感じていること



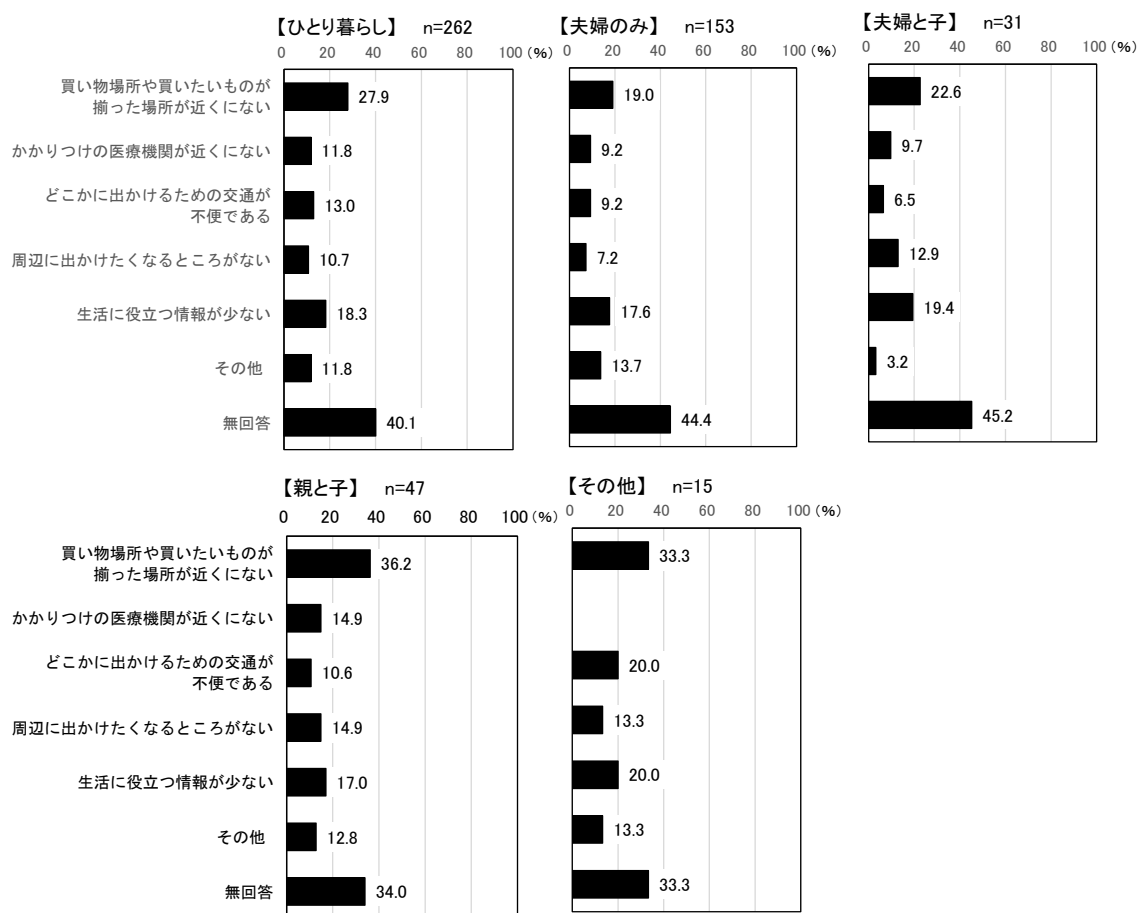
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
銀行の支店がない、銀行が遠いなど	13
感じていない、特になし	11
交通機関の乗り場が遠い、バスが通っていないなど	9

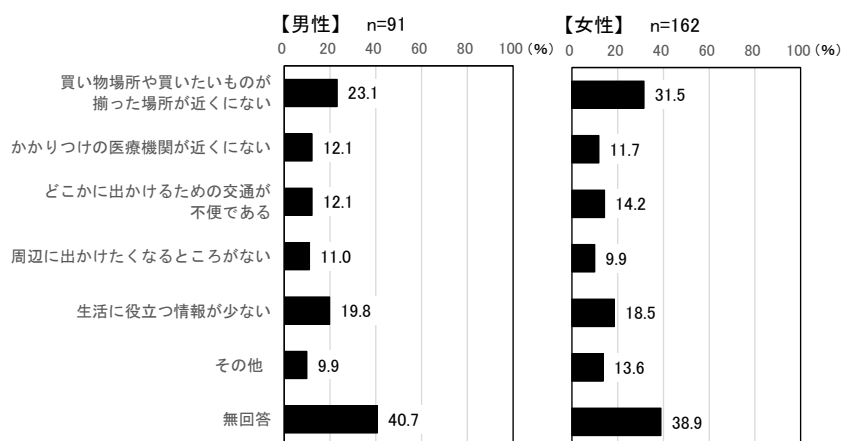
■ 団地別 日常生活で不便に感じていること



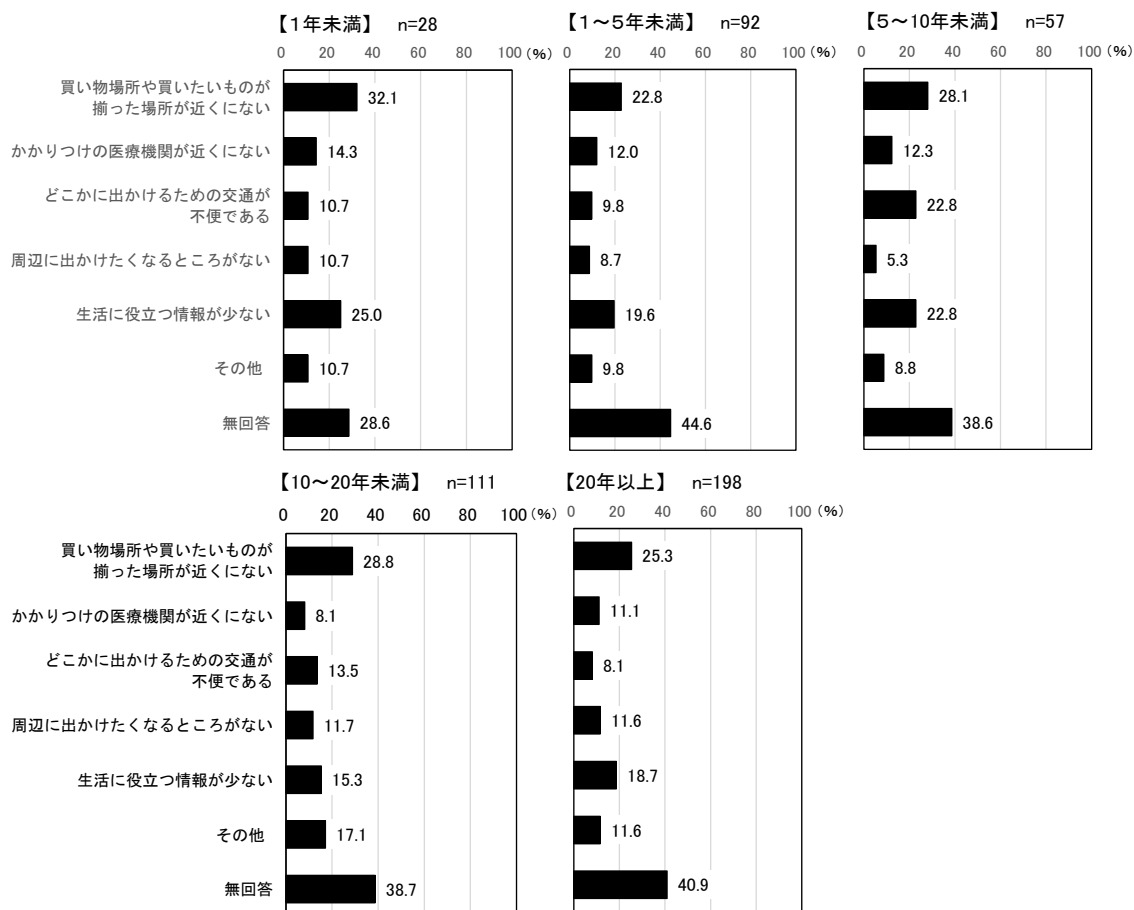
■ 世帯構成別 日常生活で不便に感じていること



■単身高齢者男女別 日常生活で不便に感じていること



■居住年数別 日常生活で不便に感じていること



問 20 あなたの世帯の日常生活で、不満に感じていることはありますか。

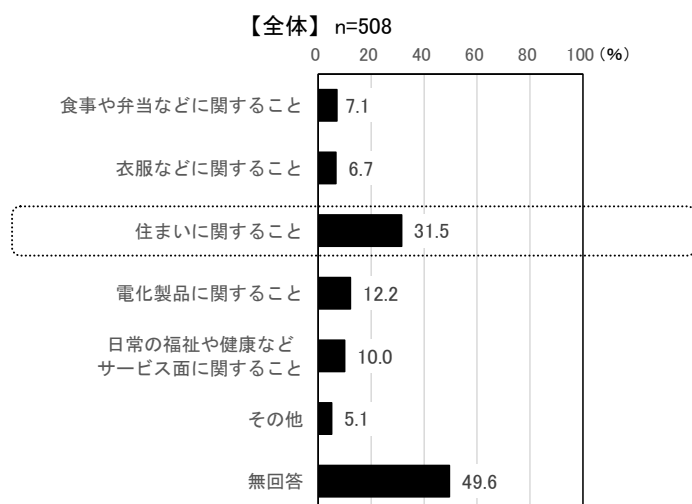
(○はいくつでも)

また、○をつけた選択肢について、どういう部分に不満を感じていますか。不満の内容に該当する数字の中からお選びください。(○はいくつでも)

1. 食事や弁当などに関すること	→	不満の内容： 1. 量 2. バランス 3. その他 ()
2. 衣服などに関すること	→	不満の内容： 1. サイズ 2. 機能 3. その他 ()
3. 住まいに関すること	→	不満の内容： 1. 広さ 2. 機能 3. 環境 4. その他 ()
4. 電化製品に関すること	→	不満の内容： 1. サイズ 2. 機能 3. 操作性 4. その他 ()
5. 日常の福祉や健康などサービス面に関すること	→	不満の内容： 1. サービスの内容 2. サービスの水準 3. その他 ()
6. その他 ()		

- ・日常生活で不満に感じていることについて全体をみると、「住まいに関すること」が 31.5%で最も高く、次いで、「電化製品に関すること」が 12.2%、「日常の福祉や健康などサービス面に関すること」が 10.0%の順となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も、「住まいに関すること」が最も高く、次いで、『A 団地』、『C 団地』では、「電化製品に関すること」の順となっているが、『B 団地』では、「日常の福祉や健康などサービス面に関すること」の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、いずれの世帯構成も、「住まいに関すること」が最も高く、次いで、『ひとり暮らし』、『夫婦のみ』では、「電化製品に関すること」が、『夫婦と子』では、「電化製品に関すること」と「日常の福祉や健康などサービス面に関すること」が、『親と子』では、「日常の福祉や健康などサービス面に関すること」がそれぞれ続いている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』ともに、「住まいに関すること」が最も高くなっており、次いで、「電化製品に関すること」の順となっているが、「電化製品に関すること」については、『男性』が 8.8%であるのに対し、『女性』は 15.4%となっており、『女性』の方が『男性』よりも 6.6 ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も、「住まいに関すること」が最も高くなっており、“5 年未満”（『1 年未満』、『1～5 年未満』）では、他の居住年数に比べ少し高くなっている。

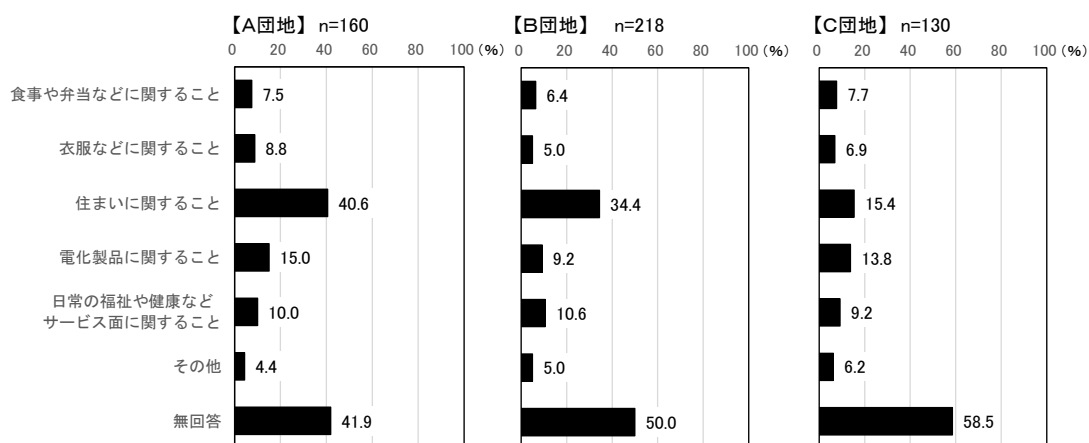
■ 日常生活で不満に感じていること



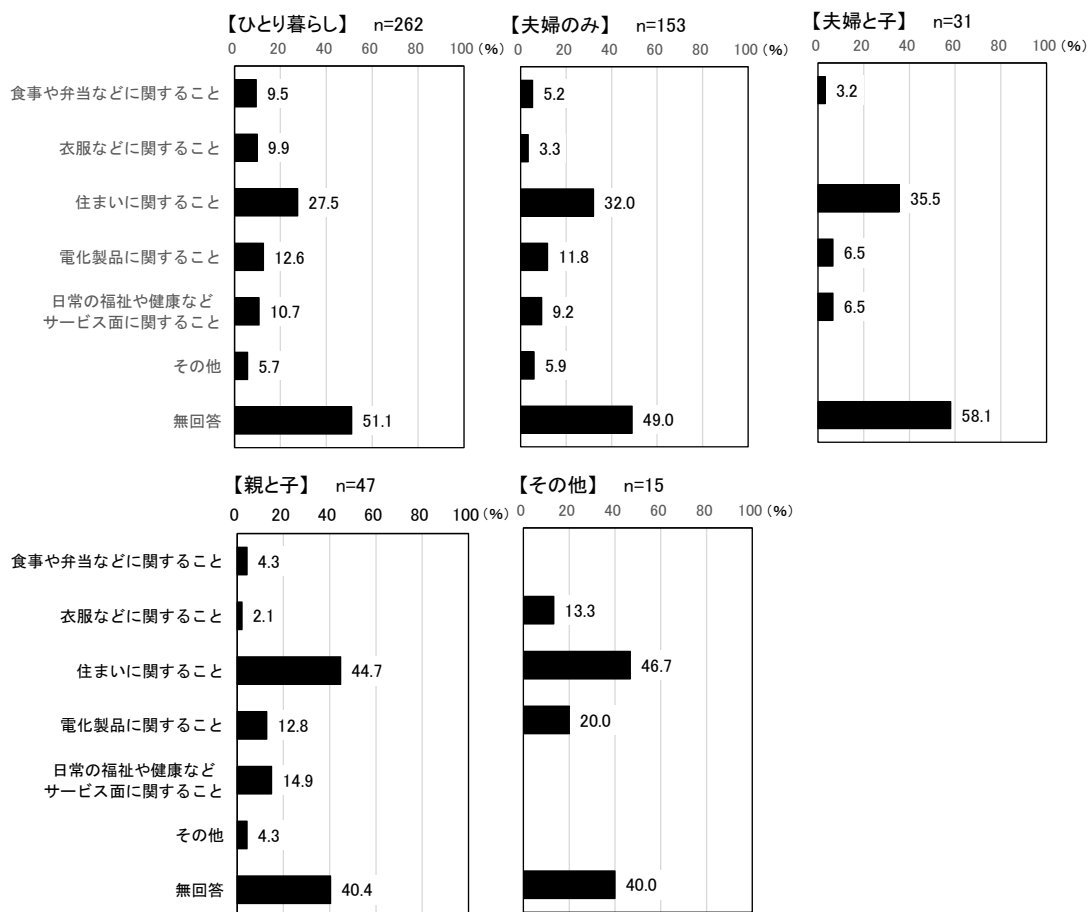
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
特に不満はない	7
健康保険料について	2
分からない	2
生活で貧富の差がある、感じる、年配者が多いので、そちらの改善ばかり優先される	1
高齢者向けの手足動かせる遊具類のある公園がない	1
歩道での自転車マナーが悪い	1
大切な年金減らさないで、自立できなくなる	1
家賃の負担	1
近くにスーパーがないので、生活品がすぐ手に入らない	1
収入が少ない、子供の学費	1
町会の活動が、排他的なこと	1
図書館、区役所が遠い	1
公団なので収入が無くなれば、出ていかなければいけない	1

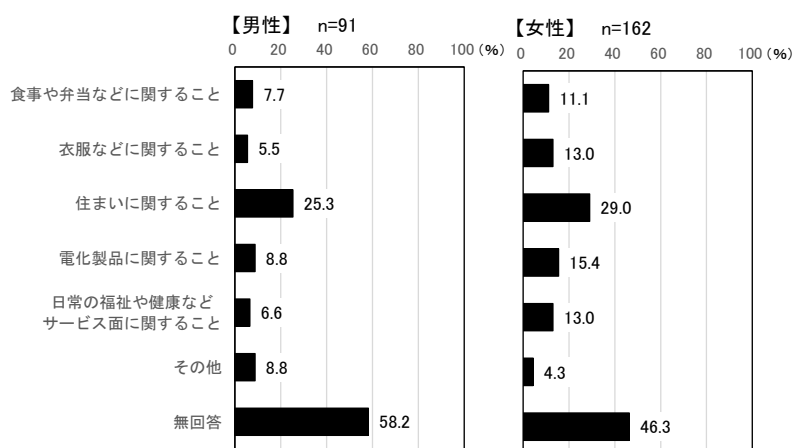
■団地別 日常生活で不満に感じていること



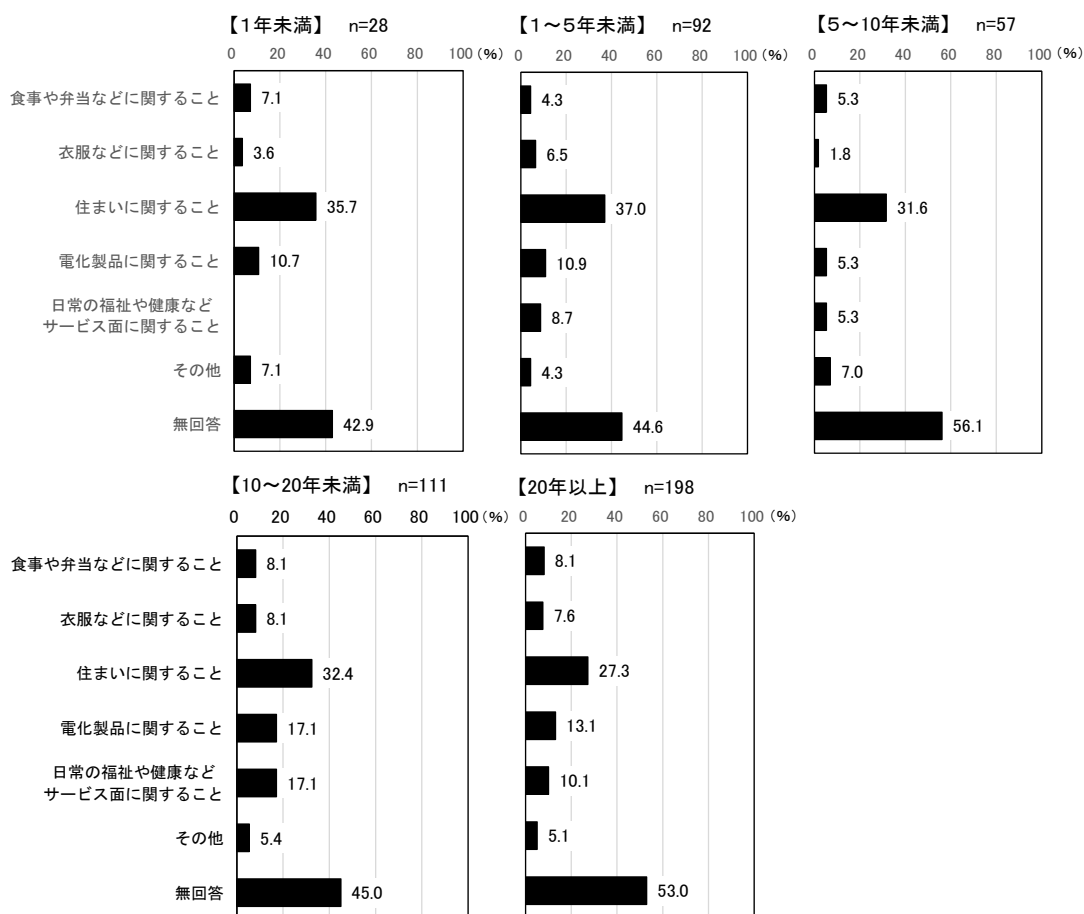
■世帯構成別 日常生活で不満に感じていること



■単身高齢者男女別 日常生活で不満に感じていること



■居住年数別 日常生活で不満に感じていること

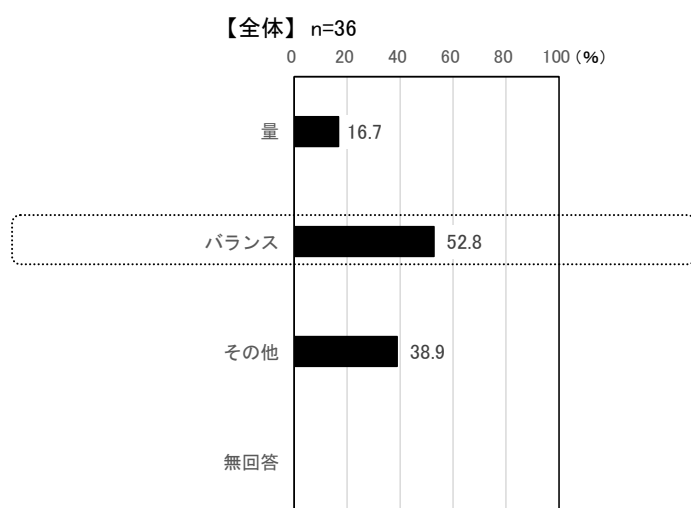


問 20-1 食事・弁当などの不満内容

不満の内容： 1. 量 2. バランス 3. その他（ ）

- ・食事や弁当などの不満内容について全体をみると、「バランス」が 52.8%で最も高く、次いで、「その他」（下記参照）が 38.9%、「量」が 16.7%の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』、『夫婦のみ』では、「バランス」が最も高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』ともに、「バランス」が最も高くなっているが、『男性』では、同 71.4%であるのに対し、『女性』では、同 44.4%となっており、『男性』の方が『女性』よりも 27.0 ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、“20 年未満”（『1 年未満』、『1～5 年未満』、『5～10 年未満』、『10～20 年未満』）では、「バランス」が最も高くなっているのに対し、『20 年以上』では、「その他」が最も高くなっている。

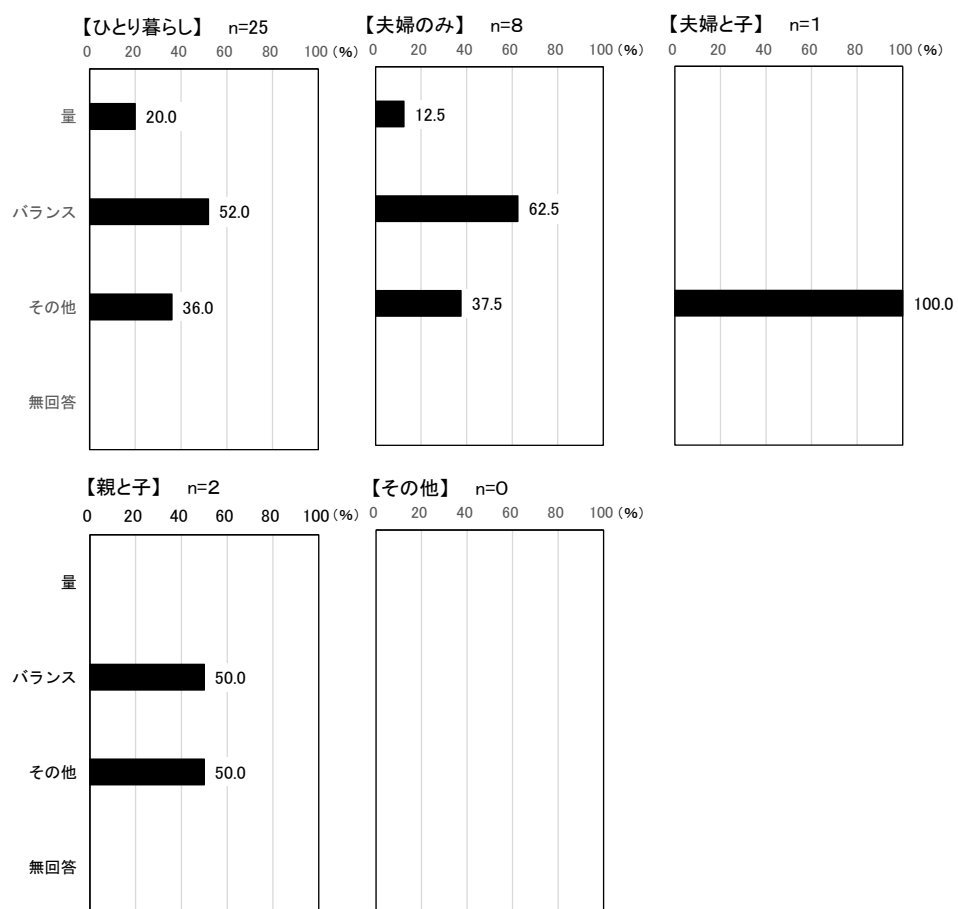
■食事・弁当などの不満内容



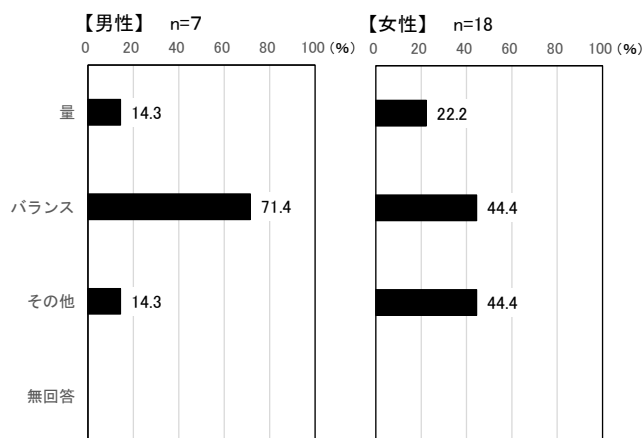
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
味に関すること	3
飲食店が少ない・買い物するところが遠い	3
食事の量が少し減る、食べられない	1
気を付けては居るが、中々難しい	1
価格	1
野菜料理が少ない（外食）	1
スーパーの野菜が多く、腐る	1

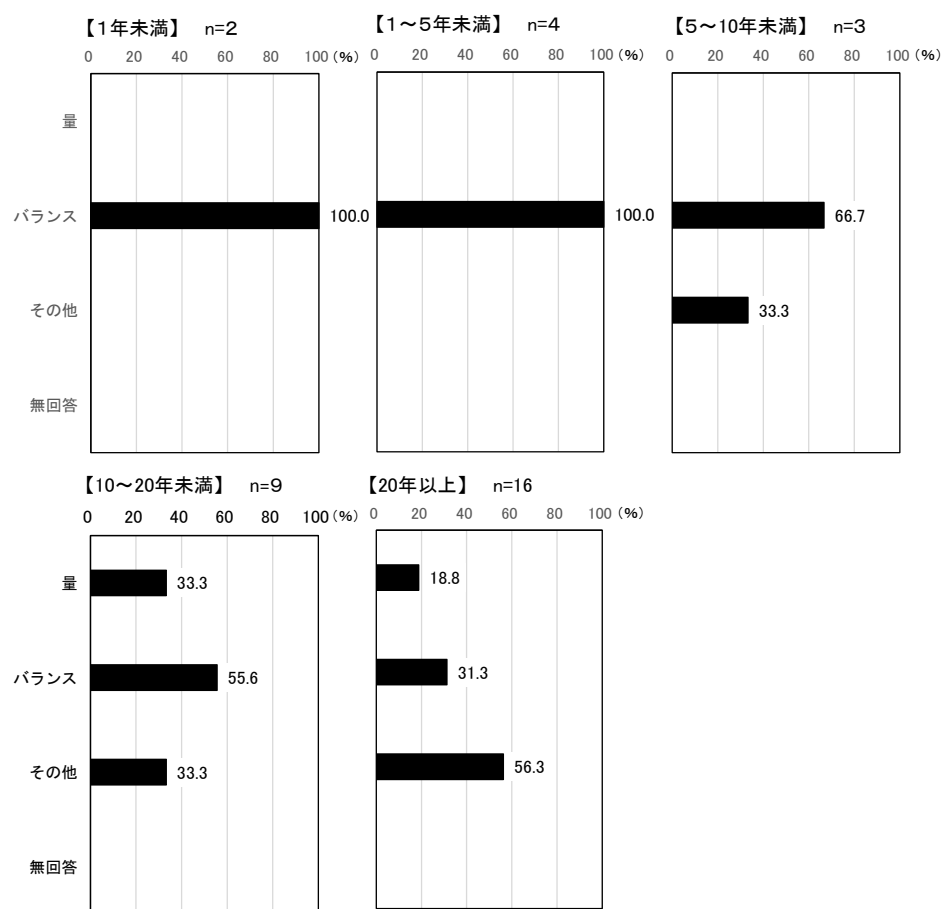
■世帯構成別 食事・弁当などの不満内容



■単身高齢者男女別 食事・弁当などの不満内容



■ 居住年数別 食事・弁当などの不満内容

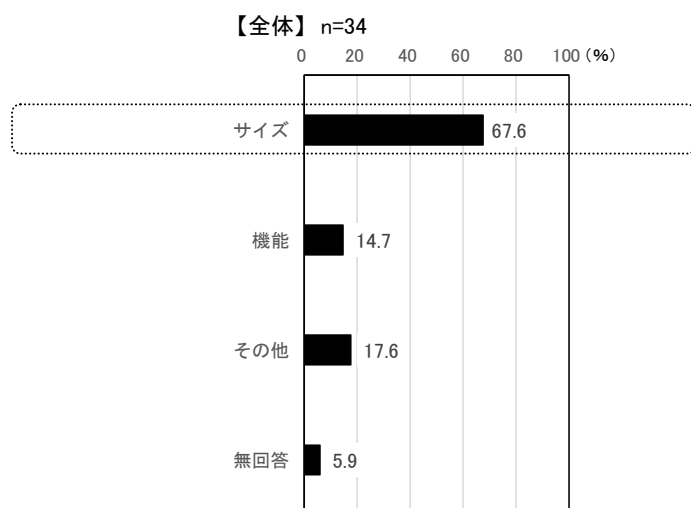


問 20-2 衣服などの不満内容

不満の内容： 1. サイズ 2. 機能 3. その他（ ）

- ・衣服などの不満内容について全体をみると、「サイズ」が67.6%で最も高く、次いで、「その他」（下記参照）が17.6%、「機能」が14.7%の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』、『夫婦のみ』、『親と子』、『その他』では、「サイズ」の割合が半数を超えている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』ともに、「サイズ」が最も高く、『男性』では、同 80.0%であるのに対し、『女性』では、同 66.7%となっており、『男性』の方が『女性』よりも 13.3 ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、“1年以上”（『1～5 年未満』、『5～10 年未満』、『10～20 年未満』、『20 年以上』）では、「サイズ」が最も高くなっており、『1 年未満』では、「機能」が最も高くなっている。

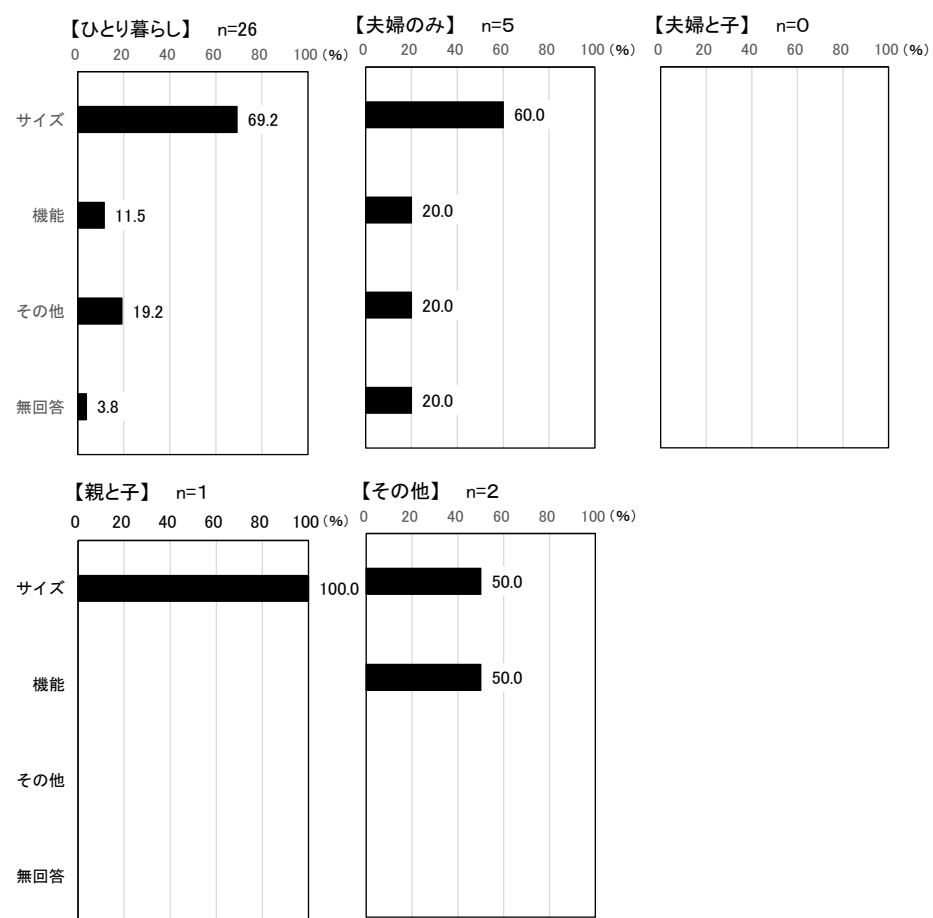
■衣服などの不満内容



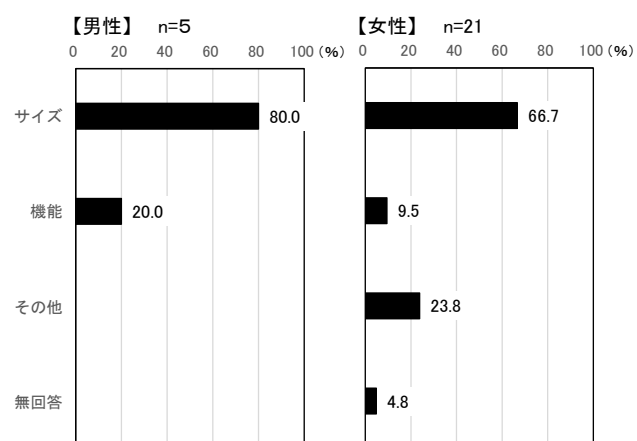
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
近くに店がない	2
お洒落や流行など	2
欲しい服がない	2

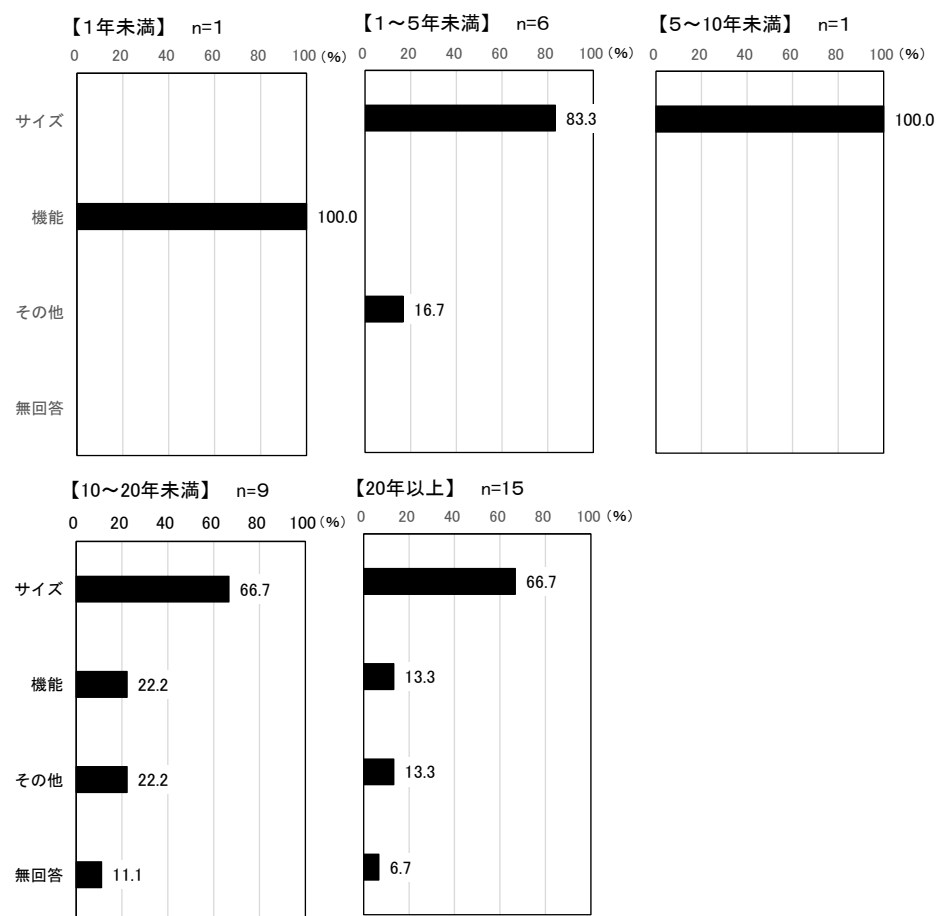
■世帯構成別 衣服などの不満内容



■単身高齢者男女別 衣服などの不満内容



■ 居住年数別 衣服などの不満内容

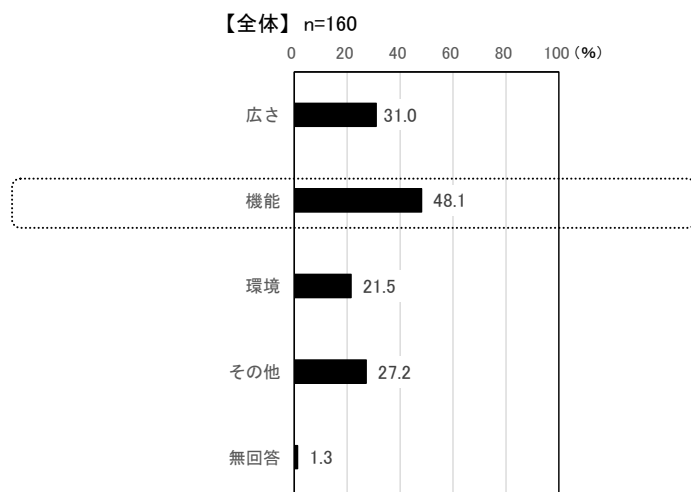


問 20-3 住まいの不満内容

不満の内容： 1. 広さ 2. 機能 3. 環境 3. その他（ ）

- ・住まいの不満内容について全体をみると、「機能」が 48.1%で最も高く、次いで、「広さ」が 31.0%、「その他」（下記参照）が 27.2%の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』、『夫婦のみ』、『夫婦と子』、『親と子』では、「機能」が最も高くなっており、『夫婦と子』では、同 63.6%と他の世帯構成に比べて高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』ともに、「機能」が最も高くなっている。
- ・居住年数別にみると、『1 年未満』では、「その他」が最も高く、『1～5 年未満』、『10～20 年未満』、『20 年以上』では、「機能」が最も高くなっており、特に『20 年以上』では、61.1%と他の居住年数に比べて高くなっている。『5～10 年未満』では、「広さ」が最も高くなっている。

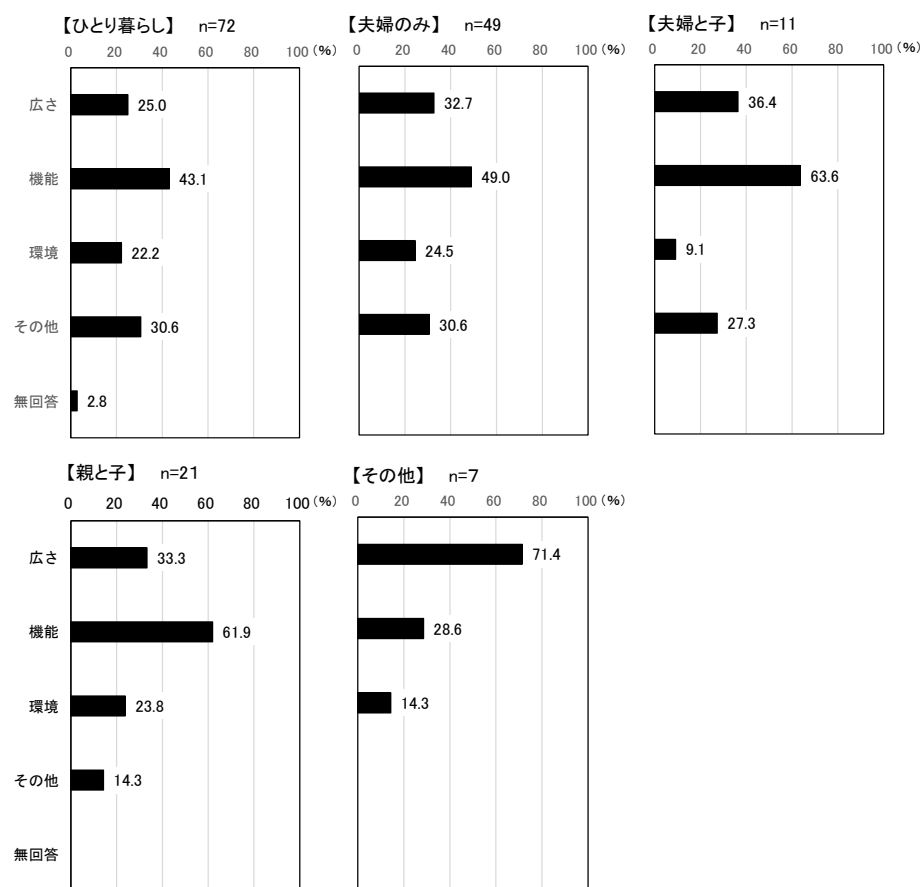
■ 住まいの不満内容



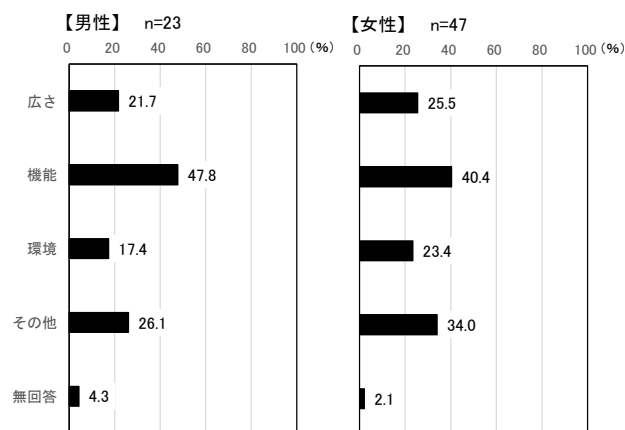
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
家賃等	21
古さ	4
マナー等	3
設備が古い	3
ベランダがない	3
騒音・異臭	3

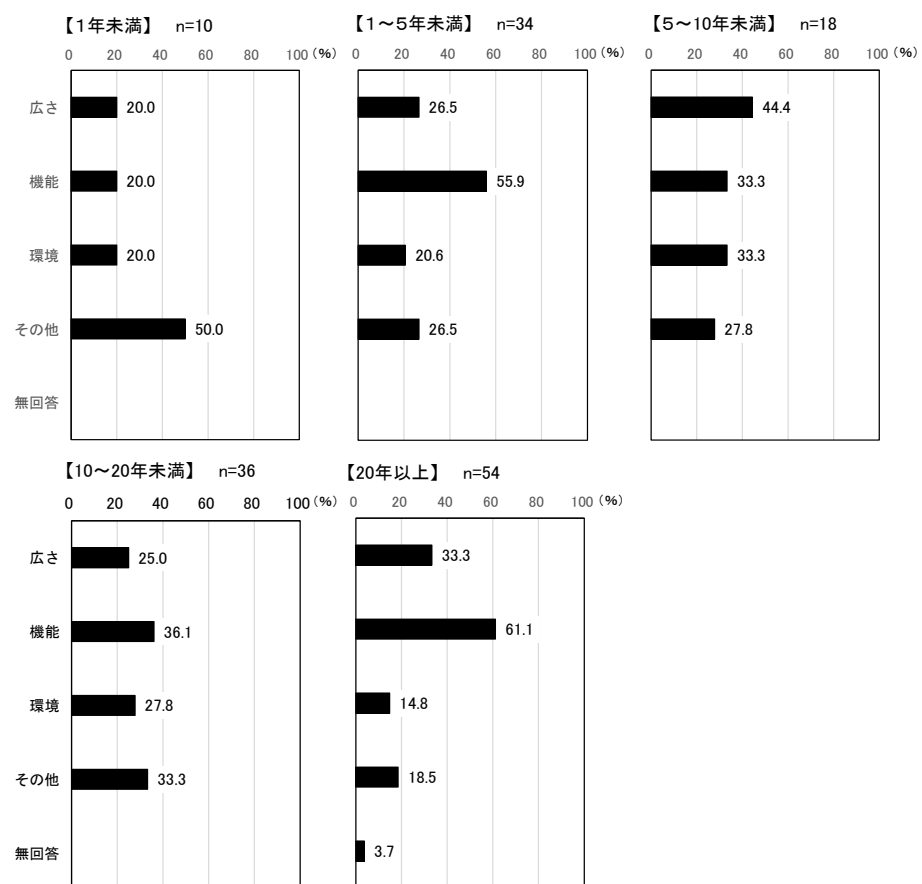
■世帯構成別 住まいの不満内容



■単身高齢者男女別 住まいの不満内容



■ 居住年数別 住まいの不満内容

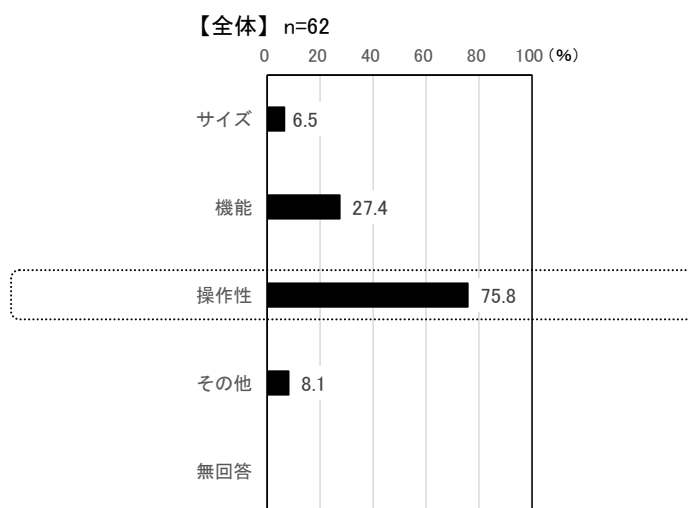


問 20-4 電化製品の不満内容

不満の内容： 1. サイズ 2. 機能 3. 操作性 4. その他（ ）

- ・電化製品の不満内容について全体をみると、「操作性」が 75.8%で最も高く、次いで、「機能」が 27.4%の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、いずれの世帯構成も、「操作性」が最も高くなっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』ともに、「操作性」が最も高くなっているが、男性では、50.0%の同率で「機能」も高くなっており、『女性』では、「操作性」が 84.0%となっており、『女性』の方が『男性』よりも 34.0 ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、『1 年未満』では、「機能」が 66.7%で最も高くなっているが、“1 年以上”（『1～5 年未満』、『5～10 年未満』、『10～20 年未満』、『20 年以上』）では、「操作性」が最も高くなっている。

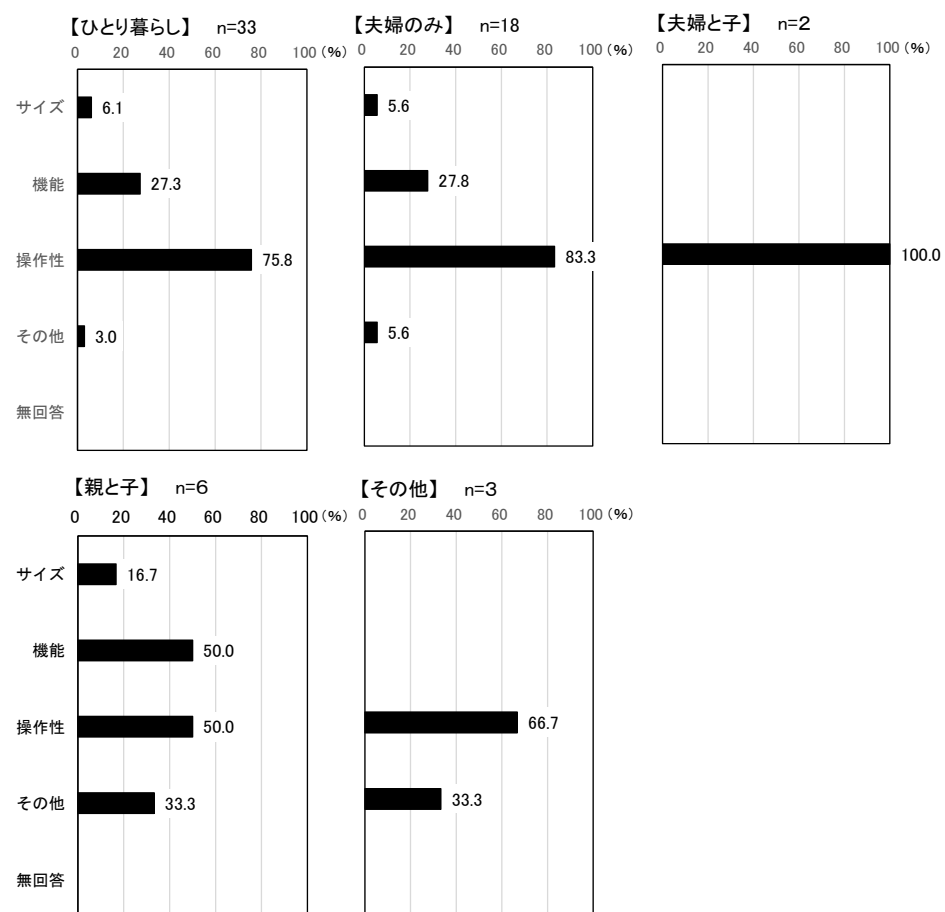
■電化製品の不満内容



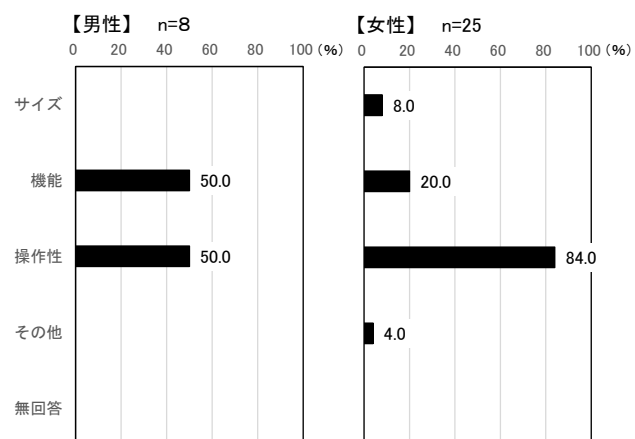
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
買い換えたいがお金無し	1
電源が少ない	1
視力低下の為、リモコン等の操作に不便を感じる	1
クーラーの取付費が高すぎる	1
経済性が高い（瓦斯）	1
スタンダードが不自然（ミス前の屋根付がいいのでは）	1

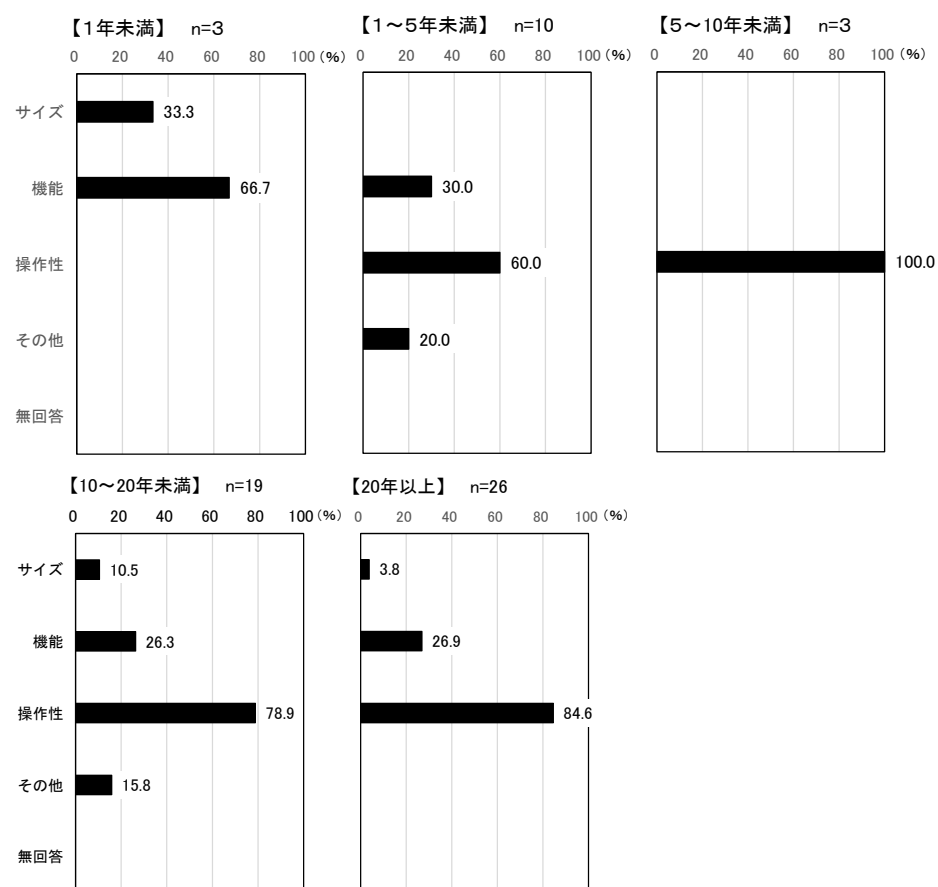
■世帯構成別 電化製品の不満内容



■単身高齢者男女別 電化製品の不満内容



■居住年数別 電化製品の不満内容

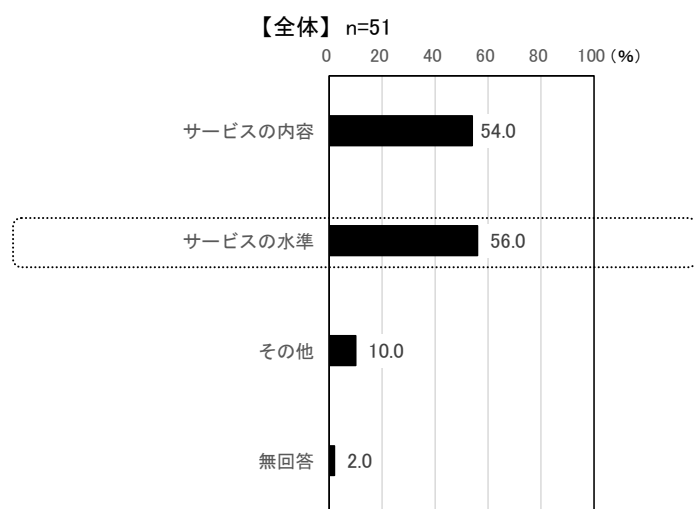


問 20-5 サービス面の不満内容

不満の内容：1. サービスの内容 2. サービスの水準 3. その他()

- ・サービス面の不満内容について全体をみると、「サービスの水準」が56.0%で最も高く、次いで、「サービスの内容」が54.0%の順となっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』では、「サービスの内容」が57.1%と最も高くなっており、次いで、「サービスの水準」が53.6%の順となっている。『夫婦のみ』、『親と子』では、「サービスの水準」がそれぞれ64.3%、57.1%で最も高くなっており、次いで、「サービスの内容」がそれぞれ50.0%、42.9%の順となっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「サービスの水準」が66.7%で最も高くなっているのに対し、『女性』では、「サービスの内容」が61.9%で最も高くなっている。
- ・居住年数別にみると、『1～5年未満』、『20年以上』では、「サービスの内容」が75.0%、65.0%で最も高くなっており、『5～10年未満』、『10～20年未満』では、「サービスの水準」が最も高くなっている。

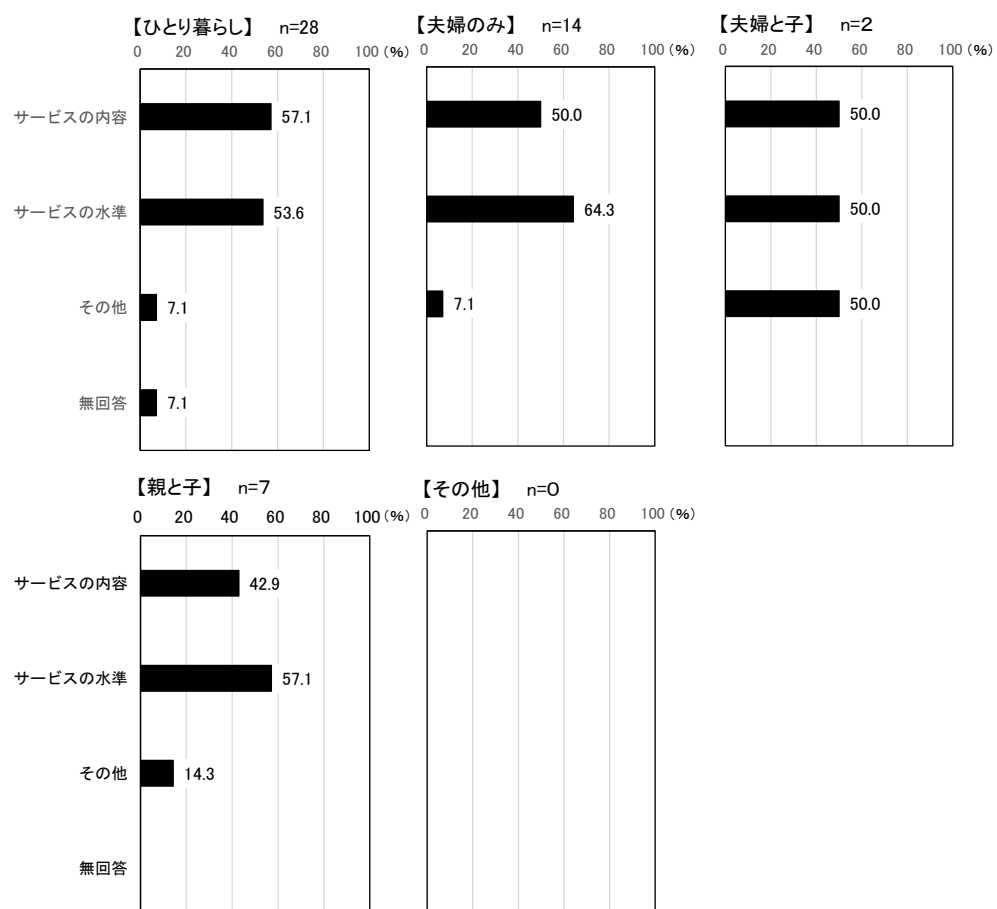
■ サービス面の不満内容



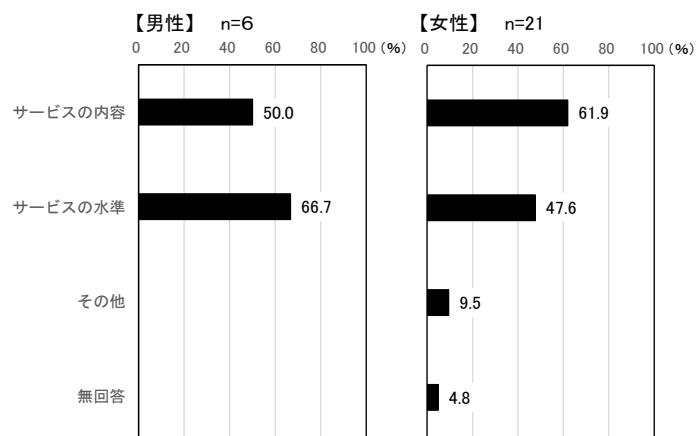
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
国民保険料が高すぎる（可処分所得の半分）	1
胃カメラを検診に	1
サービスを受けている意識はない	1
手の痺れが治らない	1
老人の出来ない事でも駄目な場合もある	1
サービスの水準がわからない	1
伝達不足と実施方法	1
例－体操及びウォーキング、教会	1
がん検診を安く、休日（土日）も受けられるようにしてほしい	1

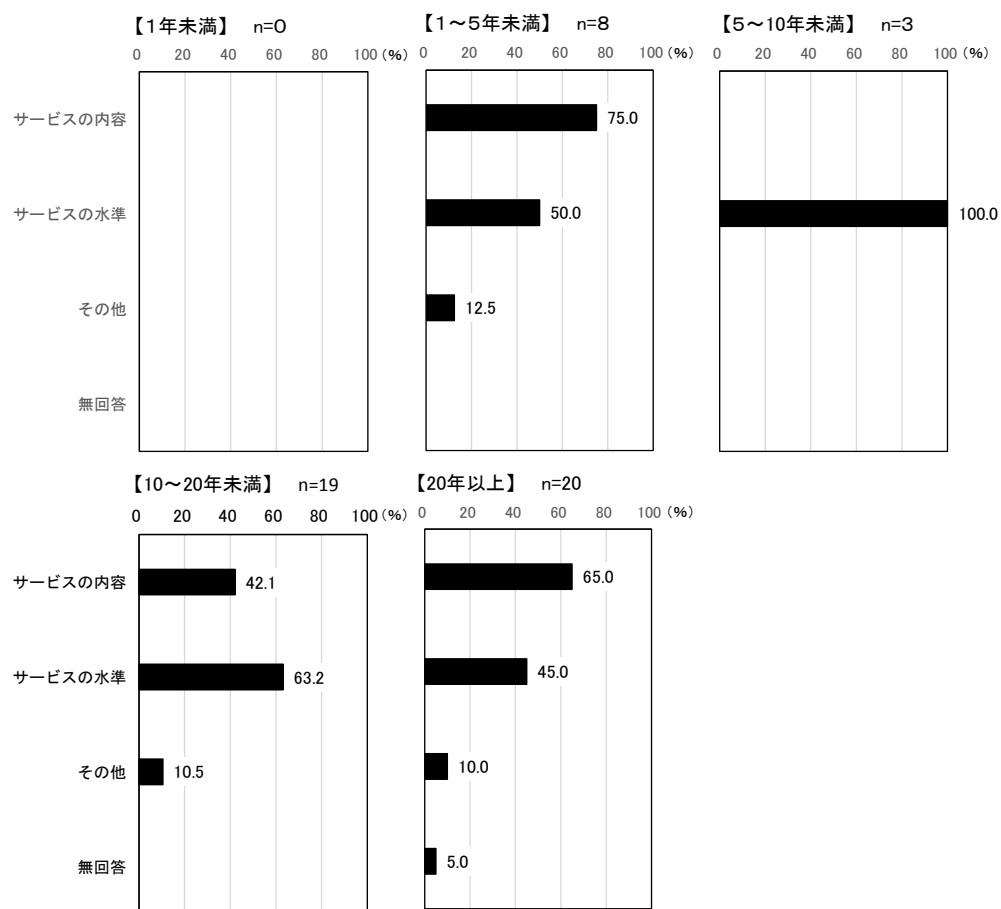
■世帯構成別 サービス面の不満内容



■単身高齢者男女別 サービス面の不満内容



■居住年数別 サービス面の不満内容

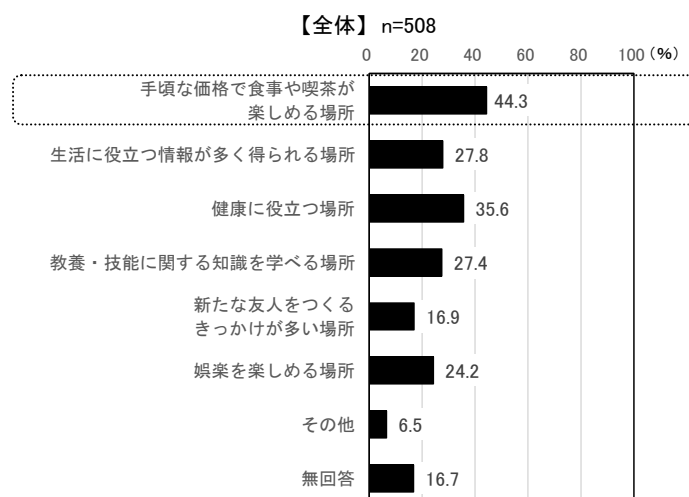


問 21 一般的にあなたが、心地よいと感じられる場所はどこですか。(〇はいくつでも)

1. 手頃な価格で食事や喫茶が楽しめる場所
2. 生活に役立つ情報が多く得られる場所
3. 健康に役立つ場所
4. 教養・技能に関する知識を学べる場所
5. 新たな友人をつくるきっかけが多い場所
6. 娯楽を楽しめる場所
7. その他（ ）

- ・心地よいと感じる場所について全体をみると、「手頃な価格で食事や喫茶が楽しめる場所」が 44.3%で最も高く、次いで、「健康に役立つ場所」が 35.6%、「生活に役立つ情報が多く得られる場所」が 27.8%の順となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も、「手頃な価格で食事や喫茶が楽しめる場所」が最も高く、次いで、『A 団地』、『B 団地』では、「健康に役立つ場所」がそれぞれ 39.4%、34.9%で続いているが、『C 団地』では、「教養・技能に関する知識を学べる場所」が 33.1%で続いている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』、『夫婦と子』、『親と子』では、「手頃な価格で食事や喫茶が楽しめる場所」が最も高くなっており、次いで「健康に役立つ場所」の順となっている。『夫婦のみ』では、「健康に役立つ場所」が最も高くなっており、次いで、「手頃な価格で食事や喫茶が楽しめる場所」の順となっている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』、『女性』ともに、「手頃な価格で食事や喫茶が楽しめる場所」が最も高くなっており、次いで、「健康に役立つ場所」の順となっているが、その次は、『男性』では、「生活に役立つ情報が多く得られる場所」が、『女性』では、「教養・技能に関する知識を学べる場所」の順となっている。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も、「手頃な価格で食事や喫茶が楽しめる場所」が最も高くなっており、特に『1 年未満』では、同 53.6%と他の居住年数よりも高くなっている。

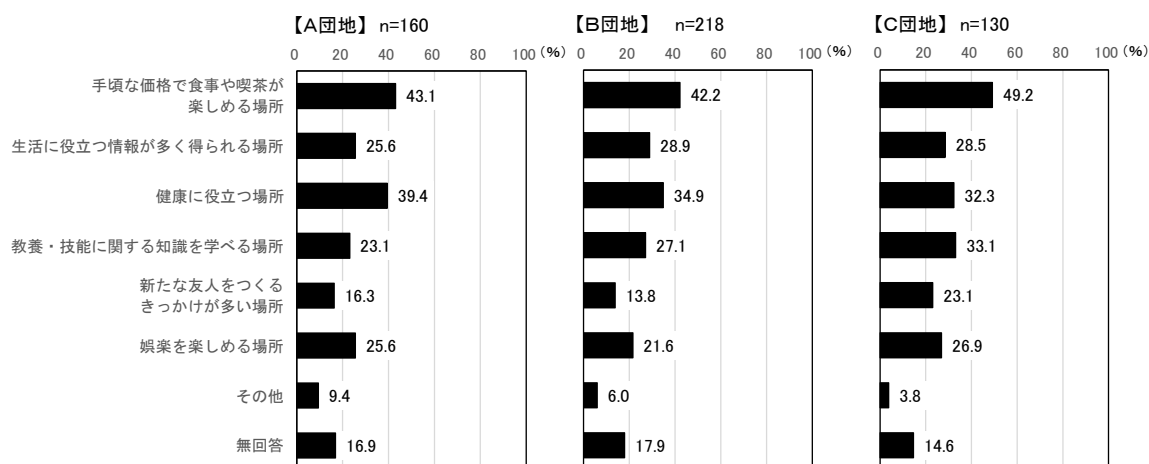
■心地よいと感じる場所



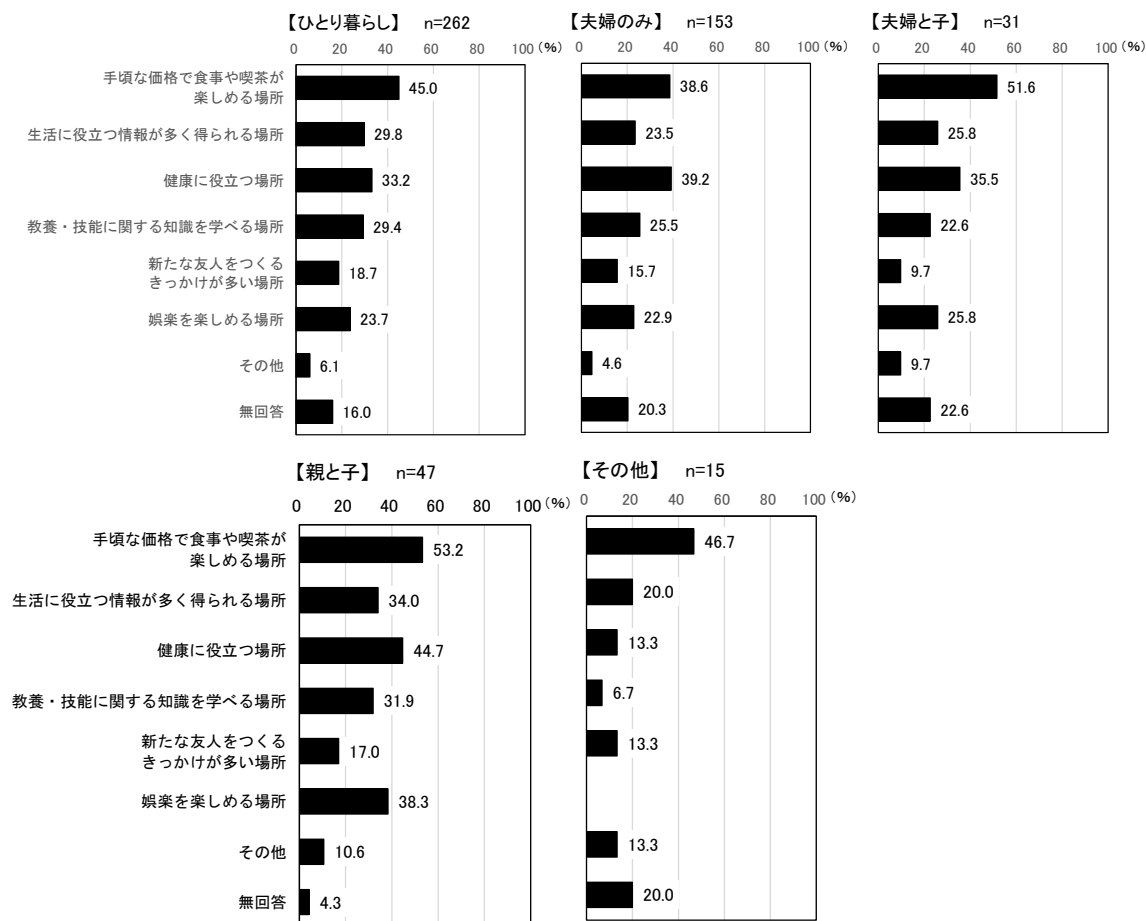
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
緑があり静かな場所・公園	10
自宅	13
カフェ	2
図書施設	2

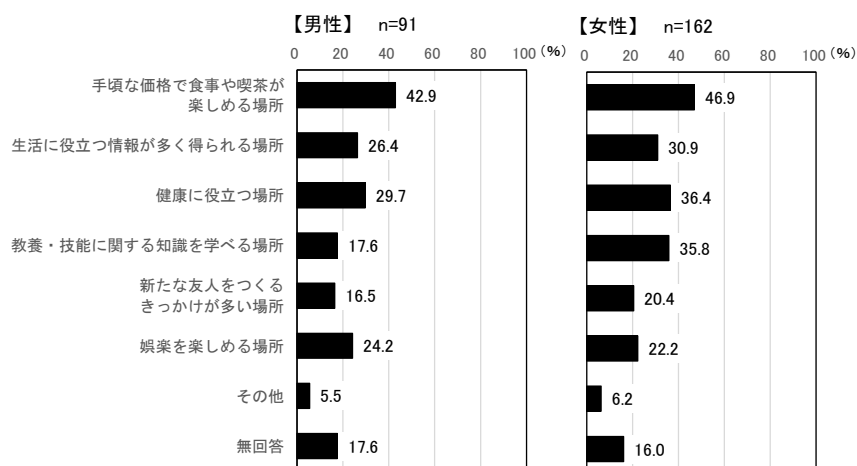
■団地別 心地よいと感じる場所



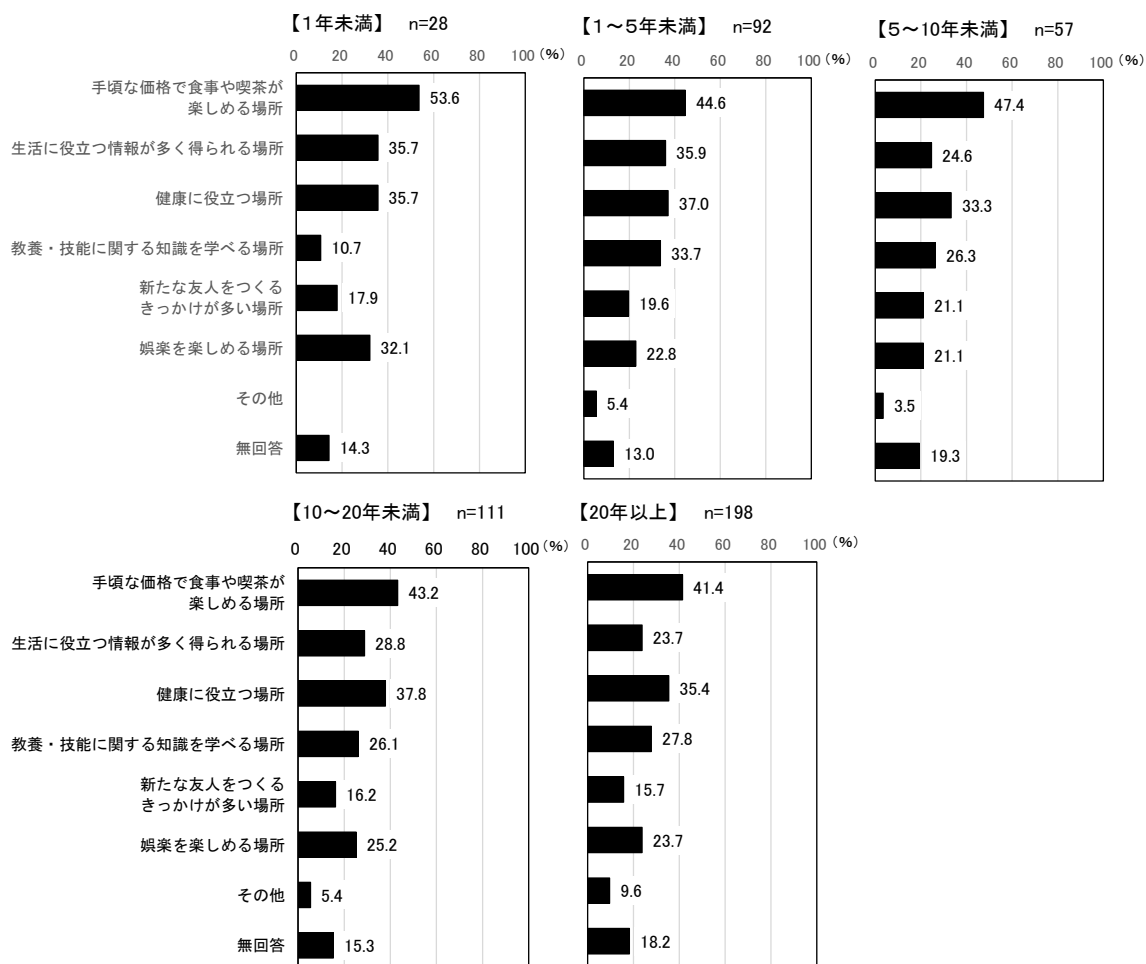
■世帯構成別 心地よいと感じる場所



■単身高齢者男女別 心地よいと感じる場所



■居住年数別 心地よいと感じる場所

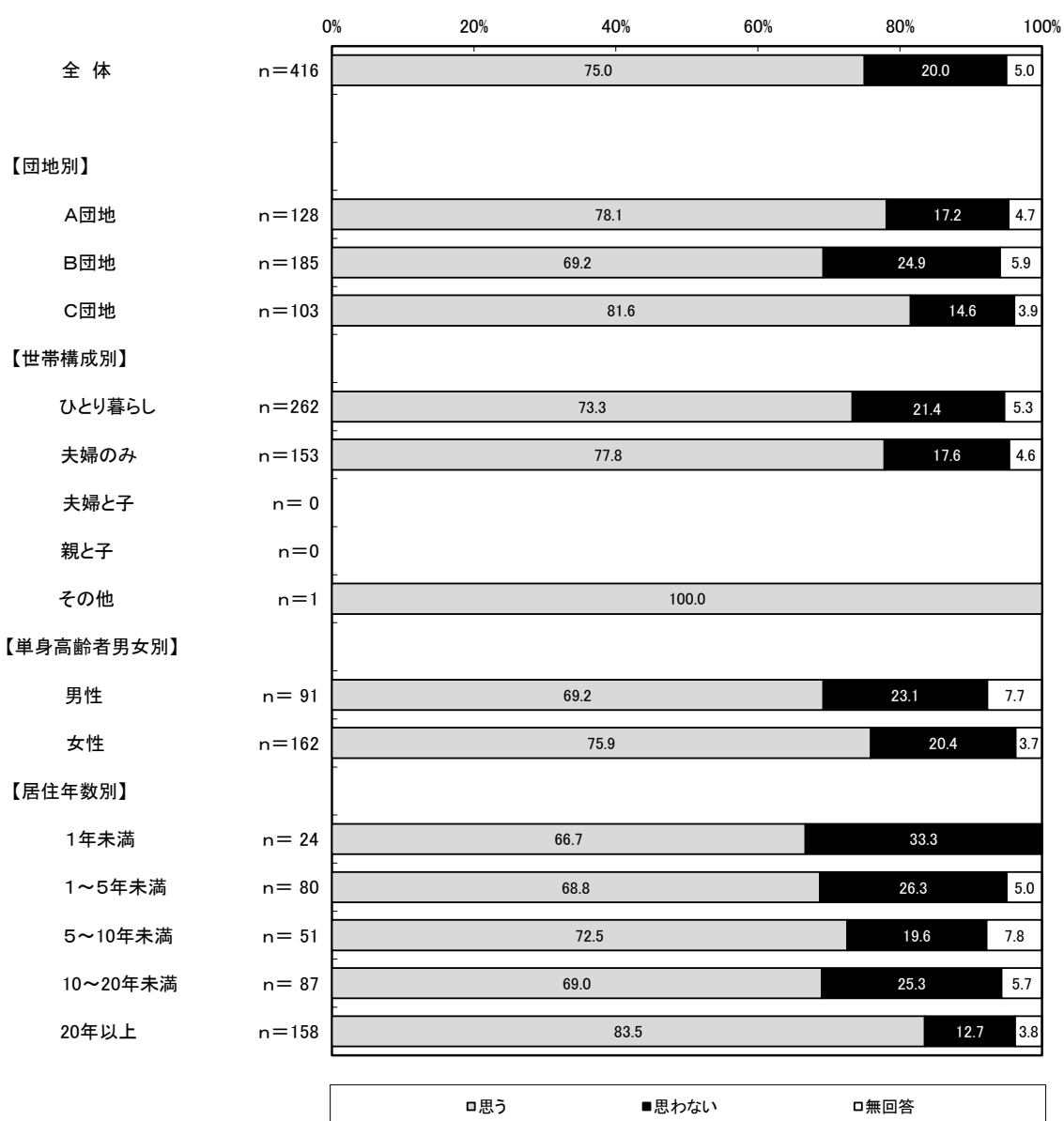


問 22 あなたは、現在のお住まいに住み続けたいと思いますか。（〇はひとつ）

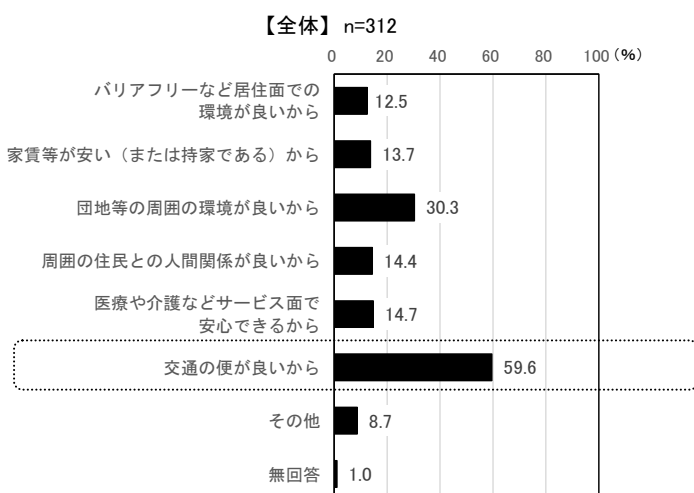
1. 思う → 問 23 へお進みください
2. 思わない → 問 24 へお進みください

- ・居住継続の意向について全体をみると、「思う」が 75.0%、「思わない」が 20.0%となっている。
- ・団地別にみると、『C 団地』では、「思う」が 81.6%とその他の団地と比較すると高くなっており、一方、『B 団地』では、同 69.2%と低くなっており、その差は 12.4 ポイントとなっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』、『夫婦のみ』では、「思う」がそれぞれ 73.3%、77.8%と 7 割を超えている。
- ・単身高齢者男女別にみると、『男性』では、「思う」が 69.2%となっているのに対し、『女性』では、同 75.9%となっており、『女性』の方が『男性』よりも 6.7 ポイント高くなっている。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も、「思う」の割合が高く、『20 年以上』では、同 83.5%とその他の居住年数と比較すると非常に高くなっている。

■居住継続の意向



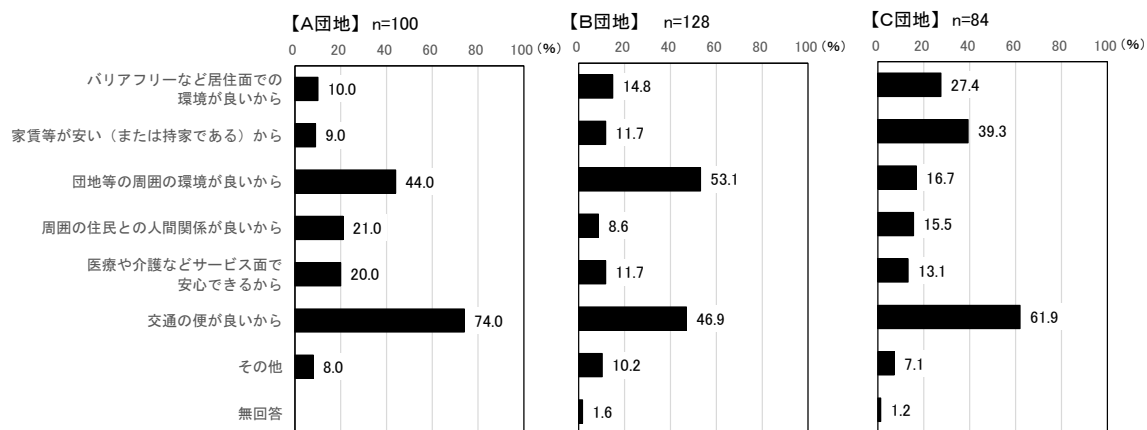
■住み続けたい理由



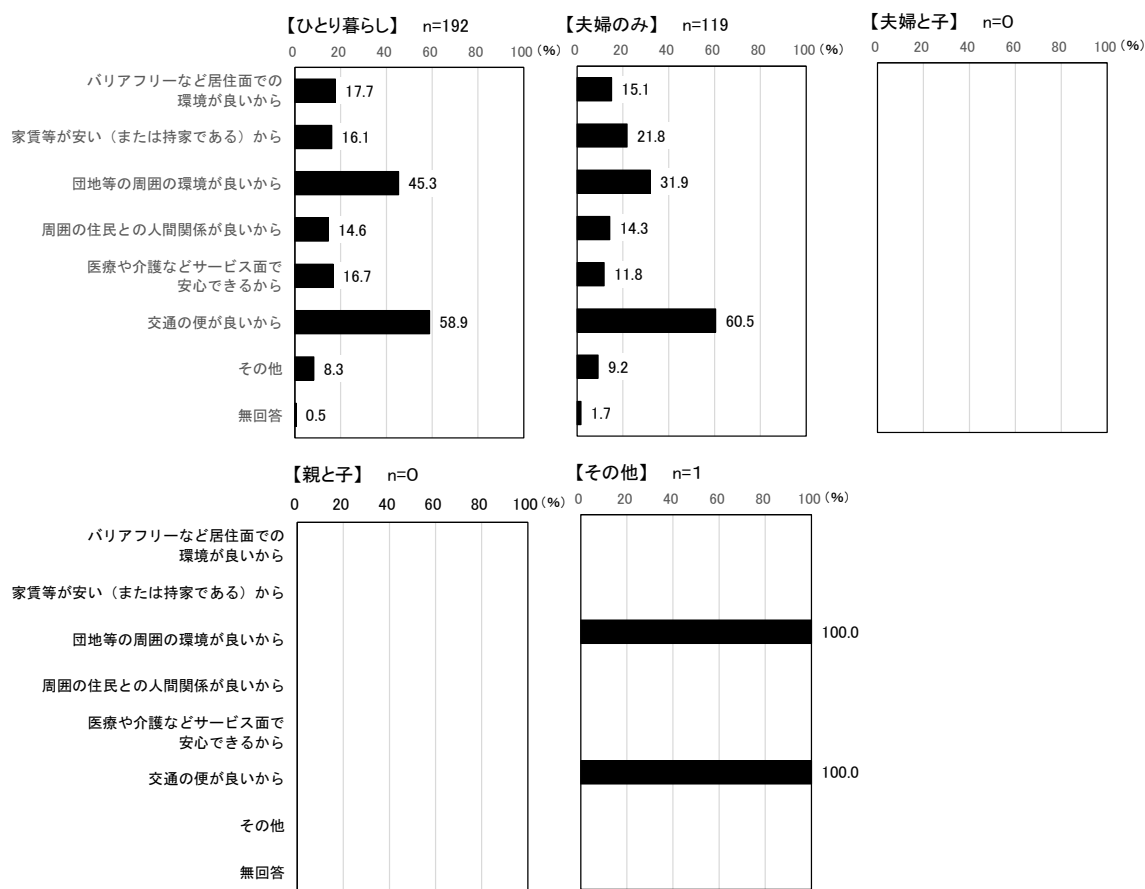
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
長年住み慣れているから	9
引越す経済的余裕がないなど	3
眺望及び風通しのよさ、公園があってゆっくりできる	2
仕事場に近い	2
便利がよい	2

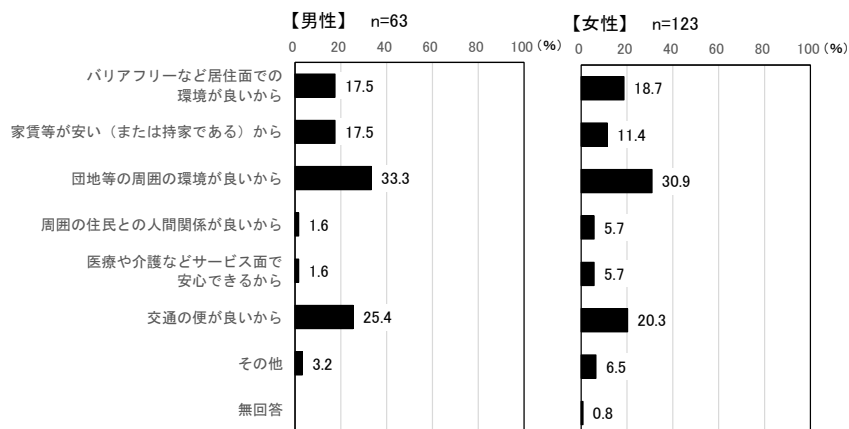
■団地別 住み続けたい理由



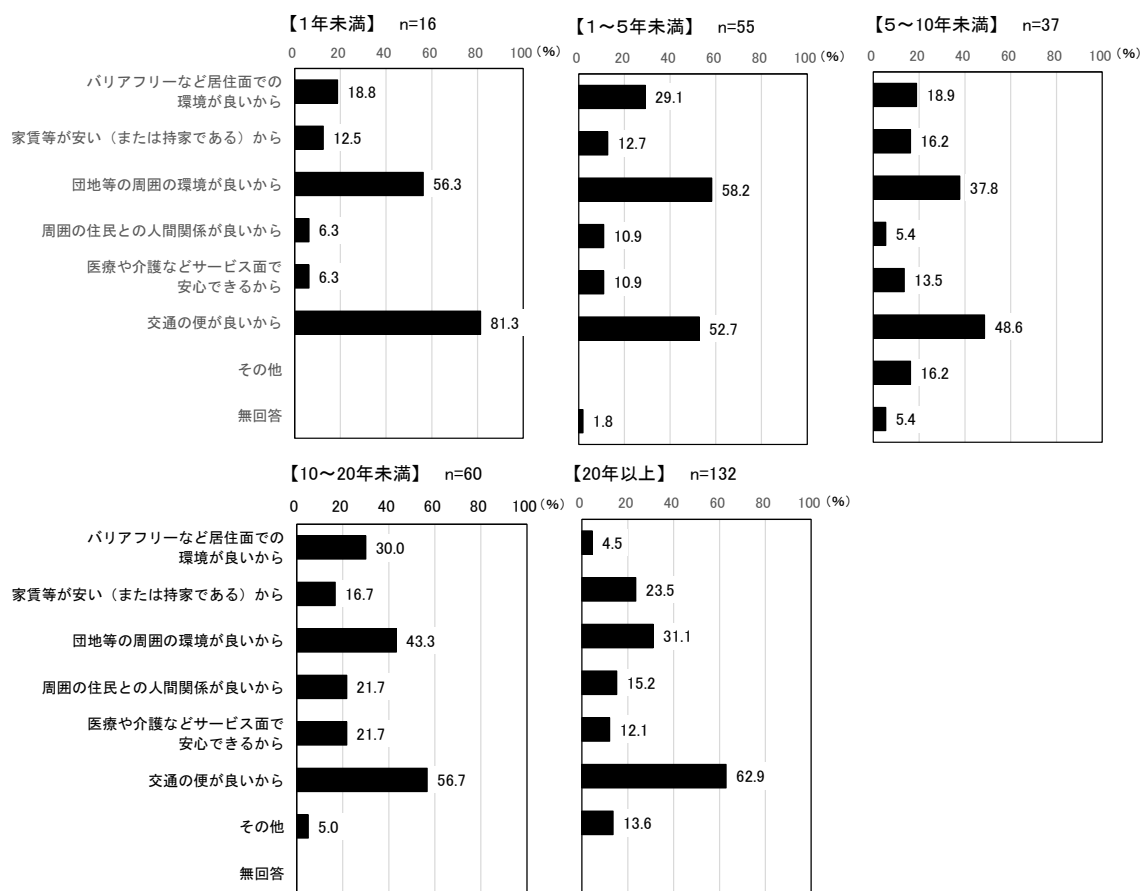
■世帯構成別 住み続けたい理由



■単身高齢者男女別 住み続けたい理由



■居住年数別 住み続けたい理由

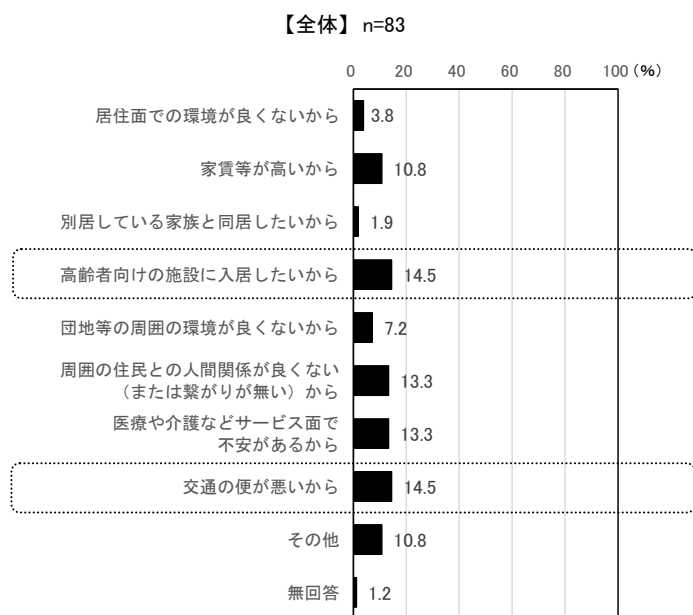


問 24 住み続けたいと思わない主な理由は何ですか。(〇はひとつ)

- ・住み続けたいと思わない理由について全体をみると、「高齢者向けの施設に入居したいから」と「交通の便が悪いから」が同率で 14.5%と最も高く、次いで、「周囲の住民との人間関係が良くない（または繋がりが無い）から」と「医療は介護などサービス面で不安があるから」が同率で 13.3%、「家賃等が高いから」が 10.8%の順となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も、「家賃等が高いから」が最も高く、特に『B 団地』では、同 63.0%と他の団地と比べて高くなっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』、『夫婦のみ』では、「家賃等が高いから」が最も高く、次いで、『ひとり暮らし』では、「交通の便が悪いから」が続き、『夫婦のみ』では、「居住面での環境が良くないから」が続いている。
- ・単身高齢者男女別については、回収した票がすべて無回答であった。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も、「家賃が高いから」が最も高く、特に『5～10 年未満』では、同 70.0%と他の居住年数に比べて高くなっている。

103

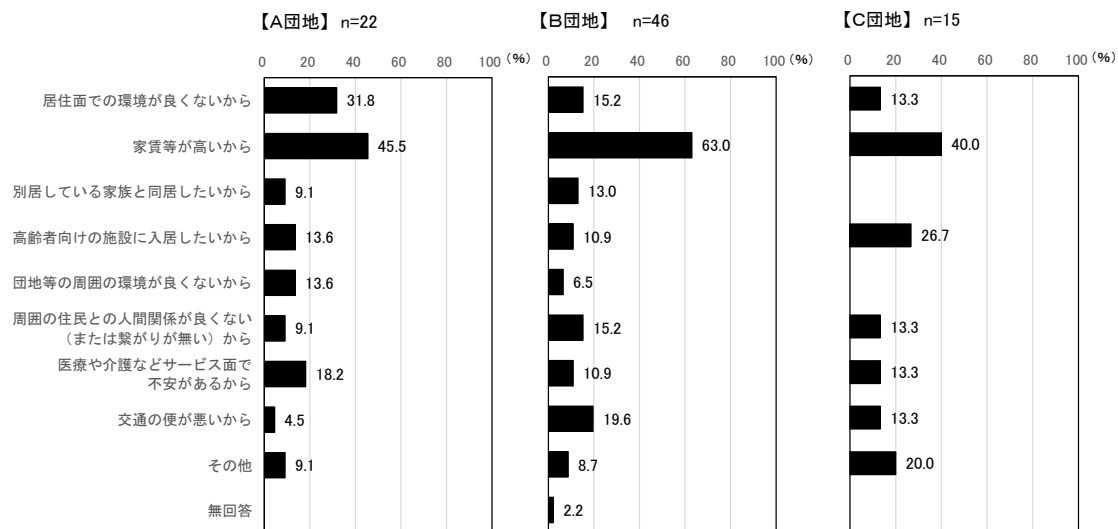
■ 住み続けたいと思わない理由



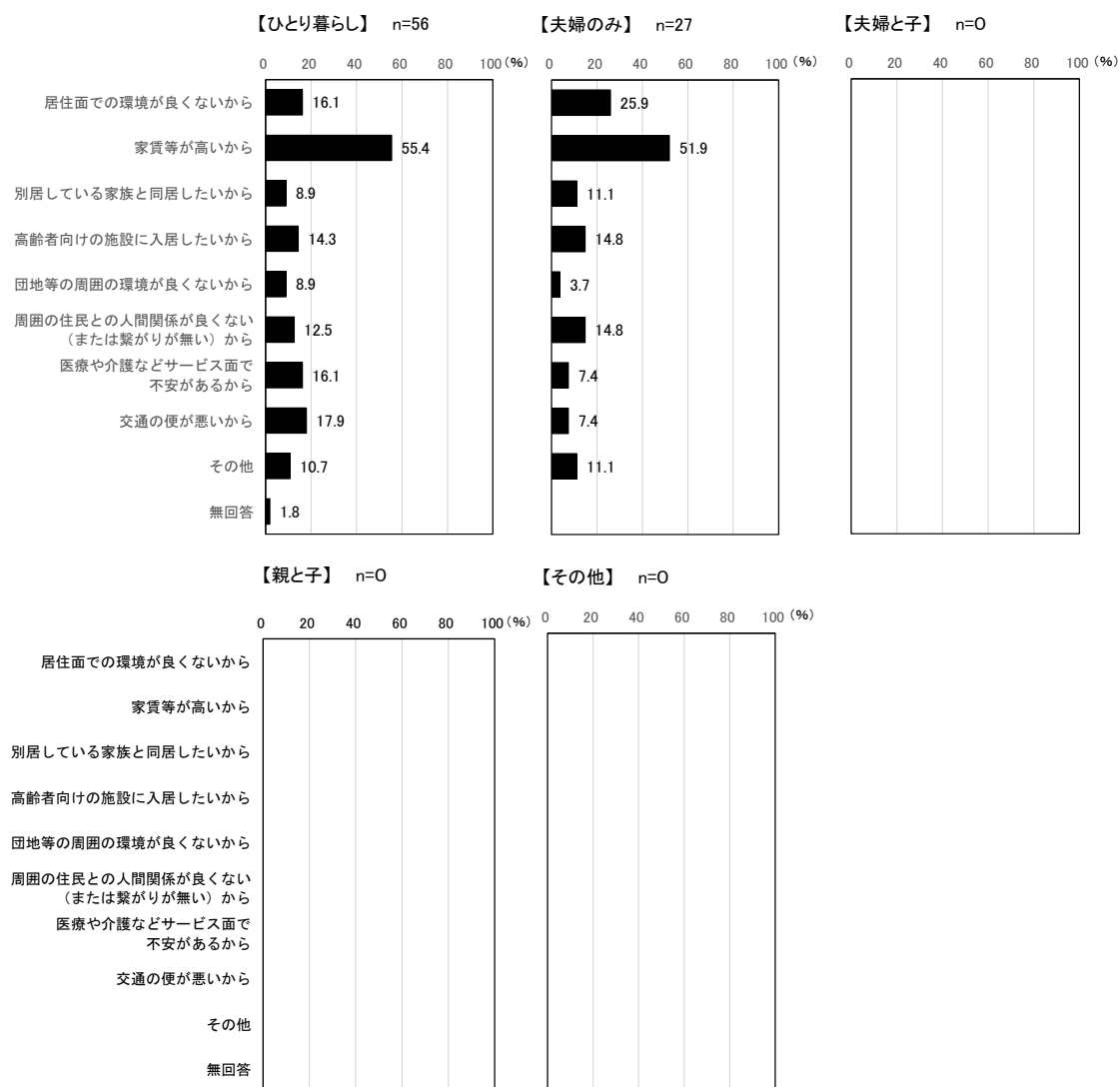
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
設備が古く使いにくい、カビ等劣化している部分がある	5
転勤があるから	2

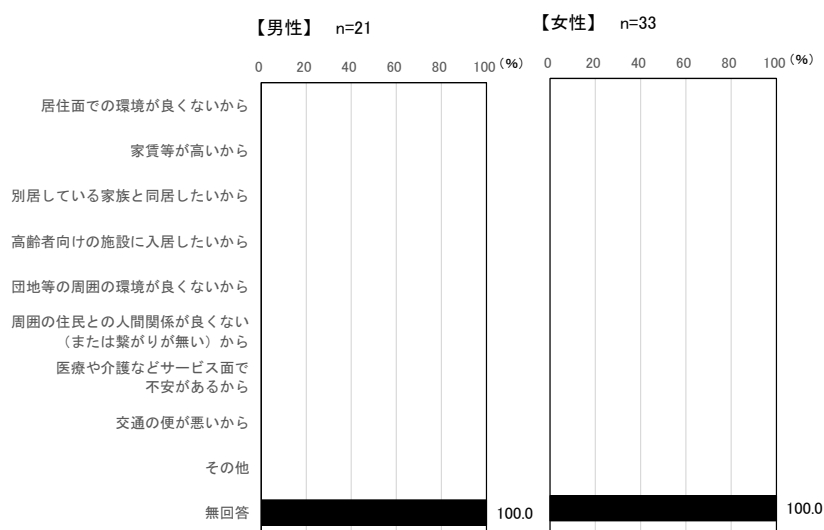
■ 団地別 住み続けたいと思わない理由



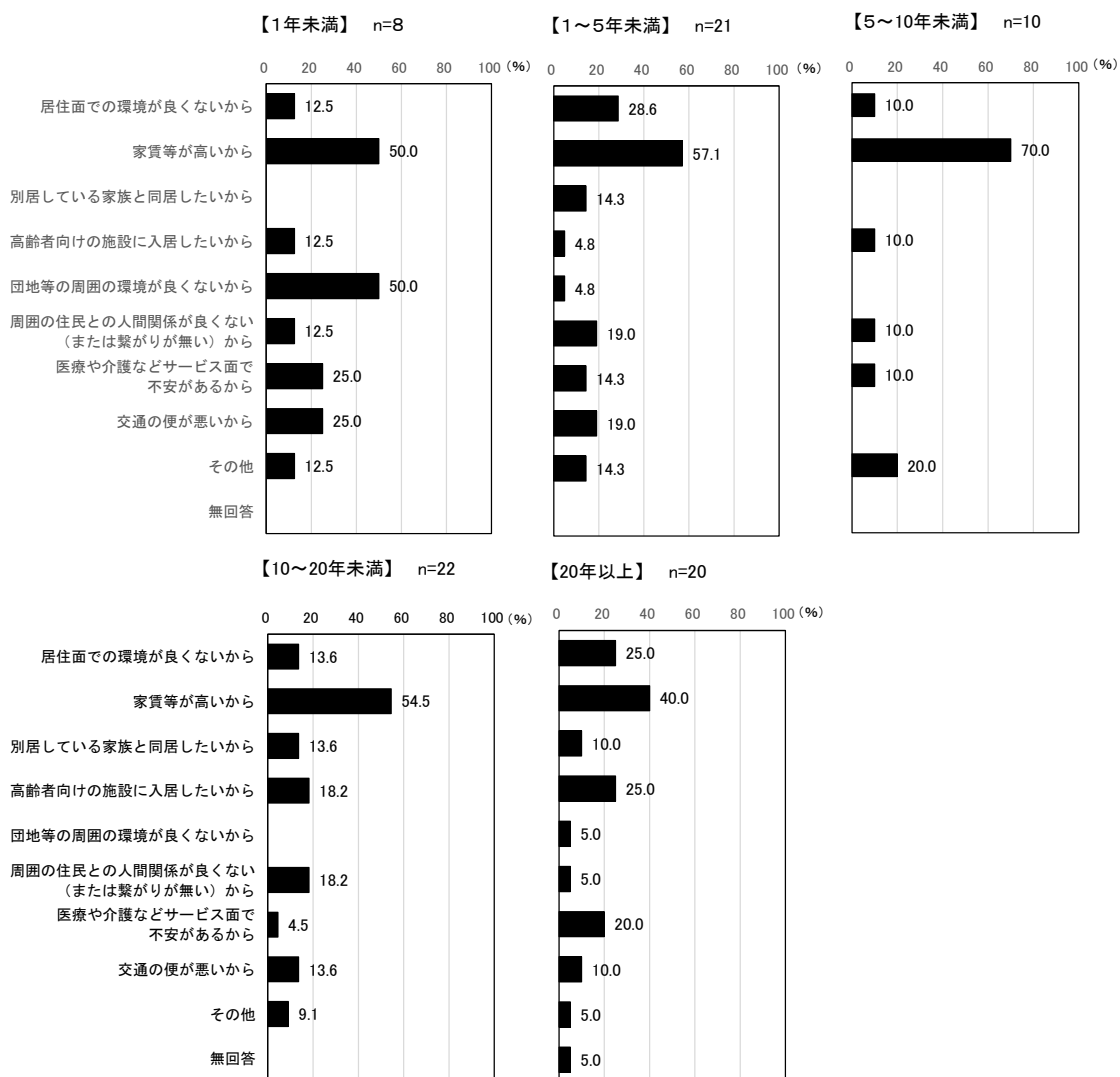
■世帯構成別 住み続けたいと思わない理由



■単身高齢者男女別 住み続けたいと思わない理由



■居住年数別 住み続けたいと思わない理由



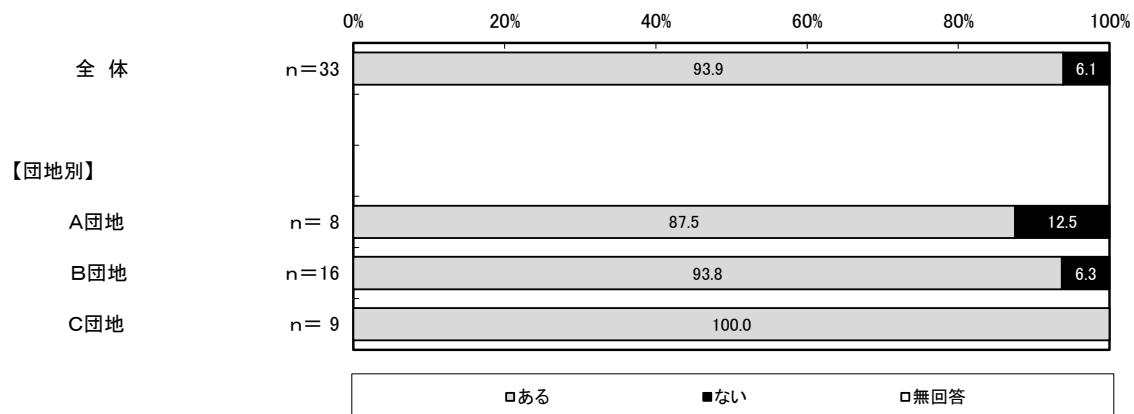
(就学前のご家族がおられる) 全ての方にお尋ねします。

問 25 子育てをされる中で、不便を感じていることはありますか。(〇はひとつ)

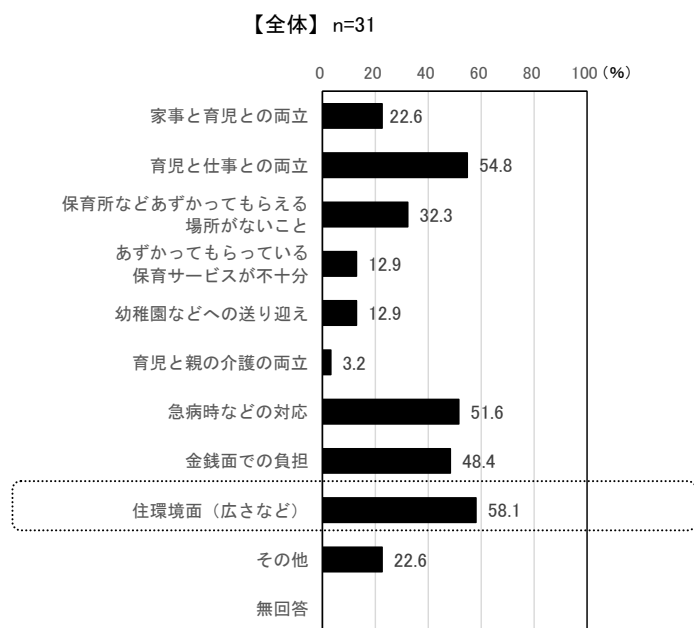
1. ある → 問 26 へお進みください
2. ない → 問 27 へお進みください

- ・子育てでの不便の有無について全体をみると、「ある」が 93.9%、「ない」が 6.1%となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も、「ある」が非常に高くなっている。

■ 子育てでの不便の有無



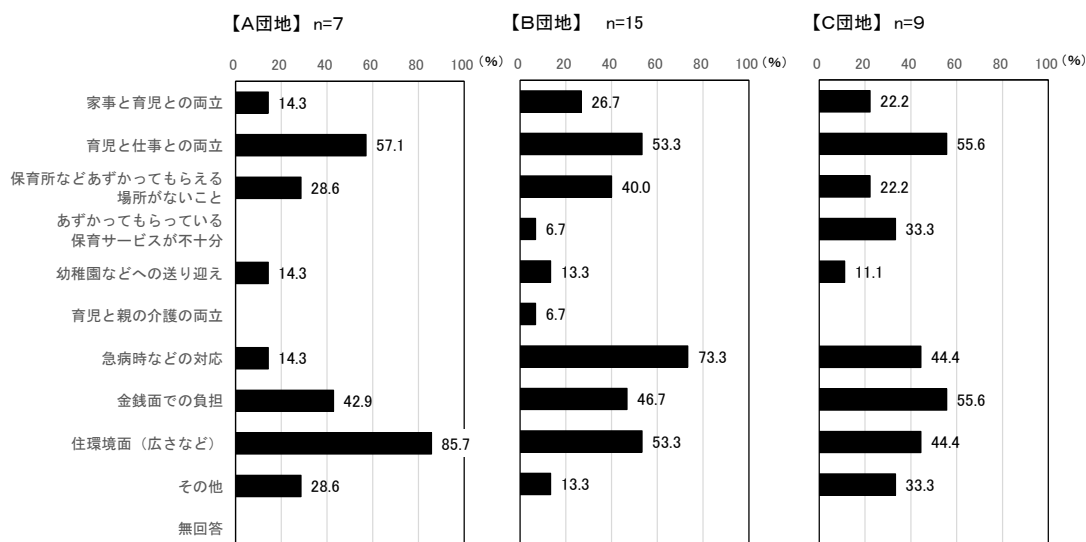
■子育てでの不便の内容



■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
該当項目がない	1
地域コミュニティへの不安、育児の手が足りない事への不安	1
子育て中のママ達と意見交換する場所がない	
近くにとってもよい保育所があるが、一時預かりをしていないので、不便に感じる	1
一時預かりをしたい時は、わざわざ大阪（梅田）まで行っている	
町会のイベント等年寄りが多く、森之宮に子供が全体的に少なくなっている	1
森之宮が高齢化している	
子供が育てにくい性格である	1

■団地別 子育てでの不便の内容



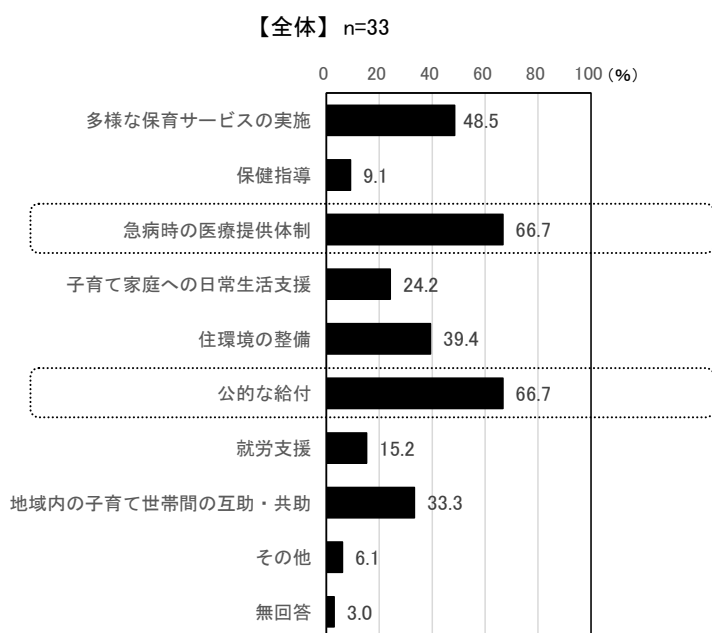
(就学前のご家族がおられる) 全ての方にお尋ねします。

問 27 地域において、どのような子育てサービスや支援があればよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 多様な保育サービスの実施
2. 保健指導
3. 急病時の医療提供体制
4. 子育て家庭への日常生活支援
5. 住環境の整備
6. 公的な給付
7. 就労支援
8. 地域内の子育て世帯間の互助・共助
9. その他 ()

- ・子育てサービスや支援の希望内容について全体をみると、「急病時の医療提供体制」と「公的な給付」が同率で 66.7%と最も高く、次いで、「多様な保育サービスの実施」が 48.5%、「住環境の整備」が 39.4%の順となっている。
- ・団地別にみると、『A 団地』、『C 団地』では、「公的な給付」がそれぞれ 75.0%、66.7%と最も高く、次いで、『A 団地』では、「急病時の医療提供体制」と「住環境の整備」が 50.0%の同率で続いており、『C 団地』では、「多様な保育サービスの実施」が 55.6%で続いている。『B 団地』では、「急病時の医療提供体制」が 87.5%で最も高く、次いで、「公的な給付」が 62.5%で続いている。

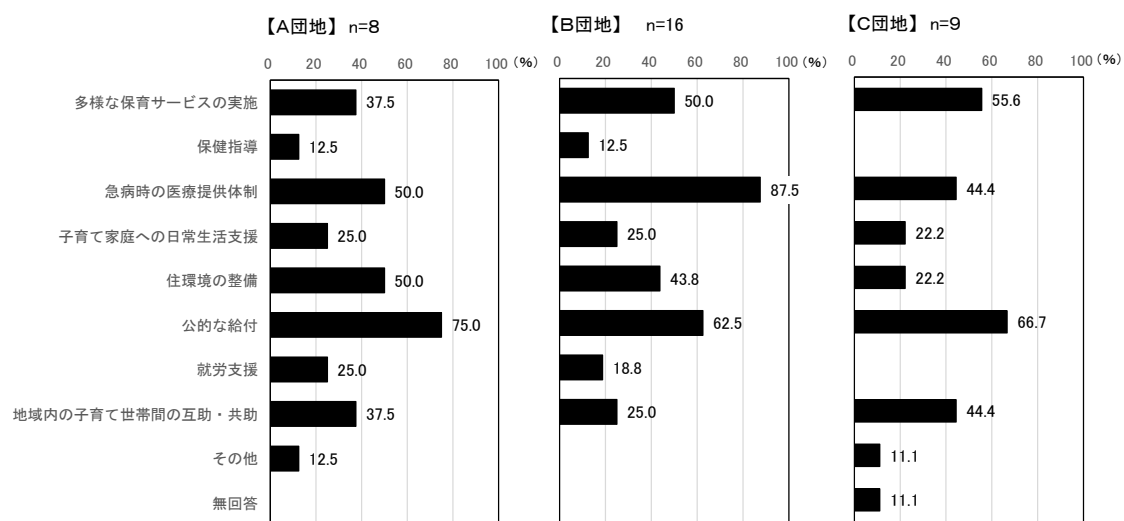
■子育てサービスや支援の希望内容



■その他の内容 (主なもの)

内 容	件数
適切な情報	1
小児科のある総合病院、個人の病院では小さく、処置の対応ができず、たらい回しされる	1
育児支援サービスの充実、急病時の保育サービスの充実	1
家賃の補助	1

■団地別 子育てサービスや支援の希望内容



問 28 今後、子育て世帯が住みやすい地域づくりやまちづくりを進めるために、特に必要だと感じられていることなどご意見があれば、ご自由に記入してください。

全体で 52 件の意見があったが、その主要なものをまとめると以下の通りである。

（１）子育て環境、保育園の整備について

- ・共稼ぎ世帯が増える中で、「認可保育園を増やしてほしい」、「学童保育は時間が短く、夜遅くまで預かってもらえる施設がほしい」など地域の保育施設の充実、「一時保育、夜間保育の受入を増やしてほしい」などサービスの充実、「病児保育を増やしてほしい」、「病児後保育は、高額すぎて使用できない」など病児保育の充実等を望む意見があった。
- ・「子育て家庭の日常生活の支援、家庭教育、育児の重要性を認めて支援してほしい（稼ぐより家にいて子育ての方が、国からの援助が頂ける様に）」など家庭内育児への支援を望む意見があった。
- ・「登下校での子供達への見守りを地域で行ってほしい」など通学時の見守りの要望があった。

（２）住宅・住環境の充実について

- ・「狭いため、子供が大きくなると、他の地区に引越す人が多い」など住宅そのものが狭さへの不満、「気軽に集まれる場所（児童館など）をつくってほしい」など住民や子どもが自由に集まれる場所の要望、「団地の建替え時に空き地を活用し、高齢者向きと子育て世代向、外国人向、用途を分けた建物にしてはどうか」など空地の活用に対する提案があった。また、「防犯カメラを設置してほしい」など地区の防犯対策、「地域内で不審者が目撃され、不安である」など治安上の不安をうったえる声もあった。
- ・「家賃を下げる等、若い世帯が入居しやすい環境づくり」など家賃に対する要望があった。
- ・「自転車のマナーが悪すぎるため、歩道の整備（特に歩道と自転車道の区分け）」、「町中の道路にガードレールをつけてほしい」など生活道路に対する要望があった。

（３）日常生活関連施設について

- ・「スーパーや銀行が近くにないこと」、「コンビニや喫茶店が団地内にほしいこと」など日常生活上の商業関連施設の充実を望む声があった。また、「休日、夜間の病院が近くにないのでつくってほしい」など急病時や休日・夜間の病気に対する受け入れ病院の希望もあった。
- ・「安全、清潔な公園や図書館など屋内、外施設の充実」など子ども達が利用する施設の充実を望む声があった。

（４）団地コミュニティについて

- ・高齢者が多いことから、「高齢者がはばを効かせたコミュニティになっている」、「高齢者よりに目を向けている政策を子育て世代など若い人達の方にも目を向けてほしい」など若い人達への配慮を望む意見、「高齢者と子供達の交流の場を集会所等で作る取り組みをしてほしい」など若い人や子どもに対して気配りのあるコミュニティ形成を望む声があった。
- ・「同じ子育てをされている方との情報交換の場がほしい」など子育て世代の交流コミュニティづくりへの要望があった。

全ての方にお尋ねします。

問 29 地域活動協議会を知っていますか。(〇はひとつ)

1. よく知っている	3. 少し知っている
2. 知っている	4. 知らない

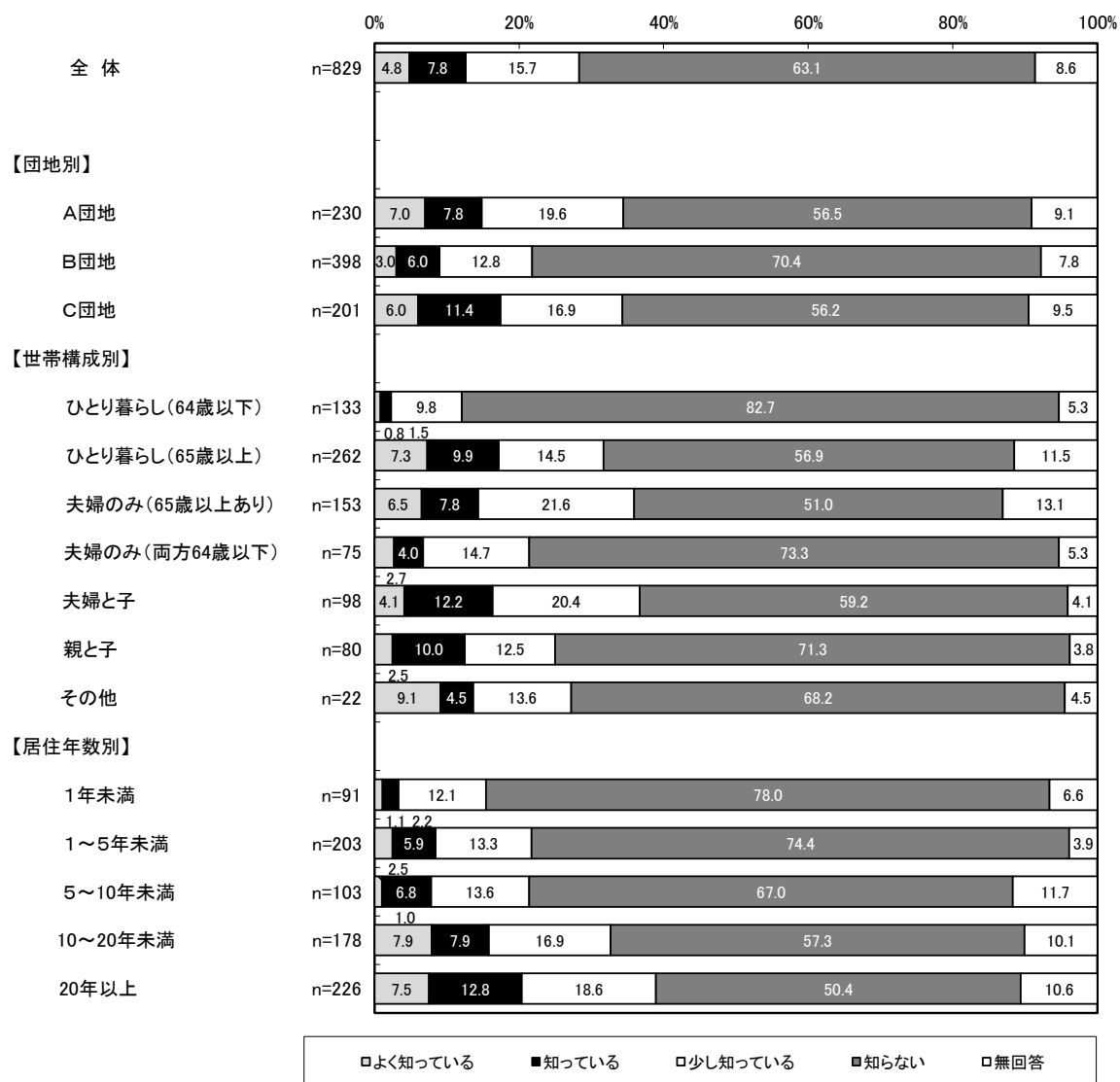
- ・地域活動協議会の認知について全体をみると、“知っている”（「よく知っている」、「知っている」、「少し知っている」）が 28.3%、「知らない」が 63.1%となっている。
- ・団地別にみると、『C 団地』では、“知っている”が 34.3%となっているが、『B 団地』では、同 21.8%とその他の団地と比べると低くなっており、『C 団地』と『B 団地』との差は、12.5 ポイントとなっている。
- ・世帯構成別にみると、『夫婦と子』では、“知っている”が 36.7%となっているが、『ひとり暮らし（64 歳以下）』では、同 12.1%とその他の世帯構成と比べると低くなっており、その差は、24.6 ポイントとなっている。
- ・居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれ、“知っている”の割合が高くなる傾向があり、『20 年以上』の“知っている”38.9%と『1 年未満』の同 15.4%との差は、23.5 ポイントとなっている。

〈世帯構成 7 区分について〉

アンケート票では世帯構成区分は、15 区分に分けたが、該当する票が 0 であったり 1 ケタであったり等、クロス集計上無理が発生するため、問 29～問 35 は 7 区分（無回答を除く）で集計を行った。（下記参照）

世帯構成区分	ひとり暮らし（64 歳以下）	ひとり暮らし（65 歳以上）	夫婦のみ（65 歳以上あり）	夫婦のみ（両方 64 歳以下）	夫婦と子（5 歳以下の子ともあり）	夫婦と子（子どもは全て 6 歳以上）	親と子（父子または母子家庭 5 歳以下の子ともあり）	親と子（父子または母子家庭子どもは全て 6 歳以上）	祖父母と孫（両方または一方が 65 歳以上で 5 歳以下子どもあり）	祖父母と孫（両方または一方が 65 歳以上で子どもは全て 6 歳以上）	祖父母と孫（両方 64 歳以下で 5 歳以下子どもあり）	祖父母と孫（両方 64 歳以下で子どもは全て 6 歳以上）	二世代世帯（親と子ども夫婦）	三世代世帯（祖父母いずれかと親と子ども）	その他（四世代世帯、養子など）	無回答
世帯構成 7 区分	ひとり暮らし（64 歳以下）	ひとり暮らし（65 歳以上）	夫婦のみ（65 歳以上あり）	夫婦のみ（両方 64 歳以下）	夫婦と子	夫婦と子	親と子	親と子	祖父母と孫	祖父母と孫	祖父母と孫	祖父母と孫	二世代世帯	三世代世帯	その他	無回答

■ 地域活動協議会の認知

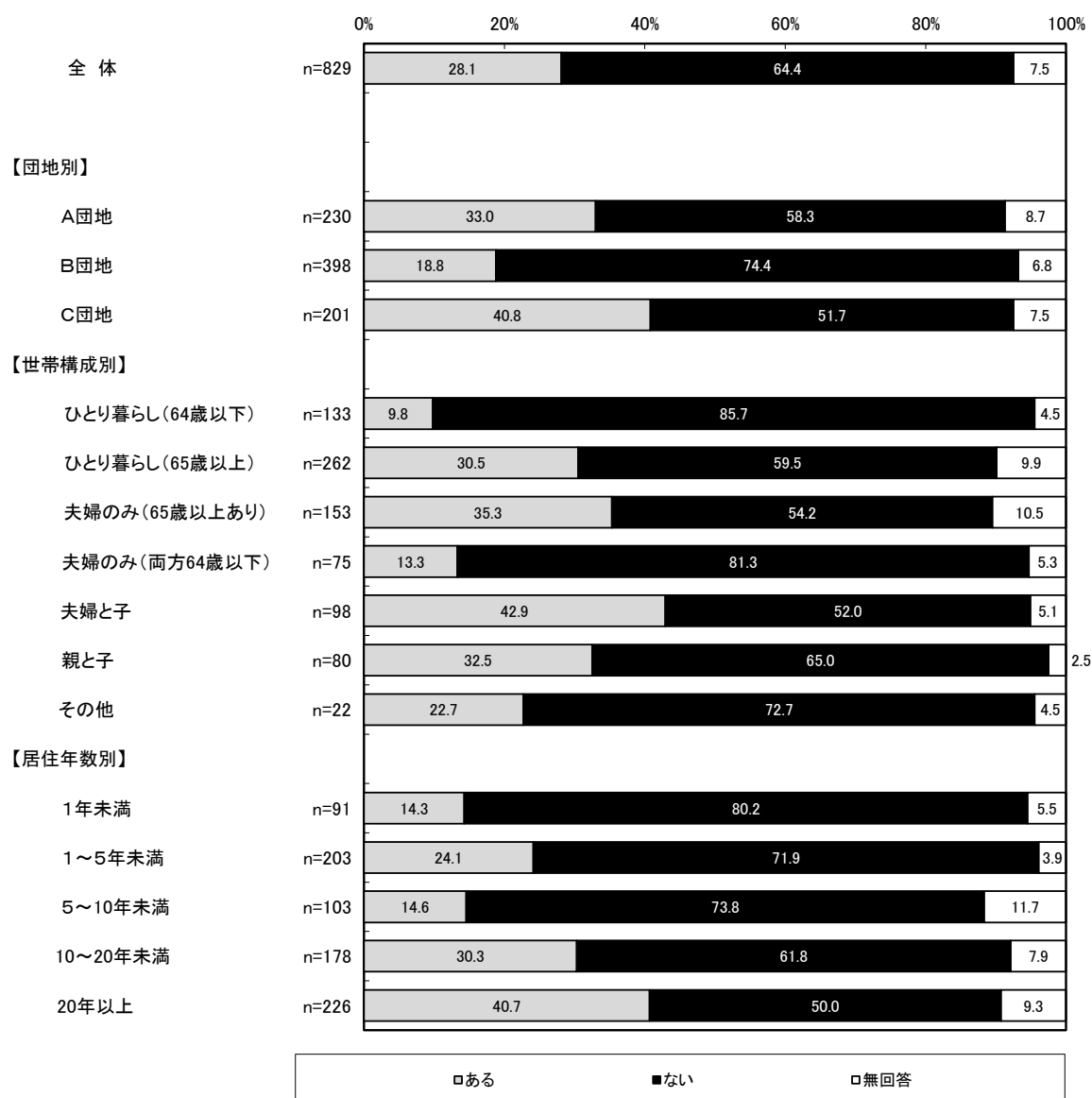


問 30 ここ5年間に地域での活動などに参加されたことはありますか。(〇はひとつ)

1. ある → 問 31 へお進みください
2. ない → 問 32 へお進みください

- ・過去5年間の地域活動への参加の有無について全体をみると、「ない」が64.4%、「ある」が28.1%となっている。
- ・団地別にみると、『C団地』では、「ある」が40.8%と高く、『B団地』では、同18.8%とその他の団地と比べると低くなっており、『C団地』と『B団地』との差は、22.0ポイントとなっている。
- ・世帯構成別にみると、『夫婦と子』では、「ある」が42.9%とその他の世帯構成と比べると高くなっており、一方、『ひとり暮らし(64歳以下)』では9.8%と低く、その差は、33.1ポイントとなっている。
- ・居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれ、「ある」の割合が高くなる傾向があり、『20年以上』では、「ある」が40.7%と他の居住年数よりも高くなっているが、『1年未満』では14.3%と低くなっており、その差は26.4ポイントとなっている。

■ 過去5年間の地域活動への参加の有無

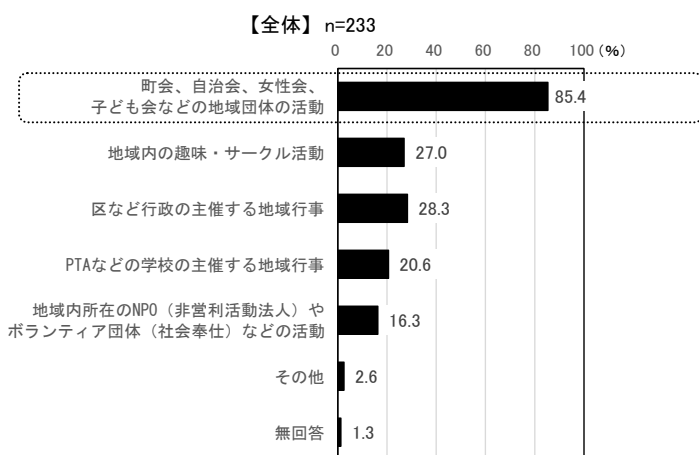


問31 それは、どのような活動に参加されましたか。(〇はいくつでも)

1. 町会、自治会、女性会、子ども会などの地域団体の活動
2. 地域内の趣味・サークル活動
3. 区など行政の主催する地域行事
4. PTA などの学校の主催する地域行事
5. 地域内に所在する NPO（非営利活動法人）やボランティア団体（社会奉仕）などの活動
6. その他（ ）

- 116

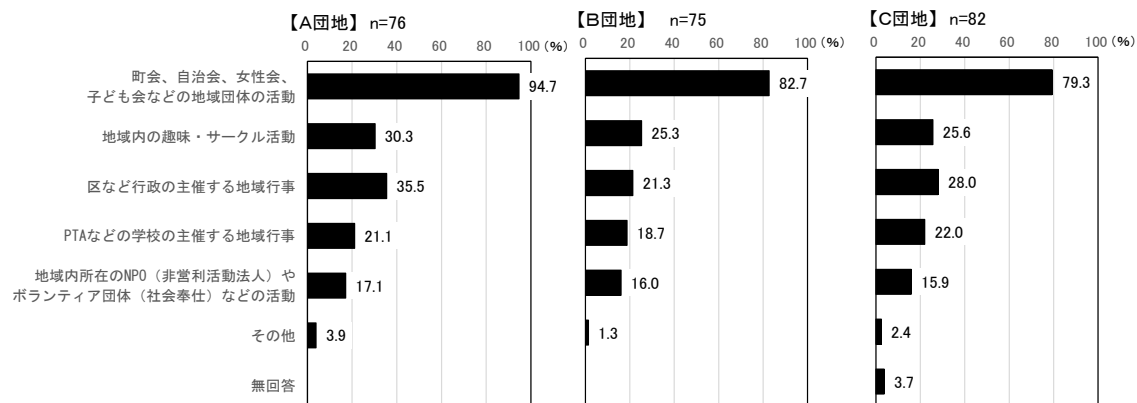
■参加した地域活動の内容



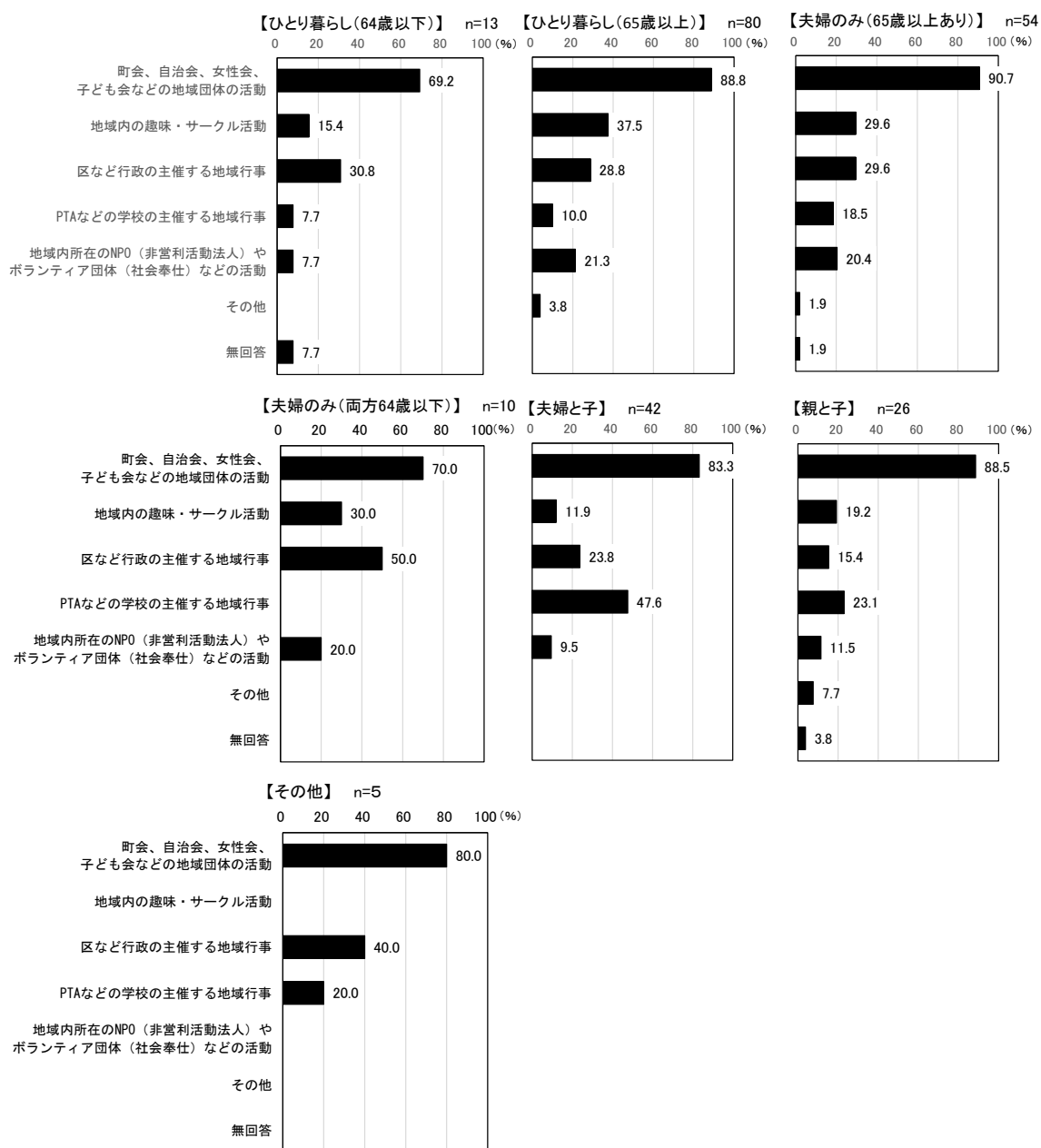
■その他の内容（主なもの）

内 容	件数
独自での地域活動、清掃活動。	1
敬老会、老人会に出席した。	1
自転車でプール等に週 2 ～ 3 回行っている。	1
身体的な理由もありますが、行事等の詳細がわかりにくい点が、参加回数の少なさに繋がっています。	1
障害者に対する応援の街頭募金。	1
コンサートへの参加。	1

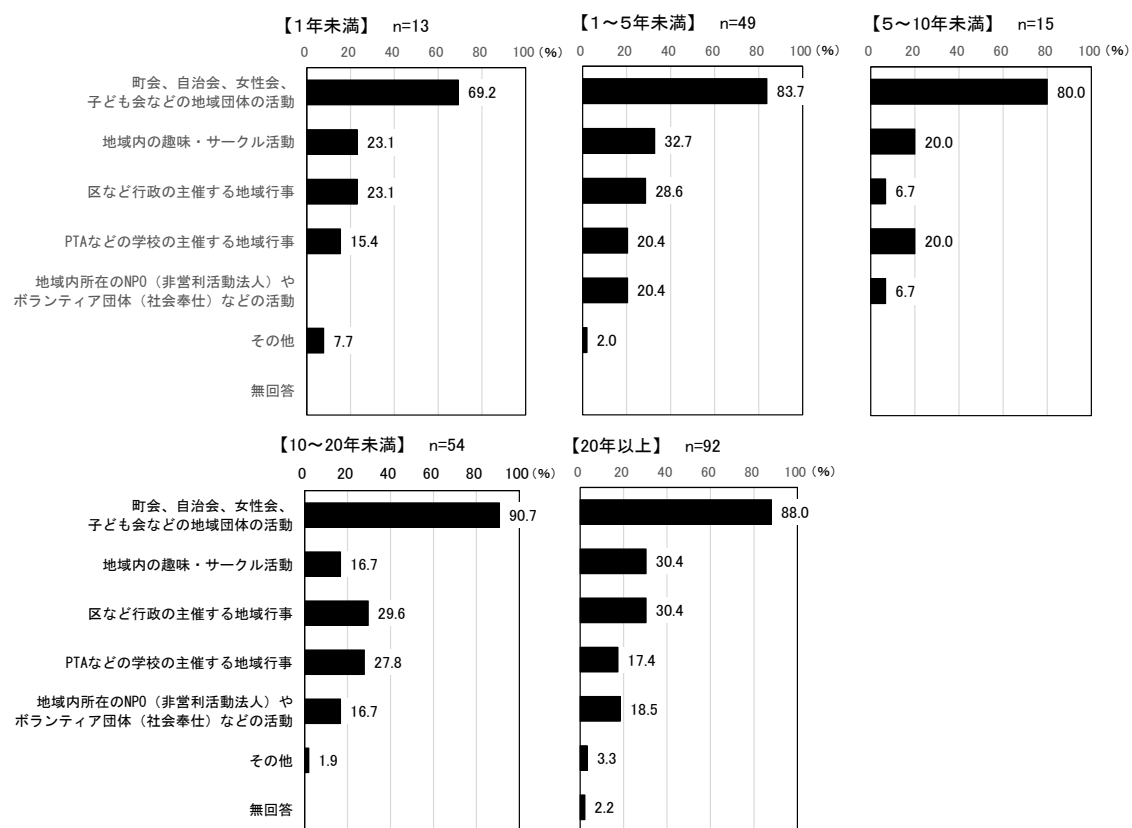
■団地別 参加した地域活動の内容



■世帯構成別 参加した地域活動の内容



■居住年数別 参加した地域活動の内容



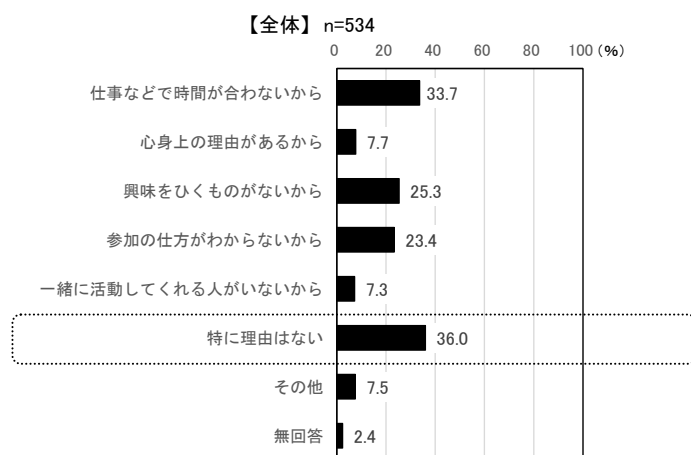
問30で「2. ない」とお答えの方にお尋ねします。

問32 参加されていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 仕事などで時間が合わないから
2. 心身上の理由があるから
3. 興味をひくものがないから
4. 参加の仕方がわからないから
5. 一緒に活動に参加してくれる人がいないから
6. 特に理由はない
7. その他 ()

- ・地域活動不参加の理由について全体をみると、「特に理由はない」が 36.0%と最も高く、次いで、「仕事などで時間が合わないから」が 33.7%、「興味をひくものがないから」が 25.3%の順となっている。
- ・団地別にみると、『A 団地』、『C 団地』では、「特に理由はない」が最も高く、次いで、「仕事などで時間が合わないから」の順となっているが、その次については、『A 団地』では、「興味をひくものがないから」が続き、『C 団地』では、「参加の仕方がわからないから」が続いている。一方、『B 団地』では、「仕事などで時間が合わないから」が 36.1%で最も高く、次いで、「特に理由はない」が 33.8%、「興味をひくものがないから」が 26.4%で続いている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし（64 歳以下）』、『夫婦のみ（両方 64 歳以下）』では、「仕事などで時間が合わないから」が最も高く、次いで、『ひとり暮らし（64 歳以下）』では、「特に理由はない」が、『夫婦のみ（両方 64 歳以下）』では、「参加の仕方がわからないから」が続いている。一方、『ひとり暮らし（65 歳以上）』、『夫婦のみ（65 歳以上あり）』では、「特に理由はない」が最も高く、次いで、「興味をひくものがないから」の順となっている。『夫婦と子』では、「仕事などで時間が合わないから」が最も高く、次いで、「特に理由はない」の順となっており、『親と子』では、「仕事などで時間が合わないから」と「特に理由はない」が 40.4%の同率で最も高くなっている。
- ・居住年数別にみると、“5 年未満”（『1 年未満』、『1～5 年未満』）では、「仕事などで時間が合わないから」が最も高くなっているが、“5 年以上”（『5～10 年未満』、『10～20 年未満』、『20 年以上』）では、「特に理由はない」が最も高くなっている。

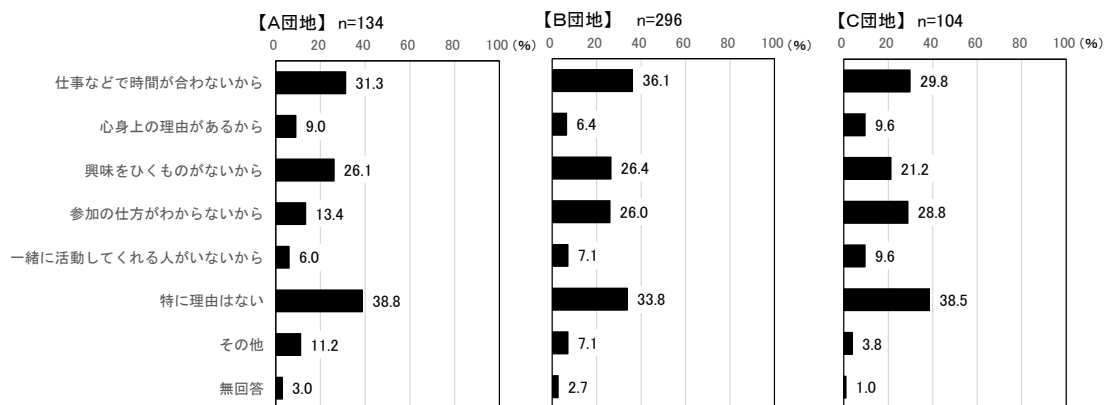
■ 地域活動不参加の理由



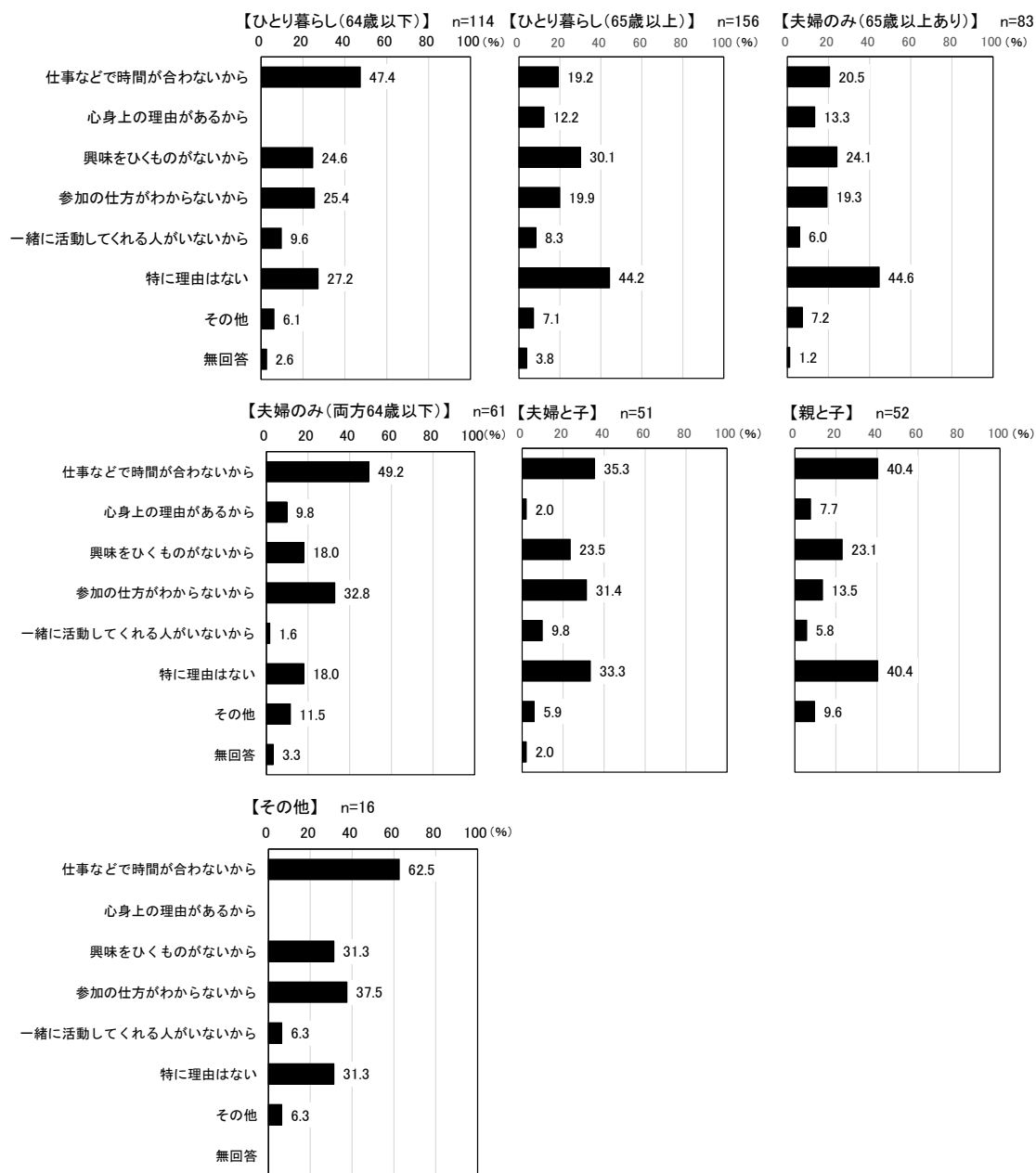
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
そういうものがある事を知らなかった	16
具体的な情報が届かない	3
かかわりたくない	2
高齢だから	2

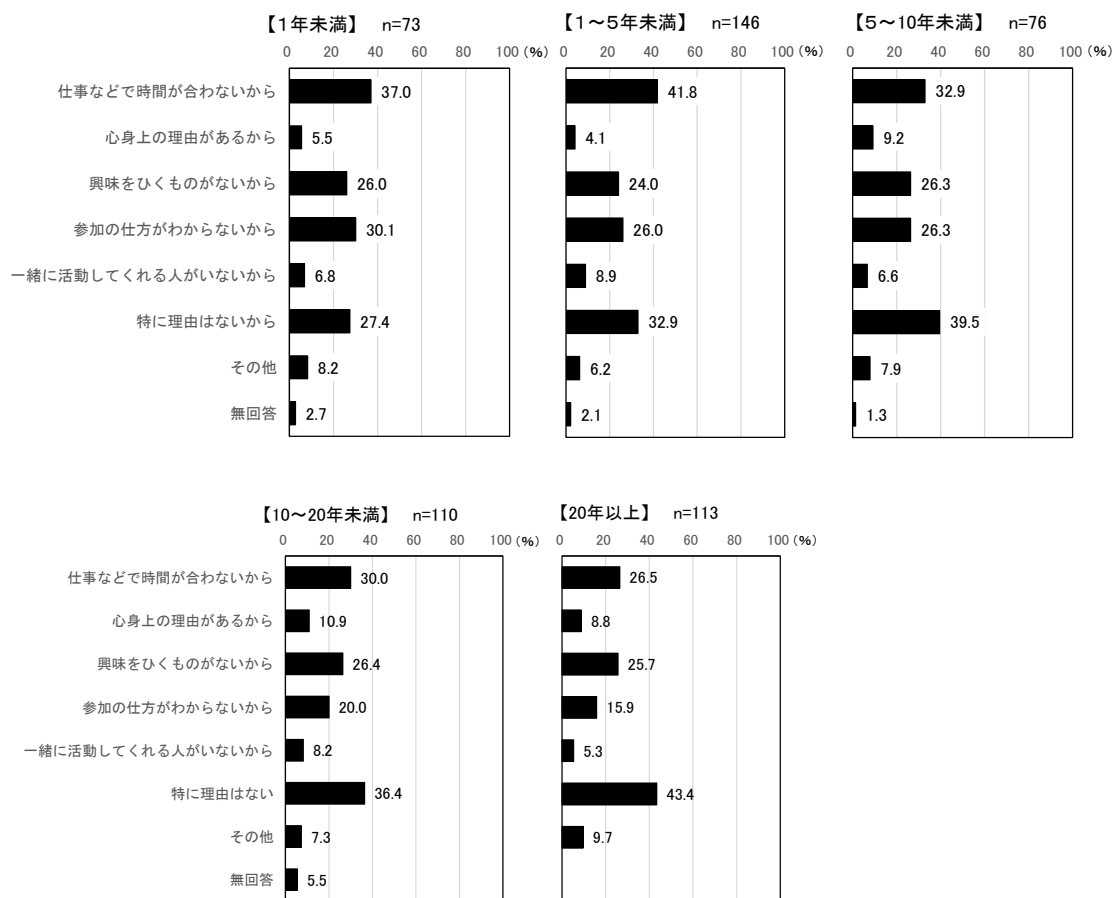
■ 団地別 地域活動不参加の理由



■世帯構成別 地域活動不参加の理由



■居住年数別 地域活動不参加の理由



全ての方にお尋ねします。

問 33 町会に加入されていますか。(○はひとつ)

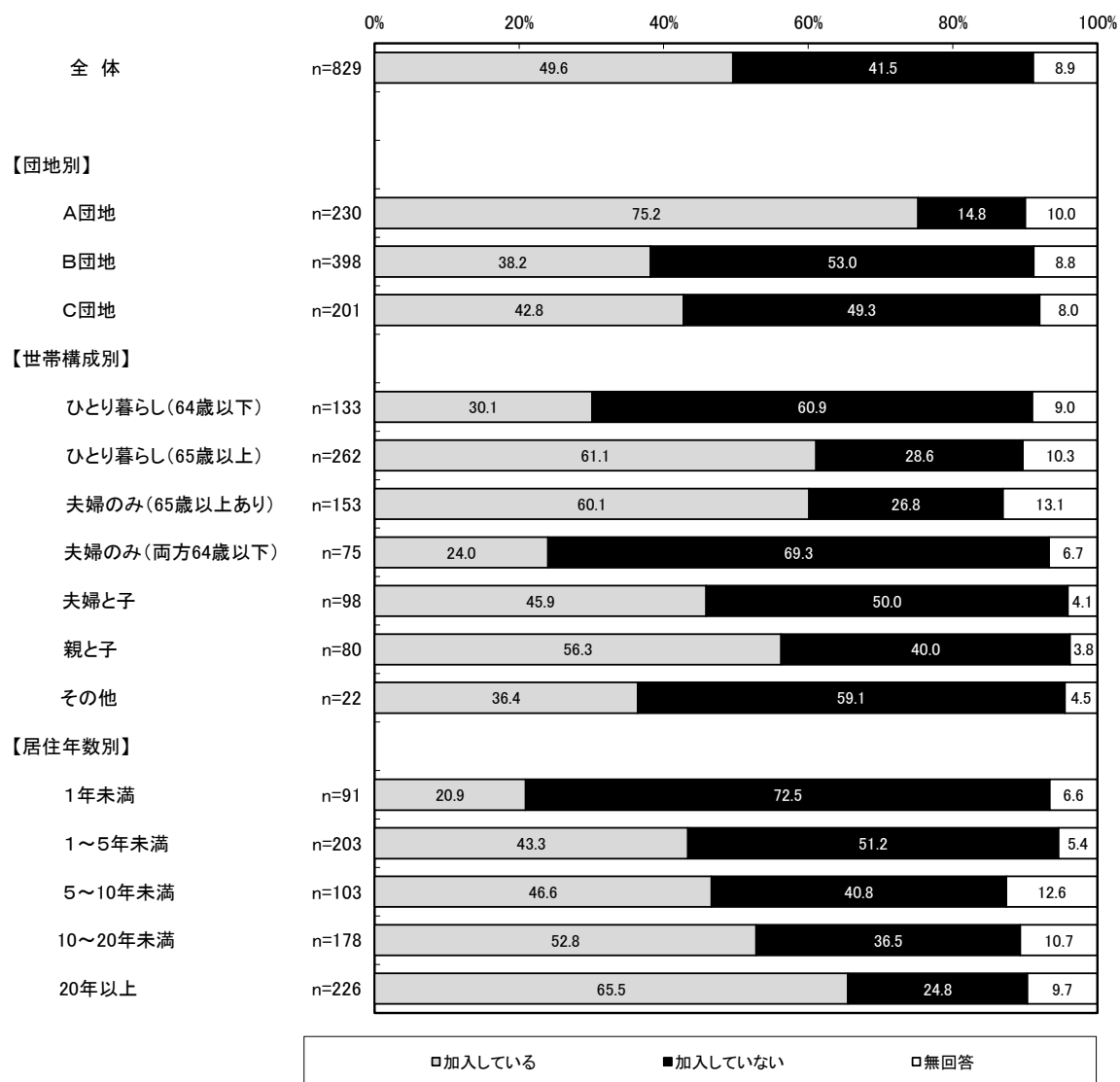
1. 加入している

2. 加入していない(理由:

)

- ・町会への加入の有無について全体をみると、「加入している」が 49.6%、「加入していない」が 41.5%となっている。
- ・団地別にみると、『A 団地』では、「加入している」が 75.2%と他の団地と比べて高くなっており、一方、『B 団地』では、同 38.2%と低く、その差は、37.0 ポイントとなっている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし(65 歳以上)』、『夫婦のみ(65 歳以上あり)』では、「加入している」がそれぞれ 61.1%、60.1%と他の世帯構成に比べて高くなっており、一方、『ひとり暮らし(64 歳以下)』、『夫婦のみ(両方 64 歳以下)』では、それぞれ 30.1%、24.0%と低く、最も高い『ひとり暮らし(65 歳以上)』と最も低い『夫婦のみ(両方 64 歳以下)』との差は、37.1 ポイントとなっている。
- ・居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれ、「加入している」の割合が高くなる傾向があり、『20 年以上』では、「加入している」が 65.5%と高くなっており、『1 年未満』では、同 20.9%と低く、その差は 44.6 ポイントとなっている。

■ 町会への加入の有無



■ 加入していない理由（主なもの）

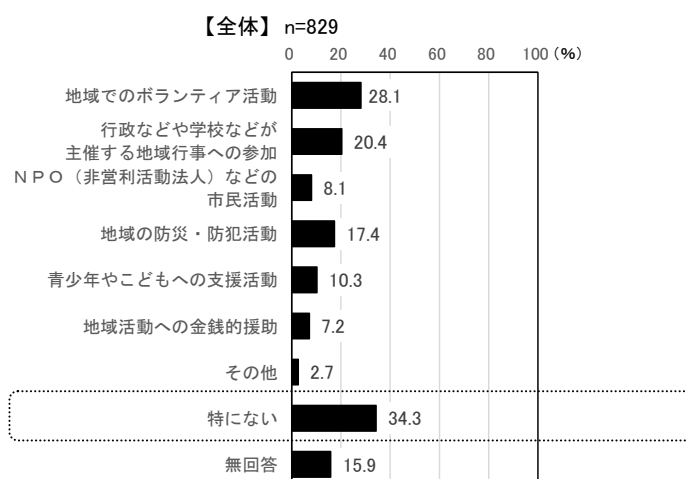
内 容	件数
知らない、何も言っていない、勧めてくれない、入居時説明なし	21
マンション自体が未加入、加入方法がわからない、加入したくない	20
加入のメリットが不明、加入する必要、理由が思い当たらない	10

問 34 だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、住民をはじめ地域にかかわる人々が力を合わせながら、ともに地域社会を支えあっていくことがより求められていますが、あなたが地域で貢献できると活動（現在活動しているものを含む）はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

1. 地域でのボランティア活動
2. 行政などや学校などが主催する地域行事への参加
3. NPO（非営利活動法人）などの市民活動
4. 地域の防災・防犯活動
5. 青少年やこどもへの支援活動
6. 地域活動への金銭的支援
7. その他（ ）
8. 特にない

- ・地域で貢献できると思う活動内容について全体をみると、「特にない」が 34.3%と最も高く、次いで、「地域でのボランティア活動」が 28.1%、「行政などや学校などが主催する地域行事への参加」が 20.4%の順となっている。
- ・団地別にみると、『A 団地』、『B 団地』では、「特にない」がそれぞれ 34.8%、36.4%と最も高くなっており、次いで、「地域でのボランティア活動」がそれぞれ 29.1%、25.9%と続いている。『C 団地』では、「地域でのボランティア活動」が 31.3%で最も高く、次いで、「特にない」が 29.4%で続いている。
- ・世帯構成別にみると、『ひとり暮らし（64歳以下）』、『ひとり暮らし（65歳以上）』、『夫婦のみ（65歳以上あり）』『親と子』、『その他』では、「特にない」が最も高くなっているが、『夫婦のみ（両方 64歳以下）』では、「地域でのボランティア活動」が、『夫婦と子』では、「行政などや学校などが主催する地域行事への参加」が最も高くなっている。
- ・居住年数別にみると、“1年以上”（『1～5年未満』、『5～10年未満』、『10～20年未満』、『20年以上』）では、「特にない」が最も高くなっているが、『1年未満』では、「行政などや学校などが主催する地域行事への参加」が最も高くなっている。

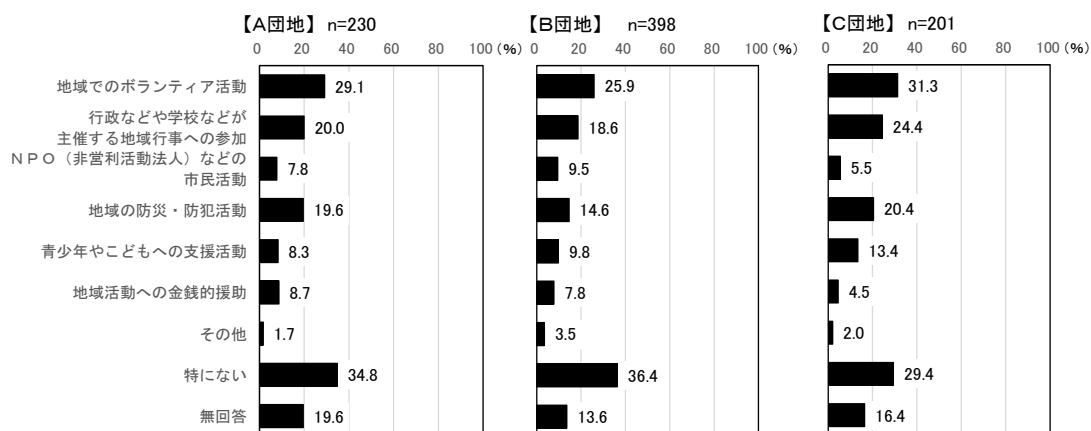
■ 地域で貢献できると思う活動内容



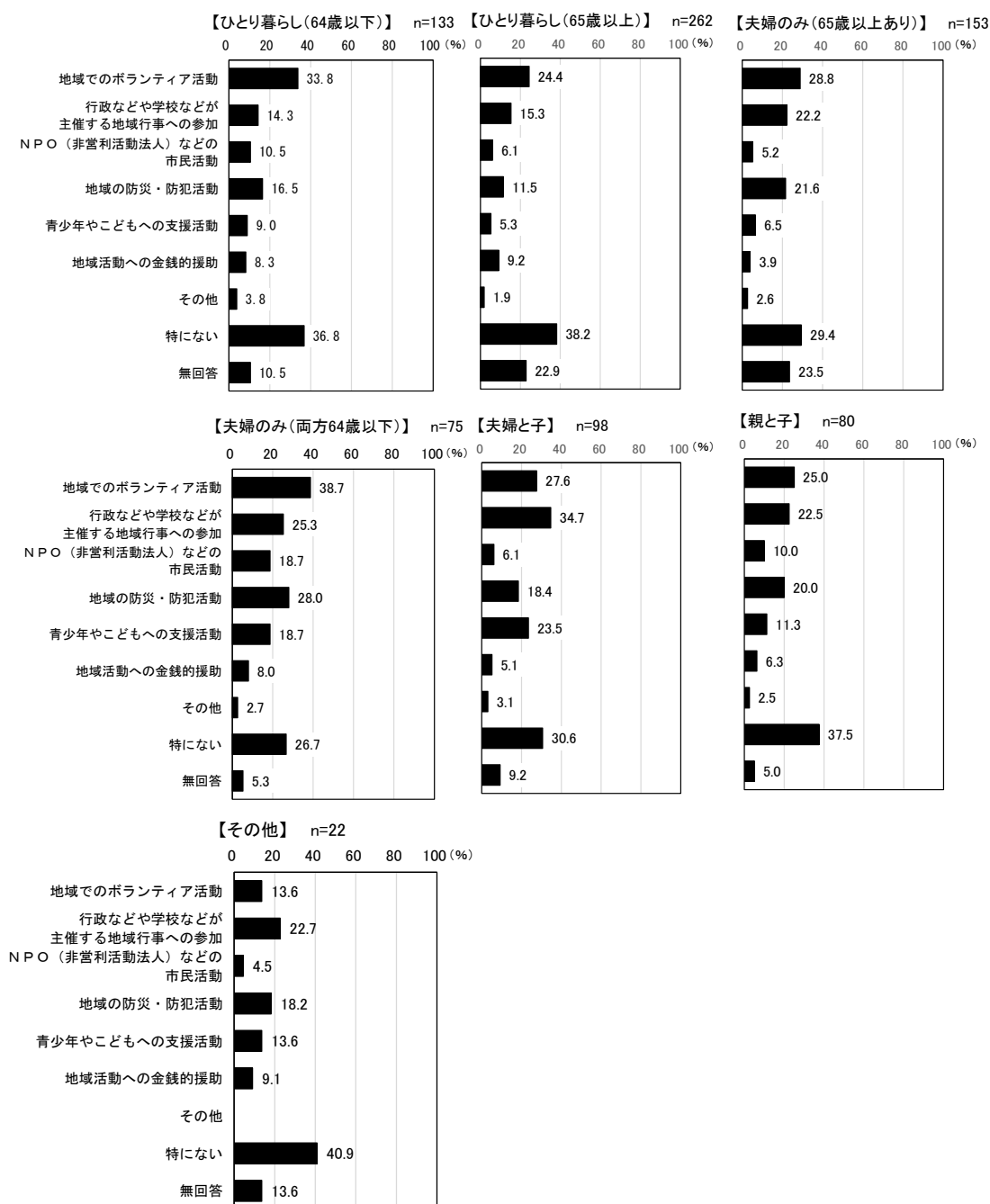
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
順番に回ってくると思っている（班長当番）	3

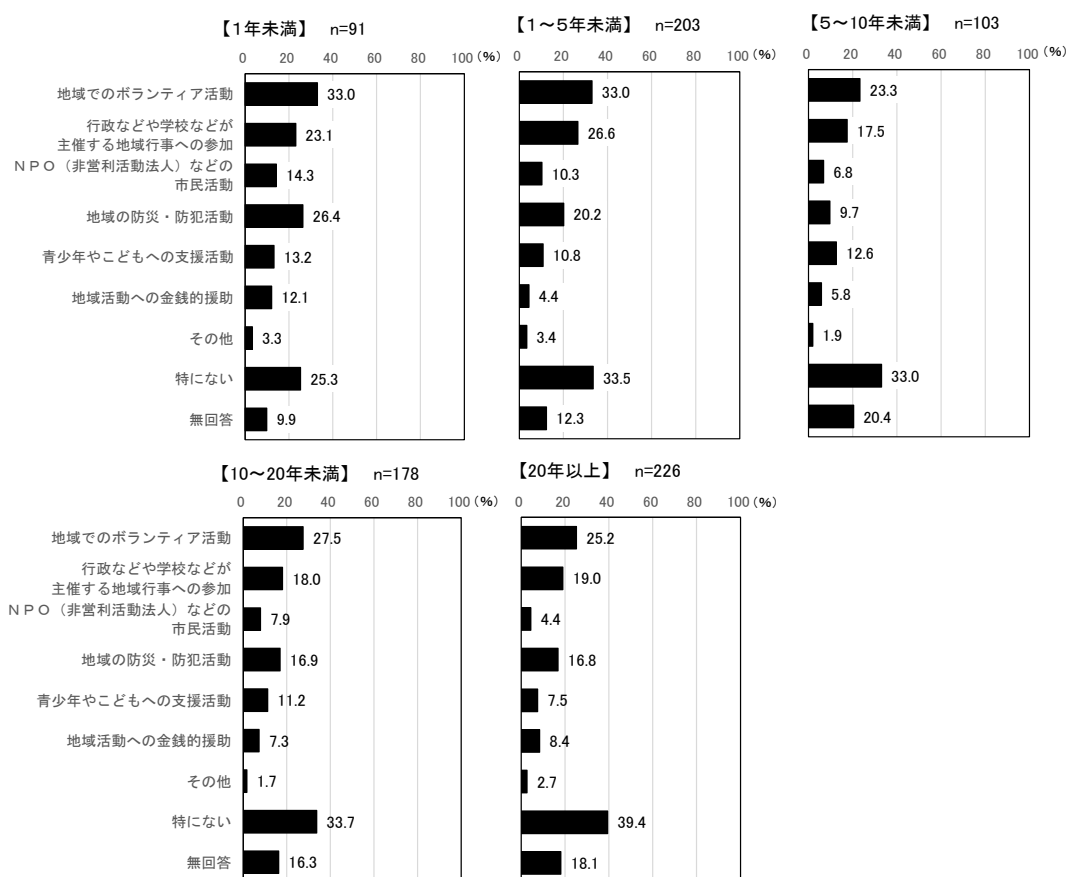
■ 団地別 地域で貢献できると思う活動内容



■世帯構成別 地域で貢献できると思う活動内容



■居住年数別 地域で貢献できると思う活動内容



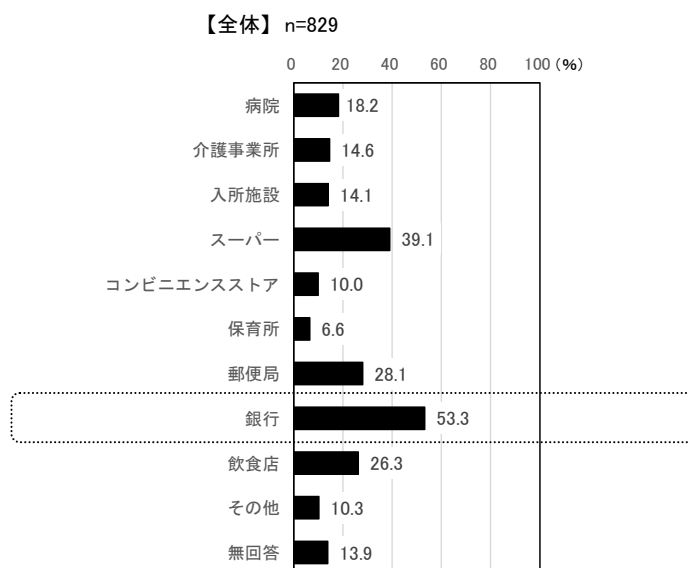
全ての方にお尋ねします。

問 35 森之宮地域にあればより住みやすくなるサービスはありますか。(○はいくつでも)

1. 病院	6. 保育所
2. 介護事業所	7. 郵便局
3. 入所施設	8. 銀行
4. スーパー	9. 飲食店
5. コンビニエンスストア	10. その他 ()

- ・森之宮地域をより住みやすくするサービスについて全体をみると、「銀行」が 53.3%と最も高く、次いで、「スーパー」が 39.1%、「郵便局」が 28.1%の順となっている。
- ・団地別にみると、いずれの団地も、「銀行」が最も高くなっており、次いで、『B 団地』、『C 団地』では、「スーパー」が続き、『A 団地』では、「郵便局」が続いている。
- ・世帯構成別にみると、いずれも、「銀行」が最も高く、次いで、「スーパー」の順となっているが、その次については、『ひとり暮らし（64 歳以下）』、『ひとり暮らし（65 歳以上）』、『夫婦のみ（65 歳以上あり）』では、「郵便局」が続き、『夫婦のみ（両方 64 歳以下）』、『夫婦と子』、『その他』では、「飲食店」が続いている。また、『親と子』では、「郵便局」と「飲食店」が同率で続いている。
- ・居住年数別にみると、いずれの居住年数も、「銀行」が最も高く、次いで、「スーパー」の順となっているが、その次については、『1 年未満』、『1～5 年未満』、『20 年以上』では、「郵便局」が続き、『5～10 年未満』、『10～20 年未満』では、「飲食店」が続いている。

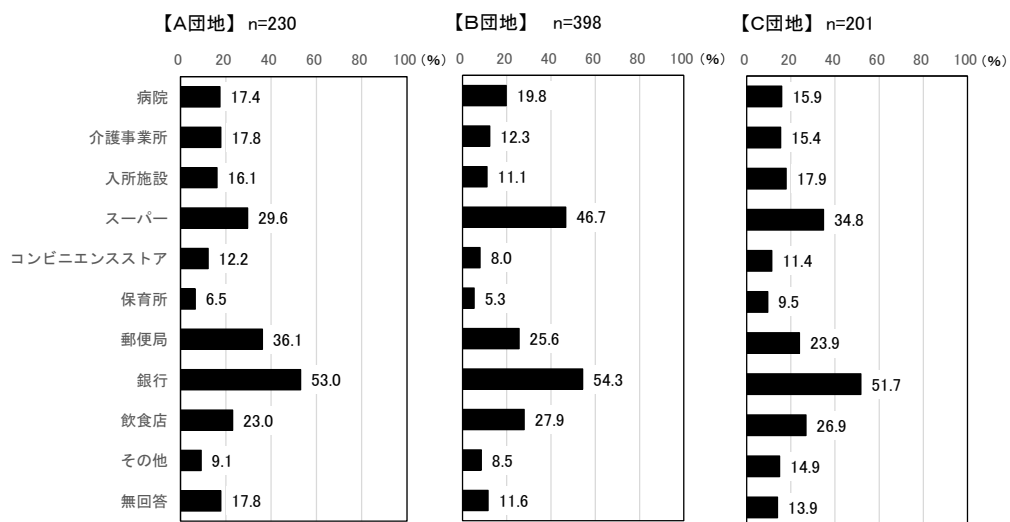
■ 森之宮地域をより住みやすくするサービス



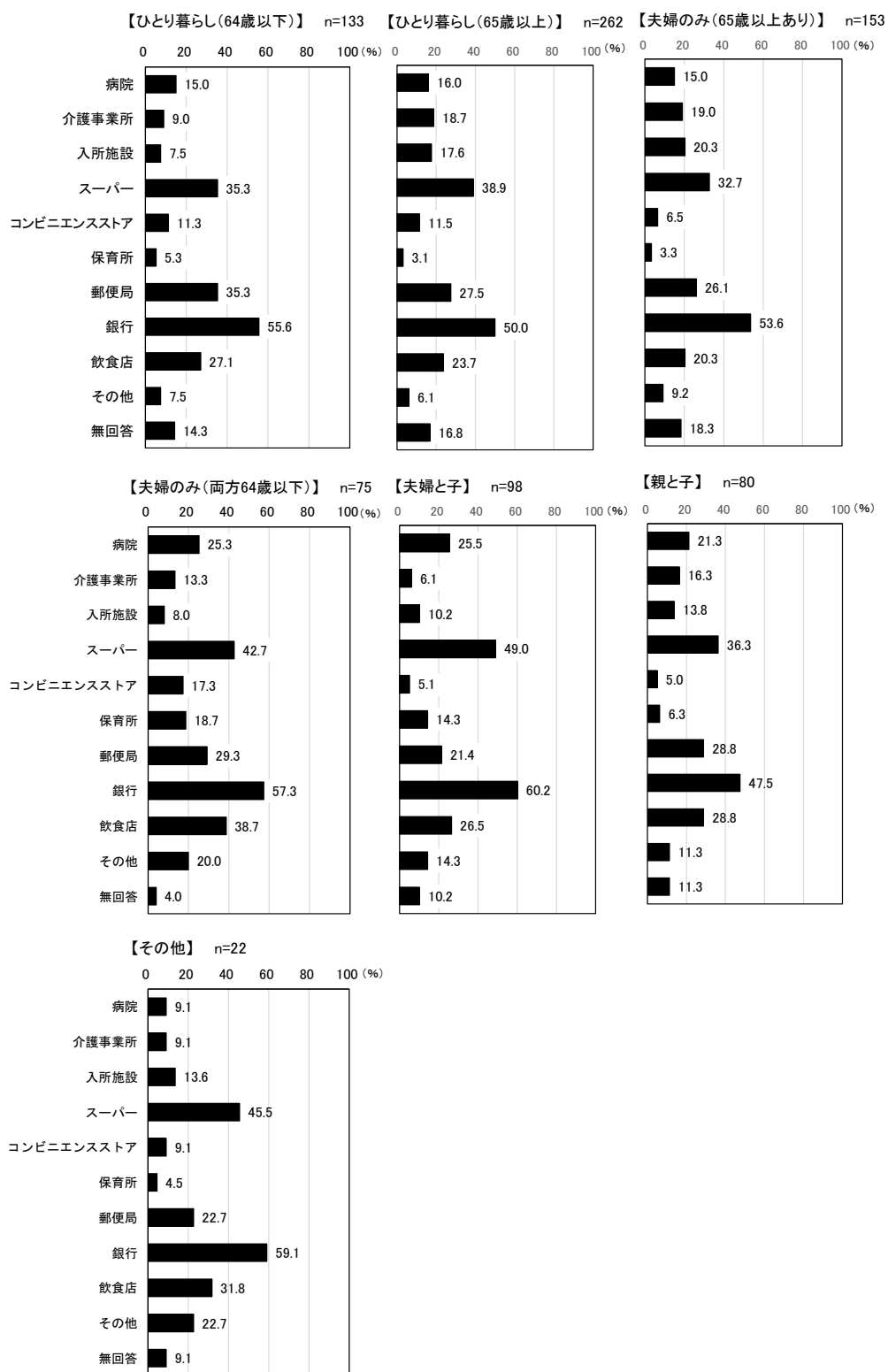
■ その他の内容（主なもの）

内 容	件数
公園・図書館・交番・郵便局	24
大型商業施設・飲食店・娯楽施設	15
レンタルビデオ店	6

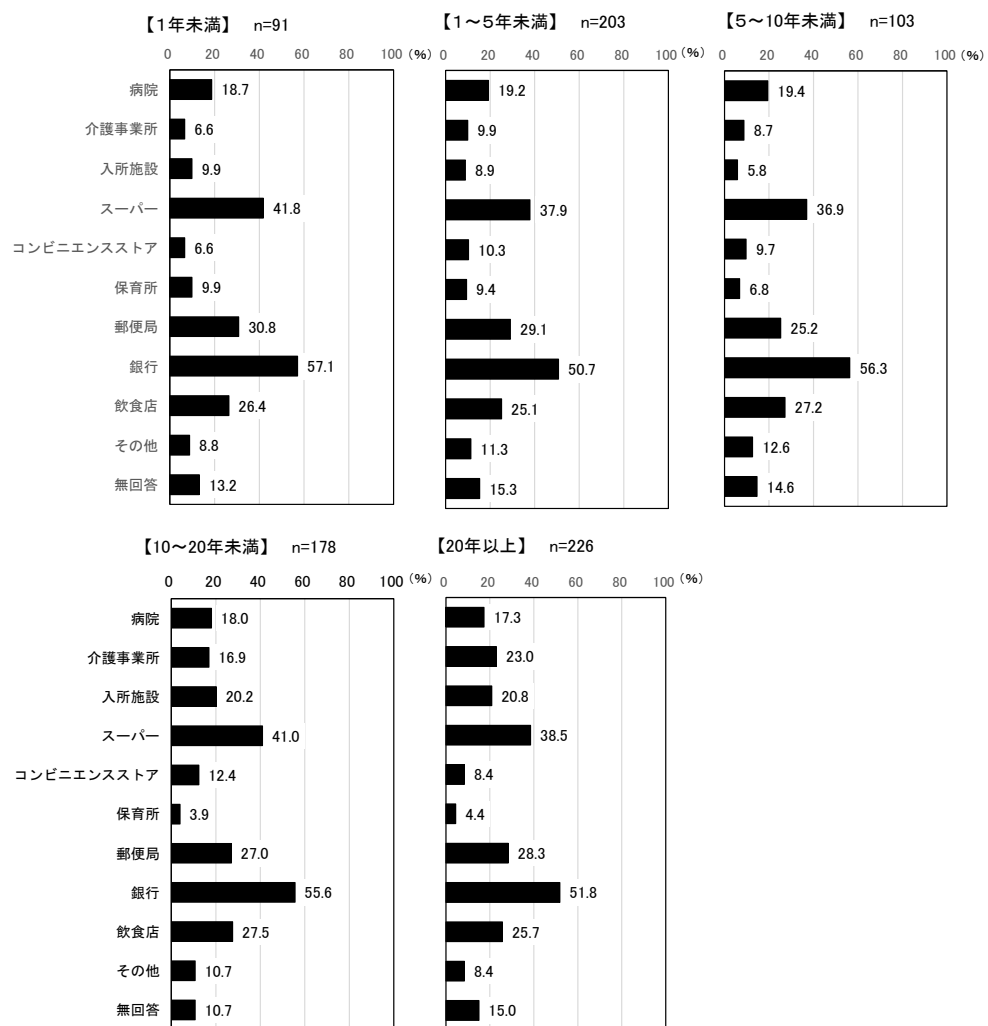
■ 団地別 森之宮地域をより住みやすくするサービス



■世帯構成別 森之宮地域をより住みやすくするサービス



■居住年数別 森之宮地域をより住みやすくするサービス



問 36 地域のことなどお気づきのことや他にご意見があれば、ご自由に記入してください。

全体で 225 件の自由意見が寄せられた。その内容は大きく区分すると、生活関連施設に関する意見／若者の生活環境や子育て環境に関する意見／地域のまちづくり・都市環境に関する意見／地域コミュニティに関する意見に分けることができる。主要なものをまとめると以下の通りである。

（１）生活関連施設に関する主要意見

- ・身近な日常生活関連施設として、「銀行、郵便局、交番」などといった生活サービス施設の不足を訴える意見が多数あった。
- ・「手頃な価格で買い物できる所があると良い」、「商業施設が離れており、団地周囲にあれば高齢者の方、子育てする人、仕事している方など便利になってよい」など日常的な買い物ができるスーパー等の商業施設を要望する意見が多くあった。
- ・「大規模商業施設が近くにはあるが、日常的にはあまり行かない」といった利用しやすさへの不満を述べる意見があった。
- ・「休日に大人が利用出来る公園やスペースが有り、カフェ等あればと良い」など近くに軽い飲食のできる施設がなく、それを要望する意見が多くあった。
- ・「病院はあるが絶対予約制の病院ばかりである」、「救急患者と難病の方が中心で、ちょっとした不調を診てもらえず、わざわざ離れた病院へ行かねばならない」など予約なしで見てもらえる身近な病院を望む意見が多くあった。（近接する大規模病院はその点からは利用しづらいとの意見があった）

（２）若者の生活環境や子育て環境に関する主要意見

- ・「地域活性化のために、家賃助成や住宅環境を整え、若い世帯が住む事で地域の高齢者の支援にも繋げてほしい」など高齢者が多い中で若い人が集まれるまちとしてリニューアルしてほしいとの意見が多くあった。
- ・「子供の遊び場がない」、「子供が雨の日でも遊べる場所が欲しい」など子どもが遊べる場所、「若い人を呼び込めるように保育施設を増やし、育児世帯へのサービス等を充実させる」など保育所、幼稚園といった子育てがしやすいまちづくりを進めてほしいとの意見が多くあった。

（３）地域のまちづくり・都市環境に関する主要意見

- ・「空き住戸の解消に特に若い世代への応援制度でアピールし、入居者を増やしてほしい」など団地内の空家の活用を望む意見が多くあった。
- ・「早く跡地利用を決めてほしい」、「団地内のスペースに団地兼時間貸の駐車場を建て、サービスの場所に利用したらどうか」など公共施設の跡地や市有地の活用によるまちの活性化を望む意見が多くあった。
- ・「近場の避難場所として公園を活用したいのに、公園が一つもない」など地域の身近な公園や近い避難場所の整備を望む意見が多くあった。
- ・「外国籍の人にも、わかりやすい表示や説明が受けられるようにしてほしい」など外国人居住が多くなっているにつけ、外国人が住みやすいまちづくりの一方、「外国人が多くなり、彼等のマナーが悪い」など治安や防犯について対応策を望む意見が多くあった。

- ・「要介護者や身体的に不自由な人はコミュニティバスがある方が望ましい」、「病院や区役所等へのコミュニティバスがほしい」など交通機関の利便性向上を望む意見が多くあった。
- ・「下水処理場の臭いが酷く、なるべく窓を閉めている」など下水処理場の臭い、「真夜中に暴走族が騒音をたてているので取り締まってほしい」などバイクや自動車の騒音、「市の施設がある（排水処理場、ゴミ焼却場）近くは特に酷く、ゴミ捨て場のようになっている」などゴミの投棄、「ルールを守らない人が増えているのか、住む環境の質が下がっている感じがする」など地域の生活環境の悪化などを懸念する意見が多くあった。

（４）地域コミュニティに関する主要意見

- ・「町会・マンション管理組合との関連認識がなく、高齢少子化になるにつれ町会活動がなおざりになり、コミュニティが希薄になっている」など町会への加入率の低下を訴える意見が多くあった。
- ・「自治会や地域活動等も主に高齢者の方がしており、若い方も増えてはいるが地域活動や自治会に無関心の方が多く、関心をもってもらえる様な地域づくりになれば良い」など高齢者から若い人への要望があった。
- ・「“引きこもり”の高齢者が多く、特に高齢になっての転居（転入）が地域になじめないのか町会入会もしないし、孤独死も時々出ている」、「同じ人が高齢になっても、いつまでも指導的立場に居座らず、後継者の育成を地域活動に取り組んでいる方に年齢に制限をするなどの市が組織要項を細部にわたって決めて指導する」など若い人から高齢者対応への要望があった。

2-3 分析のまとめ

本調査は、人口減少・超高齢社会を見据え、「ヘルスケア」や「エイジング」をキーワードに多様なプレイヤーの参画を得ながら、領域横断的な課題解決型のまちづくりを進める「スマートエイジング・シティ」の具体化に向けて、モデルエリアの住民のニーズを把握し、今後の取組みの参考とするため調査を実施した。

調査票の設計にあたっては、特にモデルエリアが高齢化の進んでいる地域であることから、全国的なシニアニーズのトレンドも踏まえる必要があり、平成 26 年度、国において実施された「高齢者の日常生活に関する意識調査」も参考にしながら、高齢者が抱える将来への不安や日常生活で感じている不満や不便といった身近なところからアプローチした。また、少子化に対する子育て世代のニーズの把握も意識して、調査票を設計した。

以下、本調査の集計結果から得られたニーズ等について、多様なプレイヤーの参画も視野に入れて分析をまとめた。

(1) 世帯と健康状態

- ・本調査では、「ひとり暮らし（65 歳以上）」（31.6%）と「夫婦のみ（65 歳以上あり）」（18.5%）を合わせた**高齢者のみの世帯**からの回答が 50.1%と、**半数以上を占めた**。
- ・また、居住年数では、「20 年以上」が 27.3%と、**3 割近く**が現在の住宅に居住する**長期居住者が占めた**。
- ・健康状態については、「世帯全員が健康である」が 50.6%と約半数が健康とで回答しているが、一方で、「全員が健康とはいえない」（19.3%）、「世帯の中で健康でない家族がいる」（16.1%）と回答した世帯をあわせると 35.4%となり、**3 分の 1 以上の世帯が健康上の問題を抱えていた**。
- ・高齢者を含む世帯では、健康づくりや介護予防について、「特にない」（7.1%）や「無回答」（1.6%）を除く**多くの世帯が健康づくりや介護予防を意識しており、必要性を感じている**。

(2) 将来への不安とそれをやわらげるためのニーズ

➤ 地域の高齢者が抱える「将来への不安」は、「健康への不安」が最も多い。

- ・地域の約 8 割以上の高齢者は、「将来への不安」を感じており、特に「健康への不安」（85.2%）を抱えていたが、なかでも、「寝たきりになること」（75.1%）、「急に体調が悪くなった時のこと」（69.6%）、「病気になって入院すること」（56.6%）など、ADL（日常生活動作）に支障をきたしている状態に対する不安が強い。
- ・健康面での意識については、健康づくりや介護予防など、今後の取組みの意向も含めて多く、特に、「口の中の健康の維持」、「栄養バランスのとれた食生活」、「体力を維持するための運動」といった面を意識している。
- ・さらに、経済面での不安をみても、特に、「病気になった時の入院費や治療費のこと」で不安を抱えており、健康への不安とも連動していると考えられる。
- ・一方、孤立への不安としては、「頼れる家族や友人がいないこと」や「相談するところないこと」など、人間関係の希薄化への不安を感じている。

- ・また、「もともと知り合いがいないから」、「関わりたいがきっかけがないから」などの理由により、同じ団地内でも親しい知人がいない世帯が半数以上を占めており、当該エリアの課題認識である“都心集合住宅特有の社会的関係性の希薄化”が明らかとなった。

➤ 不安をやわらげるためのニーズは、「生活面や健康面でのちょっとした困りごとを相談できる場」が最も多い。

- ・こうした健康面、経済面、孤立面での不安をやわらげるためのニーズとして最も多かったのは、「生活面や健康面でのちょっとした困りごとを相談できる場」であり、特に、「ちょっとした健康や病気について相談できる場」を求める声が多かった。また、ひとり暮らしの高齢者において、男性は、「食事・掃除・洗濯などの家事」を、女性は、「ちょっとした健康や病気について相談できる場」の他、「電球交換」を求める声が多かった。
- ・一方、不安をやわらげるためのニーズとして、「地域での見守り」や「趣味や娯楽の場」を求める声も多く、特に、ひとり暮らしの高齢者においては、男性は、「趣味や娯楽の場」を求め、女性は、「地域での見守り」を求める声が多かった。
- ・「地域での見守り」に対するニーズとしては、「近所の人との声の掛け合い」（62.2%）や「地域住民の組織による訪問や声かけなど」（56.8%）といった地域の自主的な見守りを求める声が多かったが、次いで、「医療や介護の相談ができる身近な相談場所の設置」（35.1%）や「地域交流を深める場の設置」（31.1%）といった声も多く、日常的な医療・介護従事者との接触を通じた見守りを求める声が多かった。

➤ 「日常生活の支援」を望む高齢者が、個人負担を伴っても受けたいサービスは、「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」と「電球交換などのちょっとした困りごとへの対応」が最も多い。

- ・不安をやわらげるためのニーズとして、「日常生活の支援」と答えた高齢者が「個人負担を伴っても受けたい日常生活の支援に対するサービス」としては、「健康食など配食サービス」（34.8%）や「健康や病気、お薬のことについてのちょっとした相談」（32.6%）といった健康面を意識したサービスに対する声が多く、次いで、「電球交換」（28.3%）、「入退院時の手続きや着替えの準備」（26.1%）、「買い物や通院など外出時の付き添い」（21.7%）、「ごみ出し」（同）と、“ちょっとした困りごと”に対する声が多かった。

（３）日常生活で不便に感じていること

➤ 地域の高齢者が日常生活で、最も不便に感じていることは、「買い物場所や買いたいものが揃った場所が近くにないこと」が最も多い。

- ・地域の高齢者が日常生活で不便に感じていることとしては、「買い物場所や買いたいものが揃った場所が近くにない」（25.8%）、次いで、「生活に役立つ情報が少ない」（18.1%）や「どこかに出かけるための交通が不便である」（11.4%）など、“日常生活の利便性”に関する声が多かった。
- ・本調査の設問の最後に多数の自由意見が寄せられたが、同意見をもとに考察すると、当該エリアは、幹線道路や鉄道の交通アクセスの優れた地域ではあるが、一方で、近隣地域に買い物施設はあるものの、同地域内には買い物施設がなく、移動範囲が狭くなってきている高齢者にとっては、そうした不便を解消するための方策を検討する必要がある。

(4) 日常生活で不満に感じていること

- 地域の高齢者が日常生活で、最も不満に感じていることは、「住まいに関すること」が最も多い。

- ・地域の高齢者が日常生活で不満に感じていることとしては、「住まいに関すること」(31.5%)が最も多かった。
- ・住まいへの不満の内容としては、「機能面」(48.1%)が最も多く、次いで、「広さ」(31.0%)、「その他(家賃等)」(27.2%)であった。
- ・また、『A 団地』、『B 団地』の居住継続の意向をみると、「思わない」が『A 団地』では 17.2%、『B 団地』では 24.9%となっているが、その理由として、「居住面での環境が良くないから」(『A 団地』では 31.2%、『B 団地』では 15.2%)が『C 団地』に比べて多かった。
- ・当該エリアの集合住宅は、高度経済成長期以降に建設された団地が多くを占めるが、バリアフリーの面や今後の在宅療養を意識した構造にはなっておらず、特に現在の住宅に長期居住し、リハビリや介護を要する高齢者がいる世帯においては、現状のままでは不便をきたすような状況がある。
- ・不満に感じていることの特徴的な部分としては、「食事や弁当に関する不満」の理由としては、「(栄養の)バランス」と答えた世帯が圧倒的に多く、「日常の福祉や健康などサービス面に関すること」の理由としては、「サービスの水準」と「サービスの内容」とともに半数以上の世帯が不満と答えている。
- ・一方、不満に感じていることとは反対に、「心地よい」と感じる場所としては、「手頃な価格で食事や喫茶が楽しめる場所」(44.3%)が最も多く、次いで、「健康に役立つ場所」(35.6%)であった。

(5) 就学前の子どもがいる子育て世帯が感じている不便

- ・当該エリア内の就学前の子どものいる子育て世帯の 9 割以上の世帯が不便を感じたことが、「ある」(93.9%)と答えており、その内容として多かったのは、「住環境面(広さ)」(58.1%)、「育児と仕事の両立」(54.8%)、「急病時などの対応」(51.6%)であった。
- ・地域での「子育てサービスや支援」として求めている声としては、「急病時の医療提供体制」(66.7%)と「公的な給付」(同)が最も多く 7 割近くを占め、次いで、「多様な保育サービスの実施」(48.5%)であった。